Create!Form® 10



著作権その他に関する注意

Create!Formの著作権はインフォテック株式会社にあります。 本書の内容は予告なしに変更することがあります。 本書の全体または一部を形態のいかんにかかわらず、複製・転載することを禁じます。

Microsoft、MS、および MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。 Adobe および PostScript、Adobe Acrobat は、米国 Adobe Systems,Inc. の登録商標です。 その他、本書で記述されているシステム名、製品名は、その版権所有者の商標または登録商標です。

本書の構成

本書は、Create!Form 製品のインストール、エラーコード、制限事項について解説したものです。 次の内容について記述しています。

第1部 インストール

製品の構成、ライセンス管理、インストール方法等について説明しています。 初めての方は、まずこちらをお読みください。

第2部 エラーメッセージ一覧

ランタイム、FormMagicfolder、FormRemoteObjectのエラーメッセージー覧が 記述されています。

第3部 制限事項

本製品の制限事項が記述されています。

	目次			
本	書の	の構成	3	
笙	1	部 インストール		
21	- 笛		., Q	
	粐	早 等八の前に	. 0	
		1-1-1 没 田 博 风	11	
		1-1-3 動作環境	12	
		1-1-4 ライヤンスパスワードについて	15	
		1-1-5 旧バージョンからのバージョンアップ	17	
		1-1-6 製品サポートサイトのご案内	18	
	笙	2 音 FormDesign	19	
	~	2 · · · · · · · · · · · · · · · · ·	20	
		1-2-2 ライヤンスパスワードの設定	20	
		1-2-3 アンインストール	24	
	笙	3 音 FormCast [Windows]	25	
	23	1-2-1 道λ	26	
		1-3-2 ライヤンスパスワードの設定	28	
		1-3-3 アンインストール	30	
	笙	4音 FormCast [linux/INIX]	31	
	23	1-4-1 道λ	32	
		1-4-2 環境変数の設定	33	
		1-4-3 ライセンスパスワードの設定	34	
		1-4-4 アンインストール	36	
	笙	5 音 FormCollect [Windows]	37	
	23	1-5-1 道λ	38	
		1-5-2 ライセンスパスワードの設定	40	
		1-5-3 アンインストール	42	
	笙	6 音 FormCollect [Linux/INIX]	43	
	23	1-6-1 道λ	10	
		1-6-2 環境変数の設定	45	
		1-6-3 ライセンスパスワードの設定	46	
		1-6-4 アンインストール	48	
	笙	7 音 FormPrint [Windows]	49	
	23	7 平 Tohim The ["Theoreg]	50	
		1-7-2 ライセンスパスワードの設定	52	
		1-7-3 アンインストール	54	
	笙	8 音 FormPrint [linux/INIX]	55	
	ND.		56	
		1-8-2 環境変数の設定	57	
		1-8-3 ライヤンスパスワードの設定	58	
		1-8-4 アンインストール	. 60	

第	9 章 FormPrintStage [Windows]	. 61
	1-9-1 導入	. 62
	1-9-2 ライセンスパスワードの設定	. 64
	1-9-3 アンインストール	. 66
第	10 章 FormPrintStage Web [Windows]	. 67
	1-10-1 導入	. 68
	1-10-2 ライセンスパスワードの設定	. 70
	1-10-3 アンインストール	. 72
第	11 章 FormPrintStage Web「Linux/UNIX]	. 73
212	1-11-1 違λ	74
	1-11-2 環境変数の設定	75
	1-11-3 ライヤンスパスワードの設定	76
	1-11-4 アンインストール	. 78
笛	12 章 FormPrintStage WebClient「Windows]	79
75	1-12-1 道λ	80
	1-12-2 デンインストール	. 00
笛	13 音 FormMagicfolder [Windows]	83
27 7	1_12_1 j l	۵0 . ۵ <i>۱</i>
	1-13-1 導入	. 04 85
	1-13-2 アンインストール	. 03
笛	11 音 FormPamoteObject [Windows]	. 07 . 80
4		. 03
	1-14-1 導入	. 90
	1-14-2 フィセンスパスソートの設定	. 91
牛	$15 \stackrel{\text{a}}{\Rightarrow} \text{FormPomoteObject} \begin{bmatrix} \text{Injuv} \end{bmatrix}$. 93
		. 90
	- 0- 導入	. 90
	- 0-2 境境変数の設定	. 98
	- 5-3 フィセンスハスリートの設定	. 99
<u>~~</u>	1-15-4 アフィンストール	101
	10 早 共通設定	103
	- 0- XML ハーザの導入	104
	- 0-2 乂子コートの設定	100
	- 0-3 アーダヘースを使用する場合	108
	I=10=4. ログファイルの出力設定	109
	-10-5 書告・エフー処理について	11/
	-10-0 印刷現現の設定	101
ት በ	1-10-7 元号対応	100
		123
第	】章 Windows	125
	2-1-1 エラーコードについて	126
	2-1-2 エラーコード一覧	127
第	2 章 Linux/UNIX	145
	2-2-1 エラーコードについて	146
	2-2-2 エラーコード一覧	147

	第	3 章 FormPrintStage WebClient16	7
		2-3-1. エラーコードについて	8
		2-3-2. エラーコード一覧	9
	第	4章 FormMagicfolder17	7
		2-4-1. エラーコードについて	8
		2-4-2. エラーコード一覧	9
	第	5章 FormRemoteObject	3
		2-5-1. エラーコードについて	4
		2-5-2. エラーコード一覧	5
笙	3	部 制限事項 18	7
~	Ŭ	【1 ランタイム制具 - 共通 - 】 19	20
		【1. フンクイム表品 一天道 】10 【2 ランタイム制品 – FormCast / FormCollect – 】 18	28
		【2. フンクイム製品 FormPrintStage - 】 18	20
		【4 ランタイム製品 - FormPrint - 】 10	0
		【4. フンアイム表面 Tohmer Hit 】	0
		[6 Magicfolder]	0
		[7 RemoteObject]	0
		【8 入力データ】 10	0
		【0. フォントと外字】 10	12
		$[10 \ 4 \ 2 \ 3 \ - \ 10$	13
		【11 画像】	14
		【12 帳 = 種別】	15
		[13 PDF $\vdash_{2} - 7$] 19	15
		【14 PDF オブジェクト】 19	15
		[15 PDF 7 + -4] 19	6
		$[16 \text{ PDF } \tau + \neg \downarrow \neg \tau]$ 19	18
		【17. 表オブジェクト】 19	8
		【18. グラフ変数オブジェクト】 19	9
		【19. リンク変数オブジェクト】 19	9
		【20. サブフォームオブジェクト】	9
		【21. バーコードオブジェクト】	0
		【22. 動的オブジェクト機能】	0
		【23. リソースプロパティ変更機能】	0
		【24. Form エディタ】	0
		【25. Datamap エディタ】	2
		[26. Rpx エディタ]	13
		【27. Text エディタ】)3
		【28. Design マネージャ】	4
		【29. FormDesign 版の制限】)5
索	引.		7

第1部 インストール

第1章 導入の前に

1-1-1 製品構成

Create!Form 製品は大きく分けて以下のような製品構成となっています。

図: Create!Form 製品構成



帳票設計開発ツール

Create!FormDesign

Create!FormDesign(以下、FormDesign)は、帳票レイアウトの作成からテスト実行までを行う統合開発環境です。

帳票ジョブを定義し、帳票レイアウトの作成、データソースとの関連付け(マッピング)を行 い、帳票資源ファイルを作成します。帳票資源ファイル作成後は、テスト実行(印刷・PDF プ レビュー)を行い、出力結果をその場で確認することができます。運用環境で帳票出力を行う 場合は、FormDesignで作成した帳票資源ファイルを運用環境にコピーし、後述のランタイム 製品から帳票出力を行います。

PDF 出力実行ランタイム

Create!FormCast

Create!FormCast(以下、FormCast)は PDF ファイルの出力を行うランタイム製品です。 高精細で軽量な PDF 帳票を出力することができます。また、PDF セキュリティを付加した PDF 帳票の出力や、既存の PDF ファイルを使用した PDF 帳票を出力することもできます。

PDF 出力実行ランタイム (PDF フォーム対応)

Create!FormCollect

Create!FormCollect (以下、FormCollect) は PDF フォームに対応した PDF ファイルの出力を 行うランタイム製品です。

FormCast 製品と同様に、高精細で軽量な PDF 帳票出力に加え、入力フィールド付きの PDF 帳 票を出力することができます。

PostScript 印刷実行ランタイム

Create!FormPrint

Create!FormPrint(以下、FormPrint)はPostScriptプリンタに対応したサーバ印刷用ランタイム製品です。

PostScript プリンタを使用して印刷を行うことで、高速大量印刷を実現することができます。

Windows プリンタ印刷実行ランタイム

Create!FormPrintStage

Create!FormPrintStage (以下、FormPrintStage) は、Windows プリンタにドライバ経由で印 刷を行うWindows プリンタ印刷用ランタイムです。

異なるメーカーのプリンタが混在した環境や、ラベルプリンタ、ドットインパクトプリンタへ の印刷でも利用することができます。

Web クライアント印刷実行ランタイム

Create!FormPrintStage Web

Create!FormPrintStage WebClient

Create!FormPrintStageWeb(以下、FormPrintStageWeb)/ Create!FormPrintStage WebClient(以 下、FormPrintStage WebClient) は、Webのクライアント環境での印刷を実現するランタイム 製品です。

サーバ環境にインストールされた FormPrintStageWeb がクライアントからのリクエストを受け て印刷データを作成し、クライアント環境に印刷データをダウンロードして FormPrintStage WebClient でクライアント環境のプリンタへ印刷を行います。帳票ごとに詳細な印刷情報を設 定できるので、柔軟な Web クライアント印刷を実現することができます。

システムソリューション製品

Create!FormMagicfolder

Create!FormMagicfolder (以下、FormMagicfolder) は、ノンプログラミングで帳票出力システムを構築、拡張できるソリューション製品です。

任意の監視フォルダにデータファイルの生成を検知すると、自動でランタイムを実行し、プリ ンタへの印刷や PDF ファイルの出力を行います。既存のアプリケーションや基幹システムとの ファイルインターフェースによる連携で、短期間で帳票出力環境を構築することができます。

Create!FormRemoteObject

Create!FormRemoteObject(以下、FormRemoteObject)は、サーバ分散環境での帳票出力を実 現するソリューション製品です。

FormRemoteObjectは、サーバ製品(FormRemoteObject Server)と、クライアント製品 (FormRemoteObject Client)で構成されます。サーバ製品は帳票サーバ上で常駐サービスとし て稼動し、クライアントからの要求を受けて帳票出カランタイムを実行します。クライアント 製品は Java の API ライブラリ形式で Web アプリケーションなどに組み込んで使用し、帳票サー バとの接続、帳票ジョブの実行や出力結果の取得など、帳票ジョブの制御を行います。

また、FormMagicfolder と連携することでバッチ実行した帳票ジョブをFormRemoteObject Client 経由で再実行するなど、バッチ処理の帳票ジョブとオンライン処理の帳票ジョブを統 合して管理することが可能となります。

1-1-2 製品 DVD-ROM の構成

製品 DVD-ROM の構成は以下の通りです。

なお、各製品のディレクトリ内にはそれぞれの製品のインストーラが用意されています。 ※インストール方法については、各製品の「インストール」の項目をご覧ください。

+ [FormDesign] 	・・・ FormDesign 製品ディレクトリ
+ [FormCast] 	・・・ FormCast 製品ディレクトリ
+ [FormCollect]	・・・ FormCollect 製品ディレクトリ
+ [FormPrintStage]	・・・ FormPrintStage 製品ディレクトリ
+ [FormPrintStage Web]	・・・ FormPrintStage Web 製品ディレクトリ
+ [FormPrintStage WebClient]	・・・ FormPrintStage WebClient 製品ディレクトリ
+ [FormRemoteObject]	・・・ FormRemoteObject 製品ディレクトリ
+ [FormMagicfolder]	・・・ FormMagicfolder 製品ディレクトリ
I + [manual] I	・・・ 製品マニュアルディレクトリ
I + [sample]	・・・ 帳票サンプルディレクトリ

※各製品ディレクトリの直下には Windows 版と UNIX 版のディレクトリが存在し、それぞれ 32bit版(32bitバイナリモジュール)と 64bit版(64bitバイナリモジュール)のイン ストーラが用意されています。 (FormDesign 製品は 32bit版のみの提供となります)

注意事項

64bit版のランタイム製品では、ランタイムライブラリは64bitで動作しますが、 FormDesign および各種設定ツール(GUI)に関しては、32bitアプリケーションとしてイン ストールされ、64bit環境においても32bitアプリケーションとして動作します。

1-1-3 動作環境

```
    動作環境について

   • FormDesign 製品 (Windows)
      32bit 環境
         Windows XP
         Windows Vista
         Windows 7
         Windows 8, 8.1
      64bit 環境
         Windows 7
         Windows 8, 8.1
   ・ランタイム製品 (Windows)
      32bit 環境
         Windows XP
         Windows 7
         Windows 8, 8.1
         Windows Server 2003 R2
      64bit 環境
         Windows 7
         Windows 8, 8,1
         Windows Server 2003 R2
         Windows Server 2008 R2
         Windows Server 2012, 2012 R2
   ・ランタイム製品 (Linux・UNIX)
      32bit 環境
            Red Hat Enterprise Linux 5
            Red Hat Enterprise Linux 6
      64bit 環境
         Linux
            Red Hat Enterprise Linux 5
            Red Hat Enterprise Linux 6
            Red Hat Enterprise Linux 7
         HP-UX
            HP-UX 11i Version 3 (Itanium 2)
         AIX
            AIX 6.1
            AIX 7.1
         Solars
            Solaris 10 (SPARC)
            Solaris 11 (SPARC)
```

```
• FormMagicfolder 製品
   32bit 環境
     Windows XP
     Windows 7
     Windows 8, 8,1
     Windows Server 2003 R2
   64bit 環境
     Windows 7
     Windows 8, 8,1
     Windows Server 2003 R2
     Windows Server 2008 R2
     Windows Server 2012, 2012 R2
   Java 実行環境
     Java SE 5~8
• FormRemoteObject 製品
   32bit 環境
     Windows XP
     Windows 7
     Windows 8, 8.1
     Windows Server 2003 R2
     Red Hat Enterprise Linux 5
     Red Hat Enterprise Linux 6
   64bit 環境
     Windows 7
     Windows 8, 8.1
     Windows Server 2003 R2
     Windows Server 2008 R2
     Windows Server 2012, 2012 R2
     Red Hat Enterprise Linux 5
     Red Hat Enterprise Linux 6
   Java 実行環境
     Java SE 5~8
```

上記 OS 以外の動作につきましては、弊社製品サポートまでお問い合わせください。

2. 仮想環境について

動作確認済み仮想環境は、以下の通りです。

• VMware

- VirtualServer
- VirtualPC

上記仮想環境以外の動作につきましては、弊社製品サポートまでお問い合わせください。

注意事項

- ・仮想環境固有の問題(物理環境での再現不可)は、サポート対象外となります。
- ・複数の仮想環境上で同時に Create!Form 製品を使用する場合、それぞれの OS ごとに ライセンスを取得する必要があります。

3. 製品のインストール順序について

FormDesign 製品とランタイム製品を同じ Windows OS 環境にインストールする場合、以下の 手順でインストールを行う必要があります。

- 1. FormDesign 製品を導入します。
- 2. その他のランタイム製品を導入します。
- 3. 導入した製品すべてにライセンス設定を行います。

導入の前に

1-1-4 ライセンスパスワードについて

Create!Form 製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 ライセンスパスワードは、製品を導入するマシン環境での識別子(Windows 環境:コンピュー タ名、UNIX/Linux 環境:ホスト名)を元に、製品の使用期限の情報を付加して発行されます。 なお、ライセンスパスワードには、「無期限ライセンスパスワード」と「期間限定ライセンス パスワード」があります。それぞれのライセンスパスワードの違いについて以下に説明します。

1. 無期限ライセンスパスワード

無期限ライセンスパスワードは、パスワードの有効期限を「無期限」に設定して発行されたラ イセンスパスワードです。基本的には、無期限ライセンスパスワードを使用してください

2. 期間限定ライセンスパスワード

期間限定ライセンスパスワードは、パスワードの有効期限が設定されたライセンスパスワード です。通常は前述の無期限ライセンスパスワードを使用しますが、次のような場合には期間限 定ライセンスパスワードを取得することができます。

・導入するマシンが開発用で、最終導入マシンが未決定の場合

・リース、レンタルなどでマシンの入れ替えが明確に発生する場合

上記またはその他の理由で導入マシンが変更になることが予めわかっている場合は、期間限定 ライセンスパスワードによる運用を行ってください。

期間限定ライセンスパスワードの取得・運用について 期間限定ライセンスパスワードを使用する場合は、最初に製品を導入するマシン用に期間限定 ライセンスパスワードを取得し、その後決定した最終導入マシンに対する無期限のライセンス パスワードを取得して、製品を再導入する方法をとります。 次のような期間限定ライセンスパスワードの基本規定に基づいて取得・運用します。

- I) 目安として3ヶ月~6ヶ月の期間(1ヶ月単位)で期間限定ライセンスパスワードを取得 することができます。
- Ⅱ)期間限定ライセンスパスワードの有効期限末月の1ヶ月前から任意のマシンに対する期間 限定ライセンスパスワード、または無期限ライセンスパスワードの取得が可能です。
- Ⅲ)期間限定ライセンスパスワードまたは無期限ライセンスパスワードはお客様からの請求に よって発行されます。

6ヶ月以内の期間であれば、最大2ヶ月のオーバーラップ期間をもって異なるマシン(同一マシンも可)へ移行可能です。また、期間限定ライセンスパスワードの期限が切れた後でも、再び期間限定ライセンスパスワードまたは無期限ライセンスパスワードの取得請求を行うことができます。

注意事項

- ・実業務の稼動に期間限定ライセンスパスワードを適用することは、お客様の責任のもとで
 判断してください。期間限定パスワードを使用して発生した運用上の問題等について弊社
 では一切の責任を負いません。
- 期間限定ライセンスパスワードの期限切れ通知は、弊社からは行っておりません。

3. ライセンスパスワード取得方法

ライセンスパスワードの取得は、以下のいずれかの方法で行います。

1. パスワードセンターを利用する方法

パスワードセンターからインターネット経由でライセンスパスワードを取得する方法です。 パスワードセンターで必要事項(製品シリアル番号、申請 ID など)を入力してライセンス パスワードを取得します。

パスワードセンターは Web サイト(http://www.createform.jp/) からご利用いただけます。

2. 電子メール・FAX を利用する方法

電子メール、もしくは FAX でライセンスパスワードを取得する方法です。製品に同梱された ユーザ登録用紙に必要事項を記入し、FAX で弊社までご返信いただきます。その後、弊社で の手続きが完了次第、ライセンスパスワードを電子メール、もしくは FAX で通知します。

ライセンスパスワードを取得するには、導入する環境のマシン識別子(Windows 環境:コン ピュータ名、UNIX/Linux 環境:ホスト名)が必要となります。ライセンスパスワードの取得 を行う前に、以下の手順でマシン識別子を確認してください。

Windows 環境の場合

Windows 環境にインストールされた製品のライセンスパスワードは、「コンピュータ名」をも とにして作成されます。Windows のスタートメニューから、[コンピュータ]の右クリックメ ニュー[プロパティ]を選択して「コンピューターの基本的な情報の表示」画面を表示し、「コ ンピューター名」を確認してください。

図:コンピューターの基本的な情報の表示

ر بر	ネル ・ システムとセキュリティ	• Б Хन <u>ि</u>	 ・ ・
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的な情	観の表示	•
💔 デバイス マネージャー	Windows Edition		
😵 リモートの設定	Windows 7 Professional		
😵 システムの保護	Copyright © 2009 Micro	soft Corporation. All rights reserved.	
😵 システムの詳細設定	Service Pack 1 Windows 7 の新しいエテ	イションの違加機能の取得	
	システム		
	評価:	3.4 Windows エクスペリエンス インデックス	E
	プロセッサ:	Intel(R) Core(TM)2 Duo CPU U9400 @ 1.40GHz 1.40 GHz	
	実装メモリ (RAM):	3.00 GB (2.90 GB 使用可能)	Per constantes
	システムの種類:	32 ビット オペレーティング システム	
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません	サポート情報
	コンピューター名、ドメイン	およびワークグループの設定	
	コンピューター名:		警設定の変更
関連項目	フル コンピューター名:	which we will have a	
アクション センター	コンピューターの説明:		
Windows Update	ドメイン:	selection of the select	
パフォーマンスの情報とツー	Windows ライセンス認証		
JL	Windows はライセンス器	証されています。	denuine

UNIX / Linux 環境の場合

UNIX/Linux 環境にインストールされた製品のライセンスパスワードは、「ホスト名」をもとに して作成されます。UNIX/Linux 環境のコンソール上で uname コマンドに「-n」オプションを つけて実行し、「ホスト名」を確認してください。

\$ uname -n hostname

4. 運用マシンの移行について

運用マシンの移行や、マシン識別子(Windows 環境:コンピュータ名、UNIX/Linux 環境:ホス ト名)を変更した場合、再度ライセンスパスワードを取得していただく必要があります。

1-1-5 旧バージョンからのバージョンアップ

Create!Form 製品の旧バージョン (V4 ~ V9)の帳票資源ファイルを現行バージョンで使用する ためには、必ず帳票資源ファイルのアップデートが必要となります。そのため、FormDesign 製品には旧バージョンの帳票資源ファイルのアップデートプログラム "UpToV10" が用意されて います。

※旧バージョンからのアップデートに関する詳細は、弊社サポートサイトにて公開されている 各バージョンごとの「アップデートマニュアル」をご覧ください。 サポートサイト (https://support.createform.jp/)

1-1-6 製品サポートサイトのご案内

製品サポートサイト (https://support.createform.jp/) では、製品サポートに関する最新情報、よくあるお問い合わせの内容を紹介した FAQ コーナー、技術情報、製品マニュアルを参照 することができます。

また、保守対象ユーザの場合、製品最新パッチの入手と、専用窓口へのお問い合わせも製品サ ポートサイトから行うことができます。

第2章 FormDesign

1-2-1 導入

ここでは FormDesign 製品の導入方法について説明します。以下の手順に従って FormDesign の インストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

ネットワーク上の DVD-ROM ドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」 裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、"FormDesign" ディレクトリの "Setup. exe" をダブルクリックするとセットアップが起動します。 内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

③セットアップタイプの選択

導入先ディレクトリを指定します。 初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。 (初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

セットアップタイプを選択します。セットアップタイプの詳細は以下の通りです。

[標準]

全てのファイルをインストールします。プログラムファイルの他に、サンプル、オンライ ンマニュアル等もインストールされます。

[コンパクト]

最小構成のインストールです。プログラムファイルのみインストールされます。

[カスタム]

インストールするファイルを選択することができます。[次へ]ボタンをクリックし、イン ストールするファイルを選択してください。

セットアップタイプを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

④プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダの選択内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

⑤プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

※インストール完了後にサンプルやオンラインマニュアルの追加や変更を行う場合は、以下の 手順で行ってください。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormDesign V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[変更]を選択します。 追加や変更を行うコンポーネントにチェックを付けて[次へ]をクリックします。

1-2-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。

②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないこと を警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターから取得したライセンスファイ ルを使用してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。 ライセンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を 選択してください。 なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンス

図:設定方法選択画面

LpSet	
0	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス(情報をインボートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス(情報の設定を行ってください。

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。

図:登録内容確認画面				
設定確認				
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。			
	製品種別: Createl FormDesign 製品シリアル番号: ライセンスパスワード: 有効期限: 無期限			
	はい(Y) いいえ(N)			

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

义:	登録完	了画面
----	-----	-----

LpSet	×
1	Create! FormDesignのライセンスとして を登録しました。
	ОК

- ⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画 面に表示されます。
 - 図: ライセンスパスワード設定画面

😵 ライセンスパスワード設定
マシン識別子:
製品種別
FormDesign
C FormCast C FormCollect
C FormPrint C FormPrintStage C FormPrintStageWeb
C FormMagicfolder クライアント数:
C FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
製品シリアル番号: ライセンスパスワード: 有効期限: 無期限

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

<u>1-2-3 アンインストール</u>

以下の手順に従って FormDesign のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、[Create! FormDesign V10]
 の変更と削除を実行します。

③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[0K]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。

第3章 FormCast [Windows]

1-3-1 導入

ここではWindows 環境にFormCast 製品を導入する方法について説明します。以下の手順に従ってFormCast のインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

ネットワーク上の DVD-ROM ドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、32bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormCast¥win¥x32" ディレクトリ、64bit ランタイムをインストールする場 合は "FormCast¥win¥x64" ディレクトリに移動し、"Setup. exe" をダブルクリックするとセッ トアップが起動します。

内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。 初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。 (初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③セットアップタイプの選択

セットアップタイプを選択します。セットアップタイプの詳細は以下の通りです。

[標準]

全てのファイルをインストールします。プログラムファイルの他に、サンプル、オンライ ンマニュアル等もインストールされます。

[コンパクト]

最小構成のインストールです。プログラムファイルのみインストールされます。

[カスタム]

インストールするファイルを選択することができます。[次へ]ボタンをクリックし、イン ストールするファイルを選択してください。

セットアップタイプを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

④プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダの選択内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

⑤プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

※インストール完了後にサンプルやオンラインマニュアルの追加や変更を行う場合は、以下の 手順で行ってください。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormCast V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[変更]を選択します。 追加や変更を行うコンポーネントにチェックを付けて[次へ]をクリックします。

1-3-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

- ① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。
- ②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないことを警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターからライセンスファイルを使用してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。ライセンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を選択してください。

なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンスファイルを指定してライセンスパスワードを設定することができます。 ここでは[はい]を選択します。

図:設定方法選択画面

LpSet	
0	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス傾観をインボートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス情報の設定を行ってください。

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。
- 図:登録内容確認画面

設定確認	
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。
	製品種別: Create! FormCast 製品シリアル番号:
	ライセンスパスリード: 有効期限: 無期限
	はい(Y)いいえ(N)

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

义:	登録完	了画面
----	-----	-----

LpSet	×
1	Createl FormCastのライセンスとして を登録しました。
	ОК

⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画面に表示されます。

図: ライセンスパスワード設定画面

マシン識別子:
製品種別
© FormDesign
FormCast C FormCollect
C FormPrint C FormPrintStage C FormPrintStageWeb
C FormMagicfolder クライアント数:
C FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
製品シリアル番号:
ライセンスパスワード:
有効期限: 無期限
ライセンスインボート 設定 閉じる

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

<u>1-3-3 アンインストール</u>

以下の手順に従って FormCast のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、[Create! FormCast V10]
 の変更と削除を実行します。

③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[0K]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。

第4章 FormCast [Linux/UNIX]

1-4-1 導入

ここではLinux/UNIX版FormCast製品の導入方法について説明します。 UNIX製品は機種別に分かれていますが、いずれも同様の方法でインストールを行います。 機種によって異なる部分についてはその箇所において説明が記述されています。

<< 注意 >>

製品媒体の DVD-ROM が読み込める環境が必要となります。 予めインストール環境で利用できる(マウントされた)DVD-ROM ドライブ装置を準備してく ださい。または、DVD-ROM が読み込める環境からインストール対象の tar アーカイブファイ ルをバイナリ形式でインストール環境に転送してください。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

Linux/UNIX版FormCast製品ファイルは、DVD-ROM内の"FormCast/unix"ディレクトリにtarアー カイブファイルを圧縮した形式で機種別に格納されています。

32bit版	
x32/ccast1000_linux_x32.tar.gz	Linux
x32/ccast1000_ibm_x32.tar.gz	AIX
x32/ccast1000_hp_ipf_x32.tar.gz	HP-UX
x32/ccast1000_sun5_x32.tar.gz	Solaris

64bit版	
x64/ccast1000_linux_x64.tar.gz	Linux
x64/ccast1000_ibm_x64.tar.gz	AIX
x64/ccast1000_hp_ipf_x64.tar.gz	HP-UX
x64/ccast1000_sun5_x64.tar.gz	Solaris

DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入して、ファイルを確認してください。 導入のためのアカウントはスーパーユーザでも任意のユーザアカウントでも行えますが、ファ イルアクセスなどは通常の Linux/UNIX 環境下での制約となりますので、ご使用のシステム管 理形態に合わせて決定してください。

導入アカウントと導入ディレクトリが決まったら、まずは導入ディレクトリを作成します。 ここでは、導入ディレクトリを "createv10" ディレクトリで説明します。 \$ mkdir createv10

導入ディレクトリへ移動します。

\$ cd createv10

ご使用の機種にあった tar.gz ファイルを導入ディレクトリヘコピーし、圧縮ファイルを解凍 した後、tar アーカイブを展開します。 次の例では、tar コマンドの-zオプションによる gz ip での解凍と、tar アーカイブの展開を 同時に行っています。

\$ tar xvzf ccast1000_linux_x32.tar.gz

1-4-2 環境変数の設定

製品を使用するには、環境変数の設定が必要となります。手順に従って、環境変数の設定を必 ず行ってください。

FormCast ランタイム導入ディレクトリのパスを環境変数 "CDIR_CAST" に設定し、ライブラリ パスとパス (PATH) を FormCast ランタイム導入ディレクトリ直下の [csys] サブディレクトリ に設定します。

<< 注意 >>

環境変数(ライブラリパス)はプラットフォームによって異なります。 AIX LIBPATH Linux LD_LIBRARY_PATH HP-UX LD_LIBRARY_PATH Solaris LD_LIBRARY_PATH

製品を /opt/createv10 にインストールする場合は、以下のような設定となります。

B シェル / Bash の場合

- \$ CDIR_CAST=/opt/createv10
- \$ export CDIR_CAST
- \$ LD_LIBRARY_PATH=\$LD_LIBRARY_PATH:/opt/createv10/csys
- \$ export LD_LIBRARY_PATH
- \$ PATH=\$PATH:/opt/createv10/csys
- \$ export PATH

Cシェルの場合

- % setenv CDIR_CAST /opt/createv10
- % setenv LD_LIBRARY_PATH \${LD_LIBRARY_PATH}:/opt/createv10/csys
- % set path = (\$path /opt/createv10/csys)

必要に応じて上記設定を環境設定ファイルに設定してください。

<< 注意 >>

Web アプリケーションからランタイムを実行する場合は、Web アプリケーションを実行する ユーザに環境変数が設定されている必要がありますのでご注意ください。

<< 注意 >>

XML データマップ、または DB データマップを使用した帳票ジョブを実行する場合は XML パー サをインストールする必要があります。XML パーサ導入に関する詳細は「1-16-1 XML パーサ の導入について」をご覧ください。

<< 注意 >>

文字コードの設定を行っていない場合は、ランタイム出力ファイルの文字化けが発生する 可能性があります。文字コードの設定に関する詳細は「1-16-2 文字コードの設定」をご覧 ください。

1-4-3 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >> Windows 製品の導入後5日間の動作とは異なり、Linux/UNIX環境ではライセンスパスワード を設定しない状態で動作させることはできませんのでご注意ください。

1. ライセンスファイルを使用する場合

発行されたライセンスファイル (LICENSE_CAST) を、FormCast ランタイム導入ディレクトリ 直下の [csys] ディレクトリ内ヘコピーしてください。ライセンスファイルをコピーした後、 ccast コマンドを実行してライセンス情報と環境変数が正しく設定されているか確認します。 パス (PATH) の設定を行っていない場合は、[csys] ディレクトリ内で直接 ccast コマンドを実 行してください。

\$ ccast --Create! FormCast Ver.10.00.0-Adv.-UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、 Create! FormCast Ver.10.00.0-Adv.-UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数とライセンスパスワードが正しく設定 されています。エラーメッセージが表示された場合は、環境変数、もしくはライセンスパスワー ドの設定に問題があります。設定内容を再度確認し、正しい情報を設定してください。

2. ライセンス情報を直接入力する場合

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Web サイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、以下の手順に従ってライセンスパスワード を設定してください。

showmidコマンドを実行します。なお、パス (PATH) の設定を行っていない場合は、[csys] ディレクトリ内で直接 showmid コマンドを実行してください。
 \$ showmid

②ライセンス設定画面が表示されます。"1 : Product Menu"を選択してください。

③製品選択画面が表示されます。"1: FormCast"を選択してください。

④ライセンス情報画面が表示されます。"1: Input Serial and License"を選択してください。

⑤ライセンス情報入力画面が表示されます。"Serial : CF"の表示に続けて製品シリアル番号 (先頭の CF を除いた 26 桁)を入力して "Enter" キーを押してください。

⑥続いてライセンスパスワードを入力します。"License Password: の表示に続けてライセンスパスワード(29桁)を入力して"Enter"キーを押してください。

⑦ライセンス情報画面に"License: OK"と表示されていることを確認してください。

⑧設定完了後は "q: Exit" 選択してライセンス設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワードの設定は完了です。最後に ccast コマンドを実行して環境 変数が正しく設定されているか確認します。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、[csys] ディレクトリ内で直接 ccast コマンドを実行してください。

\$ ccast --Create! FormCast Ver.10.00.0-Adv.-UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、 Create! FormCast Ver.10.00.0-Adv.-UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数が正しく設定されています。エラーメッ セージが表示された場合は、環境変数の設定に問題があります。設定情報を再度確認し、正し い内容を設定してください。

<u>1-4-4 アンインストール</u>

製品の導入ディレクトリを直接削除して、製品のアンインストールを行ってください。 また、環境設定ファイルに環境変数を設定している場合は、設定した環境変数を削除してくだ さい。以上の操作で製品のアンインストールは完了です。
第5章 FormCollect [Windows]

1-5-1 導入

ここでは Windows 環境に FormCollect 製品を導入する方法について説明します。以下の手順に 従って FormCollect のインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

ネットワーク上の DVD-ROM ドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、32bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormCollect¥win¥x32" ディレクトリ、64bit ランタイムをインストールする 場合は "FormCollect¥win¥x64" ディレクトリに移動し、"Setup. exe" をダブルクリックする とセットアップが起動します。

内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。 初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。 (初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③セットアップタイプの選択

セットアップタイプを選択します。セットアップタイプの詳細は以下の通りです。

[標準]

全てのファイルをインストールします。プログラムファイルの他に、サンプル、オンライ ンマニュアル等もインストールされます。

[コンパクト]

最小構成のインストールです。プログラムファイルのみインストールされます。

[カスタム]

インストールするファイルを選択することができます。[次へ]ボタンをクリックし、イン ストールするファイルを選択してください。

セットアップタイプを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

④プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダの選択内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

⑤プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

※インストール完了後にサンプルやオンラインマニュアルの追加や変更を行う場合は、以下の 手順で行ってください。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormCollect V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[変更]を選択します。 追加や変更を行うコンポーネントにチェックを付けて[次へ]をクリックします。

1-5-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

- ① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。
- ②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないことを警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターからライセンスファイルを使用してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。ライセンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を選択してください。

なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンスファイルを指定してライセンスパスワードを設定することができます。 ここでは[はい]を選択します。

図:設定方法選択画面

LpSet	
0	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス(情報をインボートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス(情報の設定を行ってください。

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。
- 図:登録内容確認画面

設定確認	
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。
	製品種別: Createl FormCollect 製品シリアル番号: ライセンスパスワード:
	有効期限: 無期限
	はい(Y) しいいえ(N)

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

义:	登録完	了画面
----	-----	-----

LpSet	×
i	Create! FormCollectのライセンスとして を登録しました。
	ОК

- ⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画面に表示されます。
 - 図: ライセンスパスワード設定画面

マシン識別子:
影品種別
C FormDesign
C FormCast C FormCollect
C FormPrint C FormPrintStage C FormPrintStageWeb
C FormMagicfolder クライアント数:
C FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
製品シリアル番号:
ライセンスパスワード:
有効期限: 無期限

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

<u>1-5-3 アンインストール</u>

以下の手順に従って FormCollect のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、[Create! FormCollect V10] の変更と削除を実行します。

③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。

第6章 FormCollect [Linux/UNIX]

1-6-1 導入

ここではLinux/UNIX版FormCollect製品の導入方法について説明します。 UNIX製品は機種別に分かれていますが、いずれも同様の方法でインストールを行います。 機種によって異なる部分についてはその箇所において説明が記述されています。

<< 注意 >>

製品媒体の DVD-ROM が読み込める環境が必要となります。 予めインストール環境で利用できる(マウントされた)DVD-ROM ドライブ装置を準備してく ださい。または、DVD-ROM が読み込める環境からインストール対象の tar アーカイブファイ ルをバイナリ形式でインストール環境に転送してください。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

Linux/UNIX版FormCollect製品ファイルは、DVD-ROM内の "FormCollect/unix" ディレクトリ にtar アーカイブファイルを圧縮した形式で機種別に格納されています。

32bit版	
x32/ccollect1000_linux_x32.tar.gz	Linux
x32/ccollect1000_ibm_x32.tar.gz	AIX
x32/ccollect1000_hp_ipf_x32.tar.gz	HP-UX
x32/ccollect1000_sun5_x32.tar.gz	Solaris

64bit版

x64/ccollect1000_linux_x64.tar.gz	Linux
x64/ccollect1000_ibm_x64.tar.gz	AIX
x64/ccollect1000_hp_ipf_x64.tar.gz	HP-UX
x64/ccollect1000_sun5_x64.tar.gz	Solaris

DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入して、ファイルを確認してください。 導入のためのアカウントはスーパーユーザでも任意のユーザアカウントでも行えますが、ファ イルアクセスなどは通常のLinux/UNIX 環境下での制約となりますので、ご使用のシステム管 理形態に合わせて決定してください。

導入アカウントと導入ディレクトリが決まったら、まずは導入ディレクトリを作成します。 ここでは、導入ディレクトリを "createv10" ディレクトリで説明します。 \$ mkdir createv10

導入ディレクトリへ移動します。

\$ cd createv10

ご使用の機種にあった tar.gz ファイルを導入ディレクトリヘコピーし、圧縮ファイルを解凍 した後、tar アーカイブを展開します。 次の例では、tar コマンドの-z オプションによる gz ip での解凍と、tar アーカイブの展開を 同時に行っています。

\$ tar xvzf ccollect1000_linux_x32.tar.gz

FormCollect

1-6-2 環境変数の設定

製品を使用するには、環境変数の設定が必要となります。手順に従って、環境変数の設定を必 ず行ってください。

FormCollect ランタイム導入ディレクトリのパスを環境変数 "CDIR_COLLECT" に設定し、ライ ブラリパスとパス (PATH) を FormCollect ランタイム導入ディレクトリ直下の [csys] サブディ レクトリに設定します。

<< 注意 >>

環境変数(ライブラリパス)はプラットフォームによって異なります。 AIX LIBPATH Linux LD_LIBRARY_PATH HP-UX LD_LIBRARY_PATH Solaris LD_LIBRARY_PATH

製品を /opt/createv10 にインストールする場合は、以下のような設定となります。

- B シェル / Bash の場合
 - \$ CDIR_COLLECT=/opt/createv10
 - \$ export CDIR_COLLECT
 - \$ LD_LIBRARY_PATH=\$LD_LIBRARY_PATH:/opt/createv10/csys
 - \$ export LD_LIBRARY_PATH
 - \$ PATH=\$PATH:/opt/createv10/csys
 - \$ export PATH

Cシェルの場合

- % setenv CDIR_COLLECT /opt/createv10
- % setenv LD LIBRARY PATH \${LD LIBRARY PATH}:/opt/createv10/csys
- % set path = (\$path /opt/createv10/csys)

必要に応じて上記設定を環境設定ファイルに設定してください。

<< 注意 >>

Web アプリケーションからランタイムを実行する場合は、Web アプリケーションを実行する ユーザに環境変数が設定されている必要がありますのでご注意ください。

<< 注意 >>

XML データマップ、または DB データマップを使用した帳票ジョブを実行する場合は XML パー サをインストールする必要があります。XML パーサ導入に関する詳細は「1-16-1 XML パーサ の導入について」をご覧ください。

<< 注意 >>

文字コードの設定を行っていない場合は、ランタイム出力ファイルの文字化けが発生する 可能性があります。文字コードの設定に関する詳細は「1-16-2 文字コードの設定」 をご覧 ください。

1-6-3 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >> Windows 製品の導入後5日間の動作とは異なり、Linux/UNIX環境ではライセンスパスワード を設定しない状態で動作させることはできませんのでご注意ください。

1. ライセンスファイルを使用する場合

発行されたライセンスファイル (LICENSE_COLLECT) を、FormCollect ランタイム導入ディレク トリ直下の [csys] ディレクトリ内ヘコピーしてください。ライセンスファイルをコピーした 後、ccollect コマンドを実行してライセンス情報と環境変数が正しく設定されているか確認 します。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、[csys] ディレクトリ内で直接 ccollect コマンドを実行してください。

\$ ccollect --Create! FormCollect Ver.10.00.0-Adv.-UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、 Create! FormCollect Ver.10.00.0-Adv.-UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数とライセンスパスワードが正しく設定 されています。エラーメッセージが表示された場合は、環境変数、もしくはライセンスパスワー ドの設定に問題があります。設定内容を再度確認し、正しい情報を設定してください。

2. ライセンス情報を直接入力する場合

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Web サイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、以下の手順に従ってライセンスパスワード を設定してください。

showmidコマンドを実行します。なお、パス (PATH) の設定を行っていない場合は、[csys] ディレクトリ内で直接 showmid コマンドを実行してください。
 \$ showmid

②ライセンス設定画面が表示されます。"1: Product Menu"を選択してください。

③製品選択画面が表示されます。² : FormCollect² を選択してください。

④ライセンス情報画面が表示されます。"1: Input Serial and License"を選択してください。

⑤ライセンス情報入力画面が表示されます。"Serial : CF"の表示に続けて製品シリアル番号 (先頭の CF を除いた 26 桁)を入力して "Enter" キーを押してください。

⑥続いてライセンスパスワードを入力します。"License Password: の表示に続けてライセンスパスワード(29桁)を入力して"Enter"キーを押してください。

⑦ライセンス情報画面に"License: OK"と表示されていることを確認してください。

⑧設定完了後は "q: Exit" 選択してライセンス設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワードの設定は完了です。最後に ccollect コマンドを実行して 環境変数が正しく設定されているか確認します。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、 [csys] ディレクトリ内で直接 ccollect コマンドを実行してください。

\$ ccollect --

Create! FormCollect Ver.10.00.0-Adv.-UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、

Create! FormCollect Ver. 10. 00. 0-Adv. -UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数が正しく設定されています。エラーメッ セージが表示された場合は、環境変数の設定に問題があります。設定情報を再度確認し、正し い内容を設定してください。

<u>1-6-4 アンインストール</u>

製品の導入ディレクトリを直接削除して、製品のアンインストールを行ってください。 また、環境設定ファイルに環境変数を設定している場合は、設定した環境変数を削除してくだ さい。以上の操作で製品のアンインストールは完了です。

第7章 FormPrint [Windows]

1-7-1 導入

ここではWindows環境にFormPrint製品を導入する方法について説明します。以下の手順に従ってFormPrintのインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

ネットワーク上の DVD-ROM ドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、32bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormPrint¥win¥x32" ディレクトリ、64bit ランタイムをインストールする場 合は "FormPrint¥win¥x64" ディレクトリに移動し、"Setup. exe" をダブルクリックすると セットアップが起動します。

内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。 初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。 (初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③セットアップタイプの選択

セットアップタイプを選択します。セットアップタイプの詳細は以下の通りです。

[標準]

全てのファイルをインストールします。プログラムファイルの他に、サンプル、オンライ ンマニュアル等もインストールされます。

[コンパクト]

最小構成のインストールです。プログラムファイルのみインストールされます。

[カスタム]

インストールするファイルを選択することができます。[次へ]ボタンをクリックし、イン ストールするファイルを選択してください。

セットアップタイプを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

④プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダの選択内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

⑤プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

※インストール完了後にサンプルやオンラインマニュアルの追加や変更を行う場合は、以下の 手順で行ってください。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormPrint V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[変更]を選択します。 追加や変更を行うコンポーネントにチェックを付けて[次へ]をクリックします。

1-7-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。

②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないことを警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターからライセンスファイルを使用してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。ライセンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を選択してください。

なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンス ファイルを指定してライセンスパスワードを設定することができます。 ここでは[はい]を選択します。

図:設定方法選択画面

LpSet	
0	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス情報をインボートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス情報の設定を行ってください。
	$[\underline{(t \cup (\underline{Y}))}] = \underline{(t \cup (\underline{X}))}$

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。
- 図:登録内容確認画面

設定確認	
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。
	製品種別: Create! FormPrint 製品シリアル番号: ライセンスパスワード: 有効期限: 無期限
	<u> はい(y)</u> いいえ(N)

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

図:登録完了画面

ſ	LpSet	Print E	٢
	i	Createl FormPrintのライセンスとして を登録しました。	
		ОК	

⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画面に表示されます。

図: ライセンスパスワード設定画面

マシン識別子:
製品種別
C FormDesign
C FormCast C FormCollect
• FormPrint C FormPrintStage C FormPrintStageWeb
C FormMagicfolder クライアント数:
C FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
製品シリアル番号:
ライセンスパスワード:
有効期限: 無期限

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

<u>1-7-3 アンインストール</u>

以下の手順に従って FormPrint のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、[Create! FormPrint V10] の変更と削除を実行します。

③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。

第8章 FormPrint [Linux/UNIX]

1-8-1 導入

ここではLinux/UNIX版FormPrint製品の導入方法について説明します。 UNIX製品は機種別に分かれていますが、いずれも同様の方法でインストールを行います。 機種によって異なる部分についてはその箇所において説明が記述されています。

<< 注意 >>

製品媒体の DVD-ROM が読み込める環境が必要となります。 予めインストール環境で利用できる(マウントされた)DVD-ROM ドライブ装置を準備してく ださい。または、DVD-ROM が読み込める環境からインストール対象の tar アーカイブファイ ルをバイナリ形式でインストール環境に転送してください。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

Linux/UNIX版FormPrint製品ファイルは、DVD-ROM内の "FormPrint/unix" ディレクトリに tar アーカイブファイルを圧縮した形式で機種別に格納されています。

32bit版	
x32/cprint1000_linux_x32.tar.gz	Linux
x32/cprint1000_ibm_x32.tar.gz	AIX
x32/cprint1000_hp_ipf_x32.tar.gz	HP-UX
x32/cprint1000 sun5 x32.tar.gz	Solaris

64bit版	
x64/cprint1000_linux_x64.tar.gz	Linux
x64/cprint1000_ibm_x64.tar.gz	AIX
x64/cprint1000_hp_ipf_x64.tar.gz	HP-UX
x64/cprint1000_sun5_x64.tar.gz	Solaris

DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入して、ファイルを確認してください。 導入のためのアカウントはスーパーユーザでも任意のユーザアカウントでも行えますが、ファ イルアクセスなどは通常の Linux/UNIX 環境下での制約となりますので、ご使用のシステム管 理形態に合わせて決定してください。

導入アカウントと導入ディレクトリが決まったら、まずは導入ディレクトリを作成します。 ここでは、導入ディレクトリを "createv10" ディレクトリで説明します。 \$ mkdir createv10

導入ディレクトリへ移動します。

\$ cd createv10

ご使用の機種にあった tar.gz ファイルを導入ディレクトリヘコピーし、圧縮ファイルを解凍 した後、tar アーカイブを展開します。 次の例では、tar コマンドの-zオプションによる gz ip での解凍と、tar アーカイブの展開を 同時に行っています。

\$ tar xvzf cprint1000_linux_x32.tar.gz

1-8-2 環境変数の設定

製品を使用するには、環境変数の設定が必要となります。手順に従って、環境変数の設定を必 ず行ってください。

FormPrint ランタイム導入ディレクトリのパスを環境変数 "CDIR_PRINT" に設定し、ライブラ リパスとパス (PATH) を FormPrint ランタイム導入ディレクトリ直下の [bin] サブディレクト リに設定します。

<< 注意 >>

環境変数(ライブラリパス)はプラットフォームによって異なります。 AIX LIBPATH Linux LD_LIBRARY_PATH HP-UX LD_LIBRARY_PATH Solaris LD_LIBRARY_PATH

製品を /opt/createv10 にインストールする場合は、以下のような設定となります。

- B シェル / Bash の場合
 - \$ CDIR_PRINT=/opt/createv10
 - \$ export CDIR_PRINT
 - \$ LD_LIBRARY_PATH=\$LD_LIBRARY_PATH:/opt/createv10/bin
 - \$ export LD_LIBRARY_PATH
 - \$ PATH=\$PATH:/opt/createv10/bin
 - \$ export PATH

Cシェルの場合

- % setenv CDIR_PRINT /opt/createv10
- % setenv LD_LIBRARY_PATH \${LD_LIBRARY_PATH}:/opt/createv10/bin
- % set path = (\$path /opt/createv10/bin)

必要に応じて上記設定を環境設定ファイルに設定してください。

<< 注意 >>

Web アプリケーションからランタイムを実行する場合は、Web アプリケーションを実行する ユーザに環境変数が設定されている必要がありますのでご注意ください。

<< 注意 >>

XML データマップ、または DB データマップを使用した帳票ジョブを実行する場合は XML パー サをインストールする必要があります。XML パーサ導入に関する詳細は「1-16-1 XML パーサ の導入について」をご覧ください。

<< 注意 >>

文字コードの設定を行っていない場合は、ランタイム出力ファイルの文字化けが発生する 可能性があります。文字コードの設定に関する詳細は「1-16-2 文字コードの設定」 をご覧 ください。

1-8-3 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >> Windows 製品の導入後 5 日間の動作とは異なり、Linux/UNIX 環境ではライセンスパスワード を設定しない状態で動作させることはできませんのでご注意ください。

1. ライセンスファイルを使用する場合

発行されたライセンスファイル (LICENSE_PRINT) を、FormPrint ランタイム導入ディレクトリ 直下の [bin] ディレクトリ内ヘコピーしてください。ライセンスファイルをコピーした後、 cprint コマンドを実行してライセンス情報と環境変数が正しく設定されているか確認します。 パス (PATH) の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 cprint コマンドを実 行してください。

\$ cprint --Create! FormPrint Ver.10.00.0-Adv.-UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、 Create! FormPrint Ver.10.00.0-Adv.-UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数とライセンスパスワードが正しく設定 されています。エラーメッセージが表示された場合は、環境変数、もしくはライセンスパスワー ドの設定に問題があります。設定内容を再度確認し、正しい情報を設定してください。

2. ライセンス情報を直接入力する場合

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Web サイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、以下の手順に従ってライセンスパスワード を設定してください。

showmidコマンドを実行します。なお、パス(PATH)の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 showmid コマンドを実行してください。
 \$ showmid

②ライセンス設定画面が表示されます。"1: Product Menu"を選択してください。

③製品選択画面が表示されます。"3 : FormPrint"を選択してください。

④ライセンス情報画面が表示されます。"1: Input Serial and License"を選択してください。

⑤ライセンス情報入力画面が表示されます。"Serial : CF"の表示に続けて製品シリアル番号 (先頭の CF を除いた 26 桁)を入力して "Enter" キーを押してください。

⑥続いてライセンスパスワードを入力します。"License Password: の表示に続けてライセンスパスワード(29桁)を入力して"Enter"キーを押してください。

⑦ライセンス情報画面に"License: OK"と表示されていることを確認してください。

⑧設定完了後は "q: Exit" 選択してライセンス設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワードの設定は完了です。最後に cprint コマンドを実行して環 境変数が正しく設定されているか確認します。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 cprint コマンドを実行してください。

\$ cprint --Create! FormPrint Ver. 10.00.0-Adv.-UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、 Create! FormPrint Ver. 10.00.0-Adv.-UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数が正しく設定されています。エラーメッ セージが表示された場合は、環境変数の設定に問題があります。設定情報を再度確認し、正し い内容を設定してください。

<u>1-8-4 アンインストール</u>

製品の導入ディレクトリを直接削除して、製品のアンインストールを行ってください。 また、環境設定ファイルに環境変数を設定している場合は、設定した環境変数を削除してくだ さい。以上の操作で製品のアンインストールは完了です。

第9章 FormPrintStage [Windows]

1-9-1 導入

ここではWindows 環境に FormPrintStage 製品を導入する方法について説明します。以下の手 順に従ってFormPrintStageのインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

ネットワーク上のDVD-ROMドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、32bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormPrintStage¥win¥x32" ディレクトリ、64bit ランタイムをインストール する場合は "FormPrintStage¥win¥x64" ディレクトリに移動し、"Setup. exe" をダブルクリッ クするとセットアップが起動します。

内容をご確認の上、「次へ」ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。 初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、「参照」ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。 (初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③セットアップタイプの選択

セットアップタイプを選択します。セットアップタイプの詳細は以下の通りです。

「標進]

全てのファイルをインストールします。プログラムファイルの他に、サンプル、オンライ ンマニュアル等もインストールされます。

[コンパクト]

最小構成のインストールです。プログラムファイルのみインストールされます。

[カスタム]

インストールするファイルを選択することができます。[次へ]ボタンをクリックし、イン ストールするファイルを選択してください。

セットアップタイプを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

④プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダの選択内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

⑤プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

※インストール完了後にサンプルやオンラインマニュアルの追加や変更を行う場合は、以下の 手順で行ってください。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormPrintStage V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[変更]を選択します。 追加や変更を行うコンポーネントにチェックを付けて[次へ]をクリックします。

1-9-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。

②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないことを警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターからライセンスファイルを使用してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。ライセンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を選択してください。

なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンスファイルを指定してライセンスパスワードを設定することができます。 ここでは[はい]を選択します。

図:設定方法選択画面

LpSet	
()	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス傾戦をインボートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス情報の設定を行ってください。

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。
- 図:登録内容確認画面

設定確認	
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。
	製品種別: Create! FormPrintStage 製品シリアル番号: ライセンスパスワード:
	有効期限: 無期限
	はい(Y) いいえ(N)

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

図:登録完了画面

ſ	LpSet	-X-
	i	Createl FormPrintStageのライセンスとして を登録しました。
		ОК

⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画面に表示されます。

図: ライセンスパスワード設定画面

マシン識別子:
C FormDesign
C FormCast C FormCollect
C FormPrint C FormPrintStage C FormPrintStageWeb
C FormMagicfolder クライアンド数:
C FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
製品シリアル番号:
ライセンスパスワード:
有効期限: 無期限
ライセンスインボート 設定 閉じる

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

<u>1-9-3 アンインストール</u>

以下の手順に従って FormPrintStage のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormPrintStage V10]の変更と削除を実行します。

③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。

第 10 章 FormPrintStage Web [Windows]

1-10-1 導入

ここではWindows 環境に FormPrintStage Web 製品を導入する方法について説明します。以下の手順に従って FormPrintStage Web のインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

ネットワーク上の DVD-ROM ドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、32bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormPrintStage Web¥win¥x32" ディレクトリ、64bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormPrintStage Web¥win¥x64" ディレクトリに移動し、"Setup. exe" をダブ ルクリックするとセットアップが起動します。

内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。 初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。 (初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③セットアップタイプの選択

セットアップタイプを選択します。セットアップタイプの詳細は以下の通りです。

[標準]

全てのファイルをインストールします。プログラムファイルの他に、サンプル、オンライ ンマニュアル等もインストールされます。

[コンパクト]

最小構成のインストールです。プログラムファイルのみインストールされます。

[カスタム]

インストールするファイルを選択することができます。[次へ]ボタンをクリックし、イン ストールするファイルを選択してください。

セットアップタイプを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

④プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダの選択内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

⑤プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

※インストール完了後にサンプルやオンラインマニュアルの追加や変更を行う場合は、以下の 手順で行ってください。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormPrintStage Web V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[変更]を選択します。 追加や変更を行うコンポーネントにチェックを付けて[次へ]をクリックします。

1-10-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。

②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないことを警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターからライセンスファイルを使用してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。ライセンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を選択してください。

なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンス ファイルを指定してライセンスパスワードを設定することができます。 ここでは[はい]を選択します。

図:設定方法選択画面

LpSet	
()	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス(情報をインボートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス情報の設定を行ってください。

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。
- 図:登録内容確認画面

設定確認	x
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。
	製品種別: Create! FormPrintStageWeb 製品シリアル番号:
	ライセンスバスワード: 有効期限: 無期限
	はい(Y) いいえ(N)

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

図:登録完了画面

ſ	LpSet	-X-
	i	Createl FormPrintStageWebのライセンスとして を登録しました。
		ОК

⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画面に表示されます。

図:ライセンスパスワード設定画面

マシン識別子:
- 製品種別
C FormDesign
C FormCast C FormCollect
C FormPrint C FormPrintStage • FormPrintStageWeb
C FormMagicfolder クライアント数:
C FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
製品シリアル番号:
ライセンスパスワード:
有効期限: 無期限
ライセンスインボート 設定 閉じる

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

1-10-3 アンインストール

以下の手順に従って FormPrintStage Web のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormPrintStage Web V10]の変更と削除を実行します。

③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。
第 11 章 FormPrintStage Web [Linux/UNIX]

1-11-1 導入

ここではLinux/UNIX版FormPrintStage Web 製品の導入方法について説明します。 UNIX製品は機種別に分かれていますが、いずれも同様の方法でインストールを行います。 機種によって異なる部分についてはその箇所において説明が記述されています。

<< 注意 >>

製品媒体の DVD-ROM が読み込める環境が必要となります。 予めインストール環境で利用できる(マウントされた)DVD-ROM ドライブ装置を準備してく ださい。または、DVD-ROM が読み込める環境からインストール対象の tar アーカイブファイ ルをバイナリ形式でインストール環境に転送してください。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

Linux/UNIX版FormPrintStage Web 製品ファイルは、DVD-ROM内の "FormPrintStage Web/ unix" ディレクトリに tar アーカイブファイルを圧縮した形式で機種別に格納されています。

32bit版	
x32/cprintstweb1000_linux_x32.tar.gz	Linux
x32/cprintstweb1000_ibm_x32.tar.gz	AIX
x32/cprintstweb1000_hp_ipf_x32.tar.gz	HP-UX
x32/cprintstweb1000_sun5_x32.tar.gz	Solaris

~ * *			
64h	÷.	+	ĽЬ
		L	까지

x64/cprintstweb1000_linux_x64.tar.gz	Linux
x64/cprintstweb1000_ibm_x64.tar.gz	AIX
x64/cprintstweb1000_hp_ipf_x64.tar.gz	HP-UX
x64/cprintstweb1000_sun5_x64.tar.gz	Solaris

DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入して、ファイルを確認してください。 導入のためのアカウントはスーパーユーザでも任意のユーザアカウントでも行えますが、ファ イルアクセスなどは通常の Linux/UNIX 環境下での制約となりますので、ご使用のシステム管 理形態に合わせて決定してください。

導入アカウントと導入ディレクトリが決まったら、まずは導入ディレクトリを作成します。 ここでは、導入ディレクトリを "createv10" ディレクトリで説明します。 \$ mkdir createv10

導入ディレクトリへ移動します。

\$ cd createv10

ご使用の機種にあった tar.gz ファイルを導入ディレクトリヘコピーし、圧縮ファイルを解凍 した後、tar アーカイブを展開します。 次の例では、tar コマンドの-zオプションによる gz ip での解凍と、tar アーカイブの展開を 同時に行っています。

\$ tar xvzf cprintstweb1000_linux_x32.tar.gz

1-11-2 環境変数の設定

製品を使用するには、環境変数の設定が必要となります。手順に従って、環境変数の設定を必 ず行ってください。

FormPrintStage Web ランタイム導入ディレクトリのパスを環境変数 "CDIR_PRINTST" に設定し、 ライブラリパスとパス (PATH) を FormPrintStage Web ランタイム導入ディレクトリ直下の [bin] サブディレクトリに設定します。

<< 注意 >>

環境変数(ライブラリパス)はプラットフォームによって異なります。 AIX LIBPATH Linux LD_LIBRARY_PATH HP-UX LD_LIBRARY_PATH Solaris LD_LIBRARY_PATH

製品を /opt/createv10 にインストールする場合は、以下のような設定となります。

- B シェル / Bash の場合
 - \$ CDIR_PRINTST=/opt/createv10
 - \$ export CDIR_PRINTST
 - \$ LD_LIBRARY_PATH=\$LD_LIBRARY_PATH:/opt/createv10/bin
 - \$ export LD_LIBRARY_PATH
 - \$ PATH=\$PATH:/opt/createv10/bin
 - \$ export PATH

Cシェルの場合

- % setenv CDIR_PRINTST /opt/createv10
- % setenv LD_LIBRARY_PATH \${LD_LIBRARY_PATH}:/opt/createv10/bin
- % set path = (\$path /opt/createv10/bin)

必要に応じて上記設定を環境設定ファイルに設定してください。

<< 注意 >>

Web アプリケーションからランタイムを実行する場合は、Web アプリケーションを実行する ユーザに環境変数が設定されている必要がありますのでご注意ください。

<< 注意 >>

XML データマップ、または DB データマップを使用した帳票ジョブを実行する場合は XML パー サをインストールする必要があります。XML パーサ導入に関する詳細は「1-16-1 XML パーサ の導入について」をご覧ください。

<< 注意 >>

文字コードの設定を行っていない場合は、ランタイム出力ファイルの文字化けが発生する 可能性があります。文字コードの設定に関する詳細は「1-16-2 文字コードの設定」 をご覧 ください。

1-11-3 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

Windows 製品の導入後5日間の動作とは異なり、Linux/UNIX環境ではライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることはできませんのでご注意ください。

1. ライセンスファイルを使用する場合

発行されたライセンスファイル (LICENSE_STAGEWEB) を、FormPrintStage Web ランタイム導 入ディレクトリ直下の [bin] ディレクトリ内へコピーしてください。ライセンスファイルを コピーした後、cprintst コマンドを実行してライセンス情報と環境変数が正しく設定されて いるか確認します。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 cprintst コマンドを実行してください。

\$ cprintst --Create! FormPrintStageWeb Ver. 10.00.0-Adv. -UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、 Create! FormPrintStageWeb Ver. 10.00.0-Adv. -UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数とライセンスパスワードが正しく設定 されています。エラーメッセージが表示された場合は、環境変数、もしくはライセンスパスワー ドの設定に問題があります。設定内容を再度確認し、正しい情報を設定してください。

2. ライセンス情報を直接入力する場合

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、以下の手順に従ってライセンスパスワード を設定してください。

showmidコマンドを実行します。なお、パス(PATH)の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 showmid コマンドを実行してください。
 \$ showmid

②ライセンス設定画面が表示されます。"1: Product Menu"を選択してください。

③製品選択画面が表示されます。^{"4}: FormPrintStageWeb"を選択してください。

④ライセンス情報画面が表示されます。"1: Input Serial and License"を選択してください。

⑤ライセンス情報入力画面が表示されます。"Serial : CF"の表示に続けて製品シリアル番号 (先頭の CF を除いた 26 桁)を入力して "Enter" キーを押してください。 ⑥続いてライセンスパスワードを入力します。"License Password: の表示に続けてライセンスパスワード(29桁)を入力して"Enter"キーを押してください。

⑦ライセンス情報画面に"License : OK"と表示されていることを確認してください。

⑧設定完了後は "q: Exit" 選択してライセンス設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワードの設定は完了です。最後に cprintst コマンドを実行して 環境変数が正しく設定されているか確認します。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、 [bin] ディレクトリ内で直接 cprintst コマンドを実行してください。

\$ cprintst --Create! FormPrintStageWeb Ver. 10.00.0-Adv.-UX-x32 (32bit版をインストールした場合) または、 Create! FormPrintStageWeb Ver. 10.00.0-Adv.-UX-x64 (64bit版をインストールした場合)

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数が正しく設定されています。エラーメッ セージが表示された場合は、環境変数の設定に問題があります。設定情報を再度確認し、正し い内容を設定してください。

<u>1-11-4 アンインストール</u>

製品の導入ディレクトリを直接削除して、製品のアンインストールを行ってください。 また、環境設定ファイルに環境変数を設定している場合は、設定した環境変数を削除してくだ さい。以上の操作で製品のアンインストールは完了です。

第 12 章 FormPrintStage WebClient [Windows]

1-12-1 導入

ここでは Windows 環境に FormPrintStage WebClient 製品を導入する方法について説明します。 以下の手順に従って FormPrintStage WebClient のインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

ネットワーク上のDVD-ROMドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、"FormPrintStage WebClient¥ win¥x32"ディレクトリに移動し、"cpstwebclient1000_win.exe"をダブルクリックすると セットアップが起動します。

内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。 初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。 (初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

1-12-2 アンインストール

以下の手順に従って FormPrintStage WebClient のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormPrintStage WebClient V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

全てのファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直 接削除してください。

第 13 章 FormMagicfolder [Windows]

1-13-1 導入

ここでは Windows 環境に FormMagicfolder 製品を導入する方法について説明します。以下の手順に従って FormMagicfolder のインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

本製品の動作には、Java SE 5 以上の Java の実行環境(JDK/JRE)が必要となります。

<< 注意 >>

ネットワーク上のDVD-ROMドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、32bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormMagicfolder¥win¥x32" ディレクトリ、64bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormMagicfolder¥win¥x64" ディレクトリに移動し、"Setup. exe" をダブルク リックするとセットアップが起動します。

内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。

初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。

(初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。

※環境変数 JAVA_HOME が導入環境のシステム環境変数に設定されていない場合は、システム環 境変数に JAVA_HOME を追加し、JDK/JRE の導入ディレクトリパスを設定してください。

1-13-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。

②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないこと を警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターからライセンスファイルを使用 してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。ライセ ンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を選択し てください。

なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンス ファイルを指定してライセンスパスワードを設定することができます。 ここでは[はい]を選択します。

図:設定方法選択画面

LpSet		
0	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス情報をインポートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス情報の設定を行ってください。	
	$\fbox{\ \ } \fbox{\ \ } \newcommand{\ \ } \r{\ \ } \newcommand{\ \ } \r{\ } \r{\ \ } } \r{\ \ } } \r{\ \ } \ \ } \r{\ \ } \r{\ \ } \r{\ \ } \ $	

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。

図:登録内容確認画面

設定確認		
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。	
	製品種別: Create! FormMagicfolder 製品: 기고世표물:	
安田シリア・ ライセンスノ 有効期限:	る (ロシン) パロワード: 有 かは明記: 無期間	

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

凶:豆球元」回囬
LpSet
Createl FormMagicfolderのライセンスとして を登録しました。
ОК

- ⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画面に表示されます。
 - 図:ライセンスパスワード設定画面

マシン識別子:
製品種別
C FormDesign
C FormCast C FormCollect
C FormPrint C FormPrintStage C FormPrintStageWeb
● FormMagicfolder クライアント数:
C FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
 製品シリアル番号: ライセンスパスワード: 有効期限: 無期限 ライセンスインポート 設定 閉じる

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

<u>1-13-3 アンインストール</u>

以下の手順に従って FormMagicfolder のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

- ②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormMagicfolder V10]の変更と削除を実行します。
- ③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。

第 14 章 FormRemoteObject [Windows]

1-14-1 導入

ここではWindows 環境に FormRemoteObject 製品を導入する方法について説明します。以下の 手順に従って FormRemoteObject のインストールを行ってください。

<< 注意 >>

本製品の導入には Administrator(管理者)権限が必要です。

<< 注意 >>

本製品の動作には、Java SE 5 以上の Java の実行環境 (JDK/JRE) が必要となります。

<< 注意 >>

ネットワーク上のDVD-ROMドライブをお使いになる場合、必ずネットワークドライブ(ド ライブ文字)を割り当ててください。ネットワークドライブを割り当てずに導入を行うと、 正常にインストールされないことがあります。

<< 注意 >>

「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

①インストーラの起動

導入する環境の DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入し、32bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormRemoteObject¥win¥x32" ディレクトリ、64bit ランタイムをインストー ルする場合は "FormRemoteObject¥win¥x64" ディレクトリに移動し、"Setup. exe" をダブル クリックするとセットアップが起動します。

内容をご確認の上、[次へ]ボタンをクリックしてください。

②インストール先の選択

導入先ディレクトリを指定します。

初期設定では標準の導入先ディレクトリが画面に表示されます。問題がなければそのまま 表示されたディレクトリへ導入してください。変更するには、[参照]ボタンをクリックし、 導入先ディレクトリを変更してください。

(初期設定で表示される導入先ディレクトリをそのままご使用になることをお勧めします)

③プログラムファイルのコピー

セットアップが開始され、セットアップタイプで選択されたファイルー式が導入先ディレ クトリにコピーされます。導入が完了すると、「セットアップが完了しました」というメッ セージが表示されます。導入後、再起動を促された場合には、必ず OS を再起動してください。

※環境変数 JAVA_HOME が導入環境のシステム環境変数に設定されていない場合は、システム環 境変数に JAVA_HOME を追加し、JDK/JRE の導入ディレクトリパスを設定してください。

1-14-2 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

製品導入後5日間はライセンスパスワードを設定しない状態で動作させることができます。

① Windows のスタートメニューより、[Create! Form V10]-[ライセンスパスワード設定]を 選択し、ライセンスパスワード設定ダイアログを起動します。

②ライセンスパスワードが設定されていない場合は、ライセンス情報が設定されていないこと を警告するメッセージが表示されます。パスワードセンターからライセンスファイルを使用 してライセンスパスワードを設定する場合は、ここで[はい]を選択してください。ライセ ンスパスワード設定ダイアログにライセンス情報を直接入力する場合は[いいえ]を選択し てください。

なお、[いいえ]を選択した場合でもライセンスパスワード設定ダイアログからライセンス ファイルを指定してライセンスパスワードを設定することができます。 ここでは[はい]を選択します。

図:設定方法選択画面

LpSet	
0	ライセンス情報が設定されていません。 ライセンスファイルからライセンス(開報をインボートしますか。 ※ライセンスファイルを使用しない場合は、[いいえ]を選択して直接 ライセンス(情報の設定を行ってください。

- ③ファイル選択ダイアログが起動します。取得したライセンスファイルを選択して[開く]ボ タンをクリックしてください。
- ④正しいライセンスファイルが選択されると、ライセンス登録確認メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックしてライセンスパスワードを登録してください。

図:登録内容確認画面

設定確認	
?	以下の内容でライセンス情報の設定を行います。 よろしいですか。
	製品種別: Create! FormRemoteObject
	製品シリアル番号: ライセンスパスワード:
	有効期限: 無期限

⑤ライセンス登録完了メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。

凶:豆稣元」回闾
LpSet 🛛
Createl FormRemoteObjectのライセンスとして を登録しました。
ОК

- ⑥正しくライセンスが設定されると、登録したライセンス情報がライセンスパスワード設定画面に表示されます。
 - 図:ライセンスパスワード設定画面

マシン識別子:
製品種別
C FormDesign
C FormCast C FormCollect
C FormPrint C FormPrintStage C FormPrintStageWeb
C FormMagicfolder クライアント数:
FormRemoteObject
C FormPrintJobServer
製品シリアル番号: ライセンスパスワード: 有効期限: 無期限 ライセンスインポート 設定 閉じる

⑦[閉じる]をクリックしてライセンスパスワード設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワード設定作業は完了です。

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、ライセンスパスワード設定画面で「製品種 別」を選択した後、「製品シリアル番号」と「ライセンスパスワード」を直接入力してライセ ンス情報を設定してください。

<u>1-14-3 アンインストール</u>

以下の手順に従って FormRemoteObject のアンインストールを行ってください。

<< 注意 >>

アンインストールを行うには、Administrator(管理者)権限が必要です。

①実行中のプログラムをすべて終了します。

②[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、
 [Create! FormRemoteObject V10]の変更と削除を実行します。

③プログラムのセットアップダイアログが表示されます。[削除]を選択します。
 [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

上記手順でアンインストールを行った場合でも、FormDesign で作成した帳票資源ファイルな ど、新規作成したファイルや製品導入後に変更が入ったファイルはアンインストールで削除さ れません。それらのファイルが不要な場合は、手動で削除する必要があります。また、全ての ファイルを削除する場合は、アンインストールを行った後、導入ディレクトリ自体を直接削除 してください。

FormRemoteObject

第 15 章 FormRemoteObject [Linux]

1-15-1 導入

ここではLinux版FormRemoteObject製品の導入方法について説明します。

<< 注意 >> 本製品の動作には、Java SE 5 以上の Java の実行環境 (JDK/JRE) が必要となります。

<< 注意 >>

製品媒体の DVD-ROM が読み込める環境が必要となります。

予めインストール環境で利用できる(マウントされた)DVD-ROM ドライブ装置を準備してく ださい。または、DVD-ROM が読み込める環境からインストール対象の tar アーカイブファイ ルをバイナリ形式でインストール環境に転送してください。

<< 注意 >> 「ライセンス証明書」裏面のソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合のみ導入を行っ てください。

Linux版FormRemoteObject製品ファイルは、DVD-ROM内の"FormRemoteObject/linux" ディレクトリにtarアーカイブファイルを圧縮した形式で格納されています。なお、 FormRemoteObjectの動作には、「コアモジュール」と「追加モジュール」の両方のモジュール の導入が必要となります。

コアモジュール (32bit/64bit 共通) core/cfroserver1000 core.tar.gz

追加モジュール (32bit版) x32/cfroserver1000_opt_linux_x32.tar.gz

追加モジュール (64bit版) x64/cfroserver1000_opt_linux_x64.tar.gz

<< 注意 >>

導入環境の Java の実行環境(JDK/JRE)が 32bit版の場合、追加モジュールは 32bit版を インストールしてください。また、導入環境の Java の実行環境(JDK/JRE)が 64bit版の 場合、追加モジュールは 64bit版をインストールしてください。なお、コアモジュールは 32bit、64bit 共通でご使用いただけます。

DVD-ROM ドライブに製品 DVD-ROM を挿入して、ファイルを確認してください。 導入のためのアカウントはスーパーユーザでも任意のユーザアカウントでも行えますが、ファ イルアクセスなどは通常の Linux 環境下での制約となりますので、ご使用のシステム管理形態 に合わせて決定してください。

導入アカウントと導入ディレクトリが決まったら、まずは導入ディレクトリを作成します。 ここでは、導入ディレクトリを "createv10" ディレクトリで説明します。 \$ mkdir createv10

導入ディレクトリへ移動します。 \$ cd createv10 「コアモジュール」と「追加モジュール」を導入ディレクトリヘコピーし、それぞれの圧縮ファ イルを解凍した後、tar アーカイブを展開します。 次の例では、tar コマンドの-zオプションによるgzipでの解凍と、tar アーカイブの展開を 同時に行っています。

まずはコアモジュールの展開します。

\$ tar xvzf cfroserver1000_core.tar.gz

続いて追加モジュールを展開します。

\$ tar xvzf cfroserver1000_opt_linux_x32.tar.gz

以上で FormRemoteObject の導入作業は終了です。続いて環境変数とライセンスパスワードの 設定を行います。

1-15-2 環境変数の設定

製品を使用するには、環境変数の設定が必要となります。手順に従って、環境変数の設定を必 ず行ってください。

FormRemoteObject 導入ディレクトリのパスを環境変数 "CDIR_RO" に設定し、ライブラリパス とパス (PATH) を FormRemoteObject 導入ディレクトリ直下の [lib] サブディレクトリと [bin] サブディレクトリのそれぞれに設定します。また、環境変数 "JAVA_HOME" が設定されていない 場合は、環境変数 "JAVA_HOME" を設定します。

環境変数	設定値
CDIR_RO	FormRemoteObject 導入ディレクトリパス
LD_LIBRARY_PATH	FormRemoteObject 導入ディレクトリ /lib
PATH	FormRemoteObject導入ディレクトリ/bin
JAVA_HOME	Java 実行環境(JDK/JRE)導入ディレクトリパス

製品を /opt/createv10、Java 実行環境 (JDK/JRE) を /usr/local/java にインストールする場 合は、以下のような設定となります。

B シェル / Bash の場合

- \$ CDIR_R0=/opt/createv10
- \$ export CDIR RO
- \$ LD_LIBRARY_PATH=\$LD_LIBRARY_PATH:/opt/createv10/lib
- \$ export LD_LIBRARY_PATH
- \$ PATH=\$PATH:/opt/createv10/bin
- \$ export PATH
- \$ JAVA_HOME=/usr/local/java
- \$ export JAVA_HOME

Cシェルの場合

- % setenv CDIR_R0 /opt/createv10
- % setenv LD_LIBRARY_PATH \${LD_LIBRARY_PATH}:/opt/createv10/bin
- % set path = (\$path /opt/createv10/bin)
- % setenv JAVA_HOME /usr/local/java

必要に応じて上記設定を環境設定ファイルに設定してください。

<< 注意 >>

XML データマップ、または DB データマップを使用した帳票ジョブを実行する場合は XML パー サをインストールする必要があります。XML パーサ導入に関する詳細は「1-13-1 XML パーサ の導入について」をご覧ください。

<< 注意 >>

文字コードの設定を行っていない場合は、ランタイム出力ファイルの文字化けが発生する 可能性があります。文字コードの設定に関する詳細は「1-13-2 文字コードの設定」 をご覧 ください。

1-15-3 ライセンスパスワードの設定

製品を使用するには、ライセンスパスワードの設定が必要となります。 製品導入後、以下の手順に従って製品導入環境にライセンスパスワードを設定してください。 ライセンスパスワードの取得方法につきましては「1-1-4 ライセンスパスワードについて」を ご覧ください。

<< 注意 >>

Windows 製品の導入後5日間の動作とは異なり、Linux 環境ではライセンスパスワードを 設定しない状態で動作させることはできませんのでご注意ください。

1. ライセンスファイルを使用する場合

発行されたライセンスファイル (LICENSE_RO)を、FormRemoteObject ランタイム導入ディレク トリ直下の [conf] ディレクトリ内ヘコピーしてください。ライセンスファイルをコピーした 後、cfroコマンドを実行してライセンス情報と環境変数が正しく設定されているか確認しま す。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 cfro コマンドを 実行してください。

\$ cfro --Create! FormRemoteObject Ver.10.00.0

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数とライセンスパスワードが正しく設定 されています。エラーメッセージが表示された場合は、環境変数、もしくはライセンスパスワー ドの設定に問題があります。設定内容を再度確認し、正しい情報を設定してください。

2. ライセンス情報を直接入力する場合

ライセンスパスワードの設定は、ライセンスファイルを使用する方法の他にライセンス情報を 直接入力して設定する方法もあります。ライセンスファイルが手元にない環境(Webサイトへ のアクセスやメールの受信が行えない)の場合は、以下の手順に従ってライセンスパスワード を設定してください。

showmid コマンドを実行します。なお、パス(PATH)の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 showmid コマンドを実行してください。
 \$ showmid

②ライセンス設定画面が表示されます。"1 : Product Menu"を選択してください。

③製品選択画面が表示されます。"5 : FormRemoteObject"を選択してください。

④ライセンス情報画面が表示されます。"1 : Input Serial and License"を選択してください。

⑤ライセンス情報入力画面が表示されます。"Serial : CF"の表示に続けて製品シリアル番号 (先頭の CF を除いた 26 桁)を入力して "Enter" キーを押してください。

⑥続いてライセンスパスワードを入力します。"License Password : "の表示に続けてライセンスパスワード(29桁)を入力して"Enter"キーを押してください。

⑦ライセンス情報画面に"License : OK"と表示されていることを確認してください。

⑧設定完了後は "q: Exit" 選択してライセンス設定画面を終了してください。

以上の操作でライセンスパスワードの設定は完了です。最後に cfro コマンドを実行して環境 変数が正しく設定されているか確認します。パス (PATH)の設定を行っていない場合は、[bin] ディレクトリ内で直接 cfro コマンドを実行してください。

\$ cfro -Create! FormRemoteObject Ver.10.00.0

製品名とバージョン情報が表示された場合は、環境変数が正しく設定されています。エラーメッ セージが表示された場合は、環境変数の設定に問題があります。設定情報を再度確認し、正し い内容を設定してください。

<u>1-15-4 アンインストール</u>

製品の導入ディレクトリを直接削除して、製品のアンインストールを行ってください。 また、環境設定ファイルに環境変数を設定している場合は、設定した環境変数を削除してくだ さい。以上の操作で製品のアンインストールは完了です。

第 16 章 共通設定

1-16-1 XML パーサの導入

本製品では XML 構文解析を行うための XML パーサに「Xerces-C++ 2.8.0」を使用しています。 Linux/UNIX 環境で XML データもしくは DB データからの帳票出力を行う場合は、 XML パーサの 設定が必要となります。

以下のサイトよりダウンロードした XML パーサの tar アーカイブファイルを Linux/UNIX シス テム上の任意のディレクトリに抽出復元コピーを行った後、環境変数(ライブラリパス)の設 定を行ってください。

XML パーサダウンロードサイト

Xerces-C++ XML Parser (http://xerces.apache.org/xerces-c/)

32bit版

xerces-c_2_8_0-x86-linux-gcc_3_4.tar.gz	Linux
xerces-c_2_8_0-powerpc-aix-xlc_7_0.tar.gz	AIX
xerces-c_2_8_0-ia64-hpux-acc_6.tar.gz	HP-UX
xerces-c_2_8_0-sparc-solaris-cc_5_7.tar.gz	Solaris

64bit版

xerces-c_2_8_0-x86_64-linux-gcc_3_4.tar.gz	Linux
xerces-c_2_8_0-powerpc_64-aix-xlc_7_0.tar.gz	AIX
xerces-c_2_8_0-ia64_64-hpux-acc_6.tar.gz	HP-UX
xerces-c_2_8_0-sparc_v9-solaris-cc_5_7.tar.gz	Solaris

以下に、Linux/UNIX 環境への XML パーサの導入手順を説明します。

ここでは、Create!Form 導入ディレクトリ直下の xerces-c サブディレクトリ (/opt/ createv10/xerces-c) に XML パーサの設定を行う手順を説明します。

- ① Xerces-C++ ライブラリの圧縮ファイルをコピーし、解凍した後に tar アーカイブを展開します。
 - \$ tar xvzf xerces-c_2_8_0-x86-linux-gcc_3_4.tar.gz

②環境変数(ライブラリパス)の設定を行います。 \$ LD_LIBRARY_PATH=\$LD_LIBRARY_PATH:/opt/createv10/xerces-c/lib \$ export LD LIBRARY PATH

③ランタイム実行コマンドを入力して導入の確認を行います。 FormCast ランタイム

\$ ccast --x

製品名とバージョン名が表示されれば XML パーサが正しく導入されています。 Create! FormCast Ver. 10. 00. 0-Adv. -UX-XML-x32

FormCollect ランタイム

\$ ccollect --x

製品名とバージョン名が表示されれば XML パーサが正しく導入されています。 Create! FormCollect Ver.10.00.0-Adv.-UX-XML-x32 FormPrint ランタイム \$ cprint --x 製品名とバージョン名が表示されれば XML パーサが正しく導入されています。 Create! FormPrint Ver. 10.00.0-Adv. -UX-XML-x32

FormPrintStage Web ランタイム

\$ cprintst --x

製品名とバージョン名が表示されれば XML パーサが正しく導入されています。 Create! FormPrintStageWeb Ver. 10. 00. 0-Adv. -UX-XML-x32

<< 注意 >>

既に XML パーサを導入済みの環境で使用する場合は、既存のアプリケーションに影響が出 る可能性がありますので、十分にご注意ください。

1-16-2 文字コードの設定

1. Windows 環境の文字コード設定

ランタイム実行時に使用するデータファイルの文字コード設定は、マネージャのツールメ ニュー[設定]-[環境]-[文字コード/外字設定]タブで行います。

図:文字コード/外字設定

環境設定	×
テ [*] ータフィルタ/テキストエデ [*] /タ 履歴/バックアッフ [*] エラー処理	ビュー設定 リストの高さ設定 文字コートジ外字設定
文字コードの設定	
◎ 自動判定(L)	
⊙ SJIS(J)	
🗇 UTF-16(U)	
○ UTF-8(E)	
外字設定	
🔲 外字自動出力	
	OK キャンセル

[文字コードの設定]

ランタイム実行時に利用する文字コードの設定を行います。

また、この設定はマネージャのデータファイルリストの[ファイル先頭 30 文字]や、 Datamap エディタで表示される文字コードとしても利用されます。

[自動判定]

文字コードを自動判定して実行します。

※ UTF-16、UTF-8 の場合は BOM 無し、シグネチャ無しでは正常に自動判定されません。 ※マルチデータソース機能を用いて同時に複数のデータソースを利用する場合には、

すべてのデータソースの文字コードを統一してください。

[SJIS]

文字コードを全て Shift_JIS として実行します。

[UTF-16]

文字コードを全て UTF-16(リトルエンディアン)として実行します。

[UTF-8]

文字コードを全て UTF-8 として実行します。

[外字設定]

[外字自動出力]

帳票内に外字を出力するかどうかの設定を行います。

2. Linux/UNIX 環境の文字コード設定

Linux/UNIX版の各ランタイム製品では、"SJIS"、"EUC"、"UTF-16(リトルエンディアン)"、 "UTF-8"の4つの、文字コードに対応しています。以下にそれぞれのプラットフォームでラン タイム製品が初期設定で処理する文字コードを示します。

Linux : EUC AIX : SJIS HP-UX : SJIS Solaris : EUC

初期設定の文字コードとは異なる文字コードのデータファイルを利用してランタイム出力を行 う場合は、以下に説明する文字コード設定用の環境変数を設定することでランタイムが処理す る文字コードを変更することができます。

文字コード設定用の環境変数

CREATE_LANG= 値(値:SJIS、EUC、UTF16、UTF16LE(BOM なし)、UTF8)

入力データの文字コードとして "UTF-16(リトルエンディアン)"、"UTF-8" を使用する場合は、 必ず CREATE_LANG 環境変数による設定を行ってください。なお、CREATE_LANG 環境変数は各プ ラットフォームの LANG 環境変数に影響することはありません。

また、XML データから帳票出力を行う際は、環境変数 CREATE_LANG を設定する必要はありません。

1-16-3 データベースを使用する場合

1. 環境変数「NLS_LANG」設定

Linux/UNIX 環境で Oracle データベース使用したランタイム実行を行った際に文字化けが発生 する場合は、環境変数「NLS_LANG」を設定してください。

文字コードを SJIS に設定する場合 NLS_LANG=JAPANESE_JAPAN. JA16SJIS

文字コードを EUC に設定する場合 NLS_LANG=JAPANESE_JAPAN. JA16EUC

2. 環境変数「LD_PRELOAD」の設定

Linux、HP-UX 環境で Oracle データベースを使用したランタイム実行を行った際にエラーが発生する場合は、環境変数「LD_PRELOAD」に Oracle クライアントライブラリを設定してください。

HP-UX またはLinux の場合 \$ export LD_PRELOAD=\$ORACLE_HOME/lib32/libclntsh.so

3. SQL ファイルに使用できる文字コード

SQL ファイルには以下の文字コードが使用可能です。 環境によって、使用できる文字コードが異なりますのでご注意ください。

Windows

• SJIS

Linux/UNIX

• SJIS

• EUC
1-16-4. ログファイルの出力設定

Create!Form 製品では、稼働時の情報をログとして出力することができます。 ログを出力しないように設定することはできますが、障害発生時の原因追跡などで有益な情報 となりますのでログを出力するように設定することをお勧めします。

1. ランタイム製品 (Windows)

ランタイム各製品(FormCast / FormCollect / FormPrint / FormPrintStage / FormPrintStageWeb)では実行ログの出力設定および、ローテーション設定をすることができます。

ここでは、ログの出力設定方法を説明します。

実行ログの出力内容ついてはオンラインマニュアル「ログ出力 1. ログの概要」を、ローテー ションの設定についてはマニュアル「ログ出力 2. ログの設定」をご覧ください。

※ログ出力先ディレクトリおよびローテーションの設定は、同じ環境に導入しているラン タイム製品で共有します。

実行ログの出力設定方法

- 1. ランタイムマネージャ /FormDesign マネージャを起動し、ツールバーの [ログ設定]をクリックします。
- 2. ログ設定ダイアログの [Windows 用設定] タブをクリックします。
- 3. 製品選択リストよりログ出力の設定を行うランタイム製品を選択します。
- 4.[ログ出力する]をチェックします(初期設定ではチェックが入っています)。
- 5.[ログファイル名]にログのファイル名を入力します。
- 6.[詳細設定]ボタンをクリックします。
- 7. ログ詳細設定ダイアログの[ログ出力先]にログの出力先を絶対パスで入力します。
- 8. [OK] ボタンをクリックしてログ詳細設定ダイアログを閉じます。
- 9. [OK] ボタンをクリックして設定を保存します。
 - ※[ログ出力先]にはランタイム製品を起動するユーザの書き込み権限が必要です。 ディレクトリのプロパティからアクセス許可の内容を確認してください。

Windows用設定 UNDX/Linux用設定
ログ設定用ファイル: C:¥CreateV10¥logsetup_w.properties
Colect Print PrintStage/Web Magicfolder ログファイル名: castexec.log
RemoteObject
これより下のログ出力設定はランタイム製品全般に適用されます。
ログ出力設定(ランタイム共通)
ログ出力先: C:¥CreateV10¥log I¥細設定
ログローテーションする: 有効
エラー発生時のみログを出力する: 無効
OK ++>>t2/1

図: ログ設定ダイアログ (FormDesign から起動した場合)

図:ログ詳細設定ダイアログ

この設定はランタイム製品全般に適用されます。
ログ出力先 ログ出力先: C:¥CreateV10¥log 「エラー発生時のみログを出力する
ログローテーション マ ログローテーションする
ローテーションしたログの出力先: C:¥CreateV10¥log ローテーションしたログファイル名: castexec_201302.log
ログファイル名の (後 🔹 に YYYYMM 🛛 🗸 を付与する
ローテーションしたログの保管世代数: ○指定する (1-50) ◎ ログを削除しない
ローテーションルール
 図 指定サイズに達したら分ける 10 MB □ 年月日が変わったら分ける 月 マ
<u>ОК</u> <i>#+у/2//</i>

※Windows向けランタイム製品導入時の初期設定ではログは出力されます。またログロー テーションも実施されます。

実行ログの出力確認方法

FormDesignマネージャよりサンプル帳票を出力することによって、実行ログが正しく出力されることを確認します。

以下の例では、帳票は「備品請求書」を、ランタイムは FormCast を使用します。

1. FormDesign マネージャを起動します。

- [ディレクトリツリー]より、[FormDesign 導入ディレクトリ]-[sample]-[01_申請・申込書]
 をクリックして作業ディレクトリを選択します。
- 3.「備品請求書」を選択して[実行]ボタンをクリックして実行ダイアログを起動します。
- 4. 実行ランタイムに FormCast を選択して、[実行] ボタンをクリックします。

5.[ログ出力先]として指定したディレクトリにログが出力されていることを確認します。

ログが出力されていない場合は、[ログ出力先]として指定したディレクトリにランタイム実行ユーザによる書き込み権限があることを確認してください。

2. ランタイム製品 (UNIX/Linux)

ランタイム各製品(FormCast / FormCollect / FormPrint / FormPrintStageWeb)では実行 ログの出力設定および、ローテーション設定をすることができます。

ここでは、ログの出力設定方法を説明します。

実行ログの出力内容ついてはオンラインマニュアル「ログ出力 1. ログの概要」を、ローテー ションの設定についてはオンラインマニュアル「ログ出力 2. ログの設定」をご覧ください。

実行ログの出力設定はログ設定ファイルにより行います。ログ設定ファイルの作成および修正 には、ログ出力設定ダイアログを使用します。ログ設定ダイアログの起動方法は、FormDesign マネージャから起動する方法とダイアログを直接起動する方法の2種類があります。 いずれにしても、作成したログ設定ファイルをランタイム製品導入端末(端末U)に転送する ことが必要です。

実行ログの出力設定方法

[Windows 端末]

- 1. 次のいずれかの方法でログ設定ダイアログを起動します。
 - 1-1. FormDesign マネージャから起動する方法
 - FormDesign マネージャを起動してツールバーの[ログ設定]をクリックします。
 - 1-2. ログ設定ダイアログを直接起動する方法 FormDesign 導入端末より、FormDesign 導入ディレクトリ直下の [logsetting.exe] をログ 出力設定ファイルの作成を行いたい端末の任意のディレクトリにコピーします。コピーし た exe を選択してダブルクリックして起動します。
- 2. ログ設定ダイアログの [UNIX/Linux 用設定] タブをクリックします。
- 3. 製品選択リストよりログ出力の設定を行うランタイム製品を選択します。
- 4.[ログ出力する]をチェックします。
- 5.[ログファイル名]に実行ログのファイル名を入力します。
- 5.[詳細設定]ボタンをクリックします。
- 6. ログ詳細設定ダイアログの[ログ出力先]にログの出力先を絶対パスで入力します。
- 7. [OK] ボタンをクリックしてログ詳細設定ダイアログを閉じます。
- 8. [OK] ボタンをクリックして設定を保存します。
- 9.8 で保存したログ設定ファイル(※)を[端末U]にアスキー形式で転送します。

※ファイル名は "logsetup_u. properties" です。

- FormDesign マネージャから起動した場合は、FormDesign 導入ディレクトリ直下にファイ ルが作成されます。例えば FormDesign 導入先が "C:¥CreateV10" の場合、ファイルの絶 対パスは "C:¥CreateV10¥logsetup_u. properties" です。
- ログ設定ダイアログを直接起動した場合は、exe ファイルと同一ディレクトリ直下にファ イルが作成されます。

[端末 U]

10.9 で転送したファイルをランタイム製品導入ディレクトリの直下(※)に配置します。

- ※ランタイム製品導入ディレクトリが "/opt/createv10" の場合、ファイルの絶対パスが "/opt/createv10/logsetup_u.properties" になるように配置して下さい。
- ※ランタイム製品ごとに導入ディレクトリが異なる場合は、導入ディレクトリごとに設定 ファイルを配置してください。

※[ログ出力先]にはランタイム製品を起動するユーザの書き込み権限が必要です。

図:ログ設定ダイアログ

Windows用設定[[UNIX/Linux用設定]]			
ログ設定用ファイル: C:¥CreateV10¥logsetup_u.properties			
Cast Collect Print			
PrintStage/Web ログファイル名: castexec.log			
これより下のログ出力設定はランタイム製品全般に適用されます。			
ログ出力設定(ランタイム共通)			
ログ出力先: /opt/createv10/log 詳細設定			
ログローテーションする: 有効			
エラー発生時のみログを出力する: 無効			
<u> の に まやンセル </u>			

図:ログ詳細設定ダイアログ

ログ詳細設定		
この設定はランタイム製品全般に適用されます。 ログ出力先		
ログ出力先: /opt/createv10/log		
■ エラー発生時のみログを出力する		
ログローテーション		
☑ ログローテーションする		
ローテーションしたログの出力先: /opt/createv10/log		
ローテーションしたログファイル名: castexec_201302.log		
ロヴファイル名の 後 🗸 に үүүүмм 🗸 を付与する		
ローテーションしたログの保管世代数: ○指定する (1-50)		
◎ ログを削り除しない		
ローテーションルール		
✓ 指定サイズに達したら分ける 10 MB		
■ 年月日が変わったら分ける 月 👻		
ОК ++>21/		

※UNIX/Linux向けランタイム製品導入時の初期設定ではログは出力されません。

3. オプション製品 (FormMagicfolder / FormRemoteObject)

FormMagicfolder のログ出力設定

FormMagicfolder では、サービス稼動ログと監視フォルダログの2種類のログの出力設定およびローテーション設定をすることができます。ここでは、ログの出力設定方法を説明します。 各ログの出力内容ついてはオンラインマニュアル「ログ出力 1. ログの概要」を、ローテーションの設定についてはオンラインマニュアル「ログ出力 2. ログの設定」をご覧ください。

※ローテーションの設定はサービス稼動ログと監視フォルダログで共通です。サービス稼 動ログの設定時に設定を行います。

サービス稼動ログの出力設定方法

- 1. FormMagicfolder 管理ツールを起動します。
- 2. メニューから [設定]-[サービスログ設定]をクリックします。
- 3. ログ設定ダイアログの製品選択リストで Magicfolder が選択されていることを確認します。
- 4.[ログ出力する]をチェックします。
- 5. [サービス稼働ログファイル名]にログファイル名を入力します。
- 6.[詳細設定]ボタンをクリックします。
- 7. ログ詳細設定ダイアログの[ログ出力先]にログの出力先を絶対パスで入力します。
- 8. [OK] ボタンをクリックしてログ詳細設定ダイアログを閉じます。
- 9. [OK] ボタンをクリックして設定を保存します。

※[ログ出力先]にはFormMagicfolderを起動するユーザの書き込み権限が必要です。

図: ログ設定ダイアログ

 ログ設定 ×
Windows用設定
ログ設定用ファイル: C:¥CreateV10¥conf¥cfmf-logsetup.properties
Cast Collect
Print PrintStage/Web
Magicfolder サービス稼働ロクファイル名: mf.log
各語視プォルタのロク出力可含やロクファイル名の設定はMagictoider設定の監視プォルタの 設定画面から行って下さい。
07出力設定
ログ出力先: C:¥CreateV10¥var¥log ログローテージョンオス: 有効
0,00,00,00,00,00,00,00,00,00,00,00,00,0
OK キャンセル

図:ログ詳細設定ダイアログ

この設定はFormMagicfolderに適用されます。
ログ出力先
ログ出力先: C:¥CreateV10¥var¥log
ログローテーション
▼ ログローテーションする
ローテーションしたログの出力先: C:¥CreateV10¥var¥log
ローテーションしたログファイル名: mf_20130215.log
ログファイル名の 後 🔹 に YYYYMMDD 🔹 を付与する
ローテーションしたログの保管世代数: ○指定する (1-50)
◎ ロクを削り除しない
□ 指定サイズに達したら分ける 10 MB
▼年月日が変わったら分ける 日 ▼
OK ++>セル

監視フォルダログの出力設定方法

- 1. FormMagicfolder 管理ツールを起動します。
- 設定ツールの監視フォルダリストからログを出力するように設定したい監視フォルダを選 択し、メニューから[監視フォルダ]-[プロパティ]をクリックします。
- 3. 監視フォルダの設定ダイアログの[ログを出力する]をチェックします。
- 4.[ログファイル]に監視フォルダログのファイル名を入力します。
- 5. [OK] ボタンをクリックして設定を保存します。

※エラーログファイル名はダイアログに表示されますが、変更することはできません。

※監視フォルダが既に作成されていることが前提となります。監視フォルダの作成方法に ついてはオンラインマニュアル「FormMagicfolder 4. 監視フォルダの登録・解除」をご 覧ください。

※ FormMagicfolder 導入時の初期設定ではログは出力されます。またログローテーション も実施されます。

<u>図:監視フォルダの設定ダイアログ</u>

監視フォルダの設定			
基本情報 ルール	レ フィルタ スケジュール エラー処理		
ID:	sample		
監視フォルダ:	\${mfhome}/sample/magicfolder/drop_here	参照	
実行モード:	FormCast ・ 設定… ファイルパターン: *		
■入力データフォ	アイルを残す		
保存先	ディレクトリ:	参照	
■ログを出力す	a		
L.	ログファイル: sample.log		
エラーに	ログファイル: sample-errorlog		
	停止		
メッセージ:			
拡張設定	ОК	キャンセル	

FormRemoteObject のログ出力設定

FormRemoteObject では、サービス稼動ログとアクセスログの2種類のログの出力設定および ローテーション設定をすることができます。ここでは、ログの出力設定方法を説明します。 各ログの出力内容ついてはオンラインマニュアル「ログ出力 1. ログの概要」を、ローテーショ ンの設定についてはオンラインマニュアル「ログ出力 2. ログの設定」をご覧ください。

※ログファイル名以外のログの出力設定およびローテーション設定は共通です。

- サービス稼動ログおよびアクセスログの出力設定方法
 - サービス稼動ログおよびアクセスログの出力設定には、FormDesign マネージャもしくはラン タイム製品のマネージャのログ設定ダイアログを使用します。 ※設定に使用するマネージャはFormRemoteObject と同じ環境にインストールされている必 要があります。
 - 1. マネージャを起動し、ツールバーの[ログ設定]をクリックします。
 - 2. ログ設定ダイアログの製品選択リストで [RemoteObject] を選択します。
 - 3.[ログ出力する]をチェックします。
 - 4. [サービス稼働ログファイル名]と[アクセスログファイル名]にログのファイル名を入力 します。
 - 5. [詳細設定]ボタンをクリックします。
 - 6. ログ詳細設定ダイアログの[ログ出力先]にログの出力先を絶対パスで入力します。
 - 7. [OK] ボタンをクリックしてログ詳細設定ダイアログを閉じます。
 - 8. [OK] ボタンをクリックして設定を保存します。

※[ログ出力先]にはFormRemoteObjectを起動するユーザの書き込み権限が必要です。 ※FormRemoteObject導入時の初期設定ではログは出力されます。またログローテーション も実施されます。

図:ログ設定ダイアログ

	-
Windows用設定	1
ログ設定用ファイル: C:¥CreateV10¥conf¥cfro-logsetup.properties	
Cast Collect Detet Detet Collect Co	
PrintStage/Web Magicfolder サービス稼働ログファイル名: remoteobject.log	
RemoteObject アクセスログファイル名: remoteobject-access.log	
ログ出力設定	
Dグ出力先: C:¥CreateV10¥var¥log [詳細設定]	
ログローテーションする: 有効	
OK キャンセル	
]

<u>図:ログ詳細設定ダイアログ</u>

この設定はFormRemoteObject(ご適用されます。		
ログ出力先		
ログ出力先: C:¥CreateV10¥var¥log		
ログローテーション		
☑ ログローテーションする		
ローテーションしたログの出力先: C:¥CreateV10¥var¥log		
ローテーションしたログファイル名: remoteobject_20130215.log		
ロヴファイル名の 後 🔹 に YYYYMMDD 🔹 を付与する		
ローテーションしたログの保管世代数: 🔘 指定する (1-50)		
◎ ログを削除しない		
ローテーションルール		
指定サイズに達したら分ける 10 MB		
☑ 年月日が変わったら分ける 日 ▼		
<u>ок</u> +++),211		

1-16-5 警告・エラー処理について

Create!Form 製品のランタイム処理の実行結果には、以下の3つのケースが存在します。

- 1. 正常終了
- 2. エラー発生
- 3. 警告発生

ここでは各ケースにおけるランタイム処理について記述します。

1. 正常終了

ランタイムの処理が問題なく正常に終了した場合、印刷やPDFファイルの生成が正しく行われます。実行ログを出力している場合は、正常終了を示すログ「Information:XX-00-01-0102」が出力されます。(XX:各ランタイムを示す記号)

2. エラー発生

ランタイム処理において、印刷や PDF ファイルが生成できない致命的なエラーが発生した場合、 2000 番台のエラー番号とメッセージが出力されます。(※1) 実行ログを出力している場合は、エラー発生を示すログが以下の形式で出力されます。

例)	「Error:CS-00-00-2104」	実行にはパスワードが必要です。
	「Error:CS-00-00-2205」	スタイルファイルが開けません。

このようなエラーが発生した場合は、ランタイム処理はその時点で中断され、印刷や PDF ファ イルの生成は行われません。

(※1) エラー番号、メッセージについては、「第2部 エラーコード」をご覧ください。

3. 警告発生

ランタイムの処理は継続して行われますが、設定やデータなどになんらかの問題が発生してい る場合には、警告として、1000番台のエラー番号とメッセージが出力されます。(※2) 実行ログを出力している場合は、警告発生を示すログが以下の形式で出力されます。

 例)「Warning:CS-00-00-1232」
 イメージ変数に指定された画像ファイルが開けません。
 「Warning:CS-00-00-1609」
 Create!FormCast ではフィールドオブジェクトの出力を サポートしていません。

警告が発生した場合は、ランタイム処理が継続され、後にエラーが発生しない場合は、印刷や PDF ファイルの作成が行われます。

(※2) エラー番号、メッセージについては、「第2部 エラーコード」をご覧ください。

警告発生時にランタイム処理を中断する

下記の設定によって、警告が発生した場合に、エラー発生時と同様にその時点でランタイム処理を中断することができます。この場合は、印刷や PDF ファイルの生成も行われません。

Windows 版での設定

マネージャ上のツールメニューの[設定]-[環境]-[エラー処理]タブにて設定を行います。

図:エラー処理設定



[警告発生時に処理を中断する] ランタイム処理を中断する場合に設定します。 (初期設定では、設定されていません。)

Linux/UNIX 版での設定

Linux/UNIX 環境での設定は、環境変数「CREATE_ERRORLEVEL」で行います。

警告発生時に処理を中断する場合は、「CREATE_ERRORLEVEL」に「1」を設定してください。

例) B シェル / Bash の場合 export CREATE_ERRORLEVEL=1

> C シェルの場合 setenv CREATE_ERRORLEVEL 1

環境変数「CREATE_ERRORLEVEL」を設定しない場合や、「1」以外の値を設定した場合は、警告 発生時でもランタイム処理は中断されません。

1-16-6 印刷環境の設定

出力先の確認

印刷を行うにあたり、出力先を指定していない場合は、製品導入時の ″ 通常使用するプリンタ ″ が初期設定として使用されます。印刷においては、Windows 環境で定義されている複数のプ リンタを出力先に指定して印刷することができます。印刷時に初期設定以外の複数の出力先を 指定するには、あらかじめその出力先を [プリンタの設定] で定義しておく必要があります。 ここでは、出力先指定の確認と、印刷環境が整っていることを確認するためにテスト印刷を行 います。

プリンタの設定確認

プリンタの設定は Design マネージャのプリンタ設定から行います。

Windowsの[スタート]をクリックして、[すべてのプログラム]-[Create! Form V10]-[FormDesign]をクリックします。

ツールメニューまたはツールボタンにある[プリンタ]をクリックします。

図: プリンタ設定ダイアログ

Cre	eate!Forn	nプリン設定
	Create!Fo	rmで使用するフツンタ:
	PRT	792%
	default	Microsoft XPS Document Writer
	PRT1	設定なし
	PRT2	設定なし
	PRT3	設定なし
	PRT4	設定なし
	PRT5	設定なし
	PRT6	設定なし
	PRT7	
	~7")ンタのジ	割り当て
	PRT:	7
	default	Microsoft XPS Document Writer 👻
		終了

[default] にWindows 環境で通常使用するプリンタが設定されていることを確認してください。 本製品を使用した印刷で出力先の指定を行わない場合、この [default] に設定されたプリンタ が出力先となります。

<< 注意 >>

FormPrint ランタイムからの印刷で使用できるプリンタは PostScript プリンタのみです。 [default] に指定されているプリンタが [PostScript] プリンタではない場合、設定の変更 を行う必要があります。

プリンタの設定変更

[Create!Formで使用するプリンタ]にある [default] をクリックして選択します。 出力先として設定したいプリンタを [プリンタの割り当て]の [プリンタ]から選択し、[更新] ボタンをクリックします。

テスト印刷

印刷環境が整っているかどうかを確認するためには、[プリンタの設定]ダイアログから[テ スト印刷]を実行します。[テスト印刷]ボタンをクリックすると、[Create!Form で使用する プリンタ]で選択されている出力先へテスト印刷を行います。正常に印刷が行われると、左下 隅に製品ロゴ文字が印刷されます。指定したプリンタに製品ロゴ文字が正しく印刷されていれ ば、印刷環境が正しく設定されています。

1-16-7 元号対応

元号設定ファイル「era_jp.dat」ファイルの追加

データ編集設定や入力フォームオブジェクトのフォーマット機能を用いて和暦の「平成」より 後の元号を表示する場合、元号設定ファイル「era_jp.dat」ファイルをテキストエディタなど で作成、または修正する必要があります。

「era_jp.dat」ファイルフォーマット

「era_jp.dat」ファイルは1行1レコードのテキストファイルです。1つのレコードはカンマ 区切りで4つのセクションで構成され、最大100レコードの元号を設定できます。

レコード:開始日,元号(漢字),	元号(漢字1文字),元号(英大文字1文字)
開始日	「yyyy/mm/dd」形式で記述します。(「1989/01/09」以降
	のデータを記述します)
元号(漢字)	漢字の元号を記載します。最大5文字設定することがで
	きます。
元号(漢字1文字)	漢字の元号を全角1字で記述します。
元号(英大文字1文字)	英字の元号を半角1字で記述します。

※「#」を行の先頭に記述することで、その行はコメントとして扱われます。
 ※ era_jp. dat ファイルの記述に不備がある場合、データ編集登録時またはランタイム実行時にエラーとなります。
 ※ era_jp. dat ファイルは文字コード「SJIS」、改行コード「CRLF」で記述してください。

例) 2019年5月1日を開始日として元号「久里」を設定する場合

#元号を設定します。 2019/05/01,久里,久,C

「era_jp.dat」ファイルは以下のディレクトリに配置してください。

[Windows 環境]

インストールディレクトリ インストールディレクトリはマネージャの[ヘルプ]-[バージョン情報]-[バージョ ン情報詳細]で確認できます。

[Linux/UNIX 環境]

ランタイム製品導入ディレクトリ

ランタイムの製品導入ディレクトリが "/opt/createv10" の場合、ファイルの絶対パスが "/opt/createv10/era_jp. dat" になるように配置してください。

※ランタイム製品ごとに導入ディレクトリが異なる場合は、導入ディレクトリごとに設定 ファイルを配置してください。

※データ編集の和暦設定方法、設定例の詳細に関しては、マネージャのメニュー[ヘルプ]-[オ ンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.4 集計値の表示とデータ編集」-「デー タ編集」-「2. 設定方法」をご覧ください。

第2部 エラーコード

第1章 Windows

2-1-1 エラーコードについて

Create!Form 製品のランタイム処理において警告やエラーが発生した場合、または操作が 正しくない場合には、その内容毎にエラーコード(メッセージ番号)とメッセージが表示 されます。ここではWindows 環境での各ランタイム (FormCast、FormCollect、FormPrint、 FormPrintStage) 実行時のメッセージについて記述します。

警告やエラーが発生した場合のランタイムの動作については、「1-16-5 警告・エラー処理について」をご覧ください。

出力形式

ダイアログ

メッセージ番号に続いて内容と対処法が表示されます。メッセージ番号はメッセージレベル、 カテゴリ等からなる一意の番号です。

ダイアログは次のような形式で表示されます。

図:ダイアログ



ログファイル

エラーメッセージは、ログファイルに次のような内容で出力されます。

2013/10/10,10:00:00,Error:CE-00-02-2201,-Dsample -ssheet.sty -osheet.pdf sheet_p.txt エラー発生年月日,時刻,メッセージレベル:メッセージ番号,実行オプション文字列

・メッセージ番号の最初のアルファベット2文字はランタイム名を示します。FormCastの場合は「CE/CS」、FormCollectの場合は「FE/FS」、FormPrintの場合は「PE/PR」、FormPrintStageの場合は「SE/SS」が出力されます。

・メッセージはメッセージレベルとカテゴリを省略して、メッセージ番号と内容を記述してあります。各レベル別に番号順で記述します。

ログファイルの出力方法については、「1-16-4 ログファイルの出力設定」をご覧ください。

<u>2-1-2 エラーコード一覧</u>

- Warning レベル XX-1011 PPD ファイル中の形式が不正です。[fname] 対処: PPD ファイル fname をコピーしなおしてください。
 - XX-1012 PPD ファイルの出力中にエラーが発生しました。(num)[fname] 対処:ディスク容量が十分かどうか確認してください。
 - XX-1101 QDF ファイル中に不正な記述がありました。[string]
 - 対処:不正となった文字列 string をもとに、キーワードの確認、キーワードの次の'=' 文字等の書式を確認してください。(処理は継続されますが、印刷内容においては保 証されません。)
 - XX-1102 QDF ファイル中のキーワードは文字'/' で始まらなければなりません。 対処:QDF ファイルの各行の先頭文字等をチェックしてください。(処理は継続されますが、 印刷内容においては保証されません。)
 - XX-1103 QDF ファイル中の /password キーワードの後に文字'=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には'=' 文字を伴って記述しなければなりません。 ("/PASSWORD=0000" で処理は継続されます。)
 - XX-1104 QDF ファイル中の /password キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/password"の後に指定された値を正しい値に修正してください。 ("/PASSWORD=0000" で処理は継続されます。)
 - XX-1105 QDF ファイル中の /dictlibrary キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
 - XX-1106 QDF ファイル中の /dictlibrary キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/dictlibrary" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
 - XX-1107 QDF ファイル中の / forml ibrary キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
 - XX-1108 QDF ファイル中の / formlibrary キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ formlibrary" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
 - XX-1109 QDF ファイル中の / font l ib キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
 - XX-1110 QDF ファイル中の / fontlibrary キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ fontlibrary" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
 - XX-1111 QDF ファイル中の /parameter キーワード行が不正です。 対処:キーワード "parameter" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

- XX-1112 QDF ファイル中の /workarea キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1113 QDF ファイル中の /workarea キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/workarea" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1114 QDF ファイル中の / leftbracket キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1115 QDF ファイル中の / leftbracket キーワードの値が不正な 16 進数です。 対処:キーワード "/ leftbracket" の後に指定された値を正しい 16 進値に修正してください。
- XX-1116 QDF ファイル中の /rightbracket キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1117 QDF ファイル中の /rightbracket キーワードの値が不正な 16 進数です。 対処:キーワード "/rightbracket" の後に指定された値を正しい 16 進値に修正してください。
- XX-1118 QDF ファイル中の /eofchar キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1119 QDF ファイル中の /eofchar キーワードの値が不正な 16 進数です。 対処:キーワード "/eofchar"の後に指定された値を正しい 16 進値に修正してください。
- XX-1120 QDF ファイル中の /adjustbasepoint キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1121 QDF ファイル中の /adjustbasepoint キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "adjustbasepoint" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1122 QDF ファイル中の /epsvarprocess キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/epsvarprocess" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1123 QDF ファイル中の /lineenddoublechar キーワードの値が不正です。 対処:キーワード /lineenddoublechar の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1124 QDF ファイル中のこのキーワードは、このバージョンでは使用しません。[string] 無視されます。

対処:無視されますが、キーワード string を削除しておくことをおすすめします。

- XX-1125 QDF ファイル中の [keyword] キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1126 QDF ファイル中の [keyword] キーワードの値が不正です。 対処: 値を正しい値に修正してください。

XX-1131 イメージ変数 [vname] に指定されたファイルは処理対象外です。[fname] 説明:イメージ変数によって指定された fname ファイルは処理対象外の画像フォーマット です。

対処:ファイルの種別等を確認してください。

- XX-1132 イメージ変数 [vname] に指定されたファイルを処理できません。[fname]
 説明:イメージ変数によって指定された fname 画像ファイルを処理できません。
 対処:ファイルの種別を確認してください。
- XX-1141 バーコード変数に割り当てられたデータ中に不正な文字が含まれています。
- 説明:バーコード変数によって指定されたデータ文字列中に2バイト文字または1バイト カナ文字が含まれています。処理は続行されます。
- 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。
- XX-1145 2次元コード変数 [vname] に割り当てられたデータ中に不正な文字が含まれていま す。
 - 説明:2次元コード変数によって指定されたデータ文字列中に、2次元コード変数のモード に対応していない文字が含まれています。
 - 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。
- XX-1146 2次元コード変数 [vname] に割り当てられたデータが容量をオーバーしています。 説明:2次元コード変数によって指定されたデータ文字列が最大文字数をオーバーしています。
 - 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。
- XX-1148 2次元コート 変数 [%s] の定義領域が狭すぎます。(型番1で出力します)
 - 説明:2次元コード変数の定義された領域が狭すぎる場合、型番1(定義されたセルピッチ、 クワイエットゾーン、単位によって QR コードの最小サイズ)で出力されます。
 - 対処:2次元コード変数の定義領域、定義されたセルピッチ、クワイエットゾーン、または単 位を調整してください。
- XX-1151 QDF ファイル中の /ppd キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1152 QDF ファイル中の /ppd キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1153 QDF ファイル中の /ppd_pagesize キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1154 QDF ファイル中の /ppd_pagesize キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd_pagesize" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1155 QDF ファイル中の /ppd_inputs lot キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1156 QDF ファイル中の /ppd_inputs lot キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd_inputs lot" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

- XX-1157 QDF ファイル中の /ppd_duplex キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1158 QDF ファイル中の /ppd_duplex キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd_duplex" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1159 QDF ファイル中の /ppd_outputb in キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1160 QDF ファイル中の /ppd_outputbin キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd outputbin" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1161 QDF ファイル中の /ppd_resolution キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1162 QDF ファイル中の /ppd_resolution キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd_resolution" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1163 QDF ファイル中の /setupoption キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1164 QDF ファイル中の /setupoption キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/setupoption"の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1165 QDF ファイル中の /ppd_trayswitch キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1166 QDF ファイル中の /ppd_trayswitch キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd_trayswitch" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1167 QDF ファイル中の /ppd_sorter キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1168 QDF ファイル中の /ppd_sorter キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "ppd_sorter"の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1169 QDF ファイル中の /ppd_jog キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1170 QDF ファイル中の /ppd_jog キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "ppd_jog" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1171 使用する PPD ファイルが指定されていません。 対処:QDF ファイル中で PPD ファイルの指定をしているか確認してください。(default.ppd が使用されます。)
- XX-1172 QDF ファイル中の /ppd_collate キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。

- XX-1173 QDF ファイル中の /ppd_collate キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ppd_collate" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1174 QDF ファイル中の /pdfgaiji キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1175 QDF ファイル中の /pdfgaiji キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/pdfgaiji" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1176 QDF ファイル中の /sec キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1177 QDF ファイル中の /sec キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/sec" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1181 グラフ変数 [vname] にマッピングされたデータが正しくありません。 対処: グラフ変数の設定(ラベル、凡例等)とマッピングされたデータを確認してください。 (処理は継続されますが、グラフは描画されません。)
- XX-1182 グラフ変数 [vname] への出力でエラーが発生しました。 対処:グラフ変数の設定、マッピングされたデータ等を確認してください。(処理は継続されますが、グラフは描画されません。)
- XX-1183 グラフ変数 [vname] にマッピングされたデータに15桁を超える値が設定されました。 対処:グラフ変数では、15桁以下の数値データを利用してください。(処理は継続されます が、グラフは描画されません。)
- XX-1191 スタイルファイルに Form ユニットが登録されていません。 対処:フォーム変数を使用する際は Job ファイルにフォームユニットを登録してください。
- XX-1195 テキストファイルにデータがありません。 対処:テキストファイルの内容を確認してください。
- XX-1196 CSV の1項目に割り当てられたデータが制限値を超えています。制限値を超えたデー タは処理されません。
 - 対処:テキストファイルの内容を確認してください。
- XX-1197 セット出力が設定されているためユニット切り替え設定が無効になります。 対処: Datamap ファイルに設定されているユニット切り替え設定を解除してください。
- XX-1201 エラーログファイルが開けません。
 - 対処:実行時のエラーを記述するエラーログファイルが作成できませんでした。製品導入 ディレクトリのパーミッション、ディスク容量が十分かどうか確認してください。(処 理は続行されます。)

- XX-1211 QDF ファイルが開けません。[fname]
 - 対処:導入ディレクトリで-qオプションで指定した QDF ファイルの存在を確認してくださ い。無い場合には QDF エディタを使用して作成してください。(規定値で処理は継続 されますが、印刷内容は保証されません。) QDF ファイルは存在している場合には、ファ イルのパーミッション等を確認してください。
- XX-1212 メイン辞書ファイルが開けません。[fname]
 - 対処:導入ディレクトリ下 "dict" ディレクトリで QDF ファイルに指定されたメイン辞書 ファイル ("/maindictionary" キーワード)の存在を確認してください。(指定ファ イルなしで処理は継続されますが、印刷内容においては保証されません。)
- XX-1213 辞書ファイルが開けません。[fname]
 - 対処:導入ディレクトリ下 "dict" ディレクトリで QDF ファイルに指定されたサブ辞書ファ イル("/dictionary" キーワード)の存在を確認してください。(指定ファイルなし で処理は継続されますが、印刷内容においては保証されません。)
- XX-1214 フォントファイルが開けません。[fname]
 - 対処:導入ディレクトリ下 "font" ディレクトリで QDF ファイルに指定されたフォントファ イル("/font" キーワード)の存在を確認してください。(指定ファイルなしで処理 は継続されますが、印刷内容においては保証されません。)
- XX-1215 プリンタモード設定ファイルが開けません。[fname]
- 対処:導入ディレクトリ下 "pmode" ディレクトリで QDF ファイルに指定されたプリンタモー ド設定ファイル("/printermode" キーワード)の存在を確認してください。(指定ファ イルなしで処理は継続されますが、印刷内容においては保証されません。)
- XX-1216 フォームファイルが開けません。[fname] 対処: Form ファイル fname の名前、存在、またはパーミッションを確認してください。
- XX-1217 PPD ファイルが開けません。[fname]
 - 対処:導入ディレクトリ下 "ppd" ディレクトリで QDF ファイルに指定された PPD ファイル ("/ppd" キーワード)の存在を確認してください。
- XX-1218 PSC ファイルが開けません。[fname] 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-1221 テキストファイルが削除できません。[fname] 対処:ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してください。
- XX-1231 画像ファイルが開けません。
- 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-1232 イメージ変数 [vname] に指定された画像ファイルが開けません。[fname] 説明:イメージ変数によって指定された fname 画像ファイルが開けません。処理は続行されます。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。

XX-1233 出力ファイルが開けません。[fname]対処:出力先ディレクトリのパーミッション、ディスク残量等を確認してください。

- XX-1234 イメージオブジェクトに指定された画像ファイルが開けません。[fname] 説明:イメージオブジェクトに指定された fname 画像ファイルが開けません。処理は続行 されます。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-1235 イメージオブジェクトに指定されたファイルは処理対象外です。[fname] 説明:イメージオブジェクトによって指定された fname ファイルは処理対象外の画像 フォーマットです。
 - 対処:ファイルの種別等を確認してください。
- XX-1236 イメージオブジェクト [vname] に指定されたファイルを処理できません。[fname]
 説明:イメージオブジェクトによって指定された fname 画像ファイルを処理できません。
 対処:ファイルの種別を確認してください。
- XX-1241 流し込み処理が正常に終了しませんでした。[fname] 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。
- XX-1251 PDF ファイルを開けません。[fname]
 - 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF ファイルを開くことができません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-1252 PDF ファイルではありません。[fname]
 - 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname ファ イルは PDF ファイルではありません。
- XX-1254 PDF ファイルが暗号化されています。[fname] 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF ファイルは暗号化されているため、取り込まれません。
 - 対処: PDF ファイルの暗号化を解除してください。
- XX-1255 PDF ファイルに指定のページが存在しません。[fname][npage] 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF ファイルには npage ページ目が存在しません。
- XX-1256 PDF ファイルを解析できません。[fname]
 - 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF ファイルの解析中に予期せぬエラーが発生しました。
- XX-1257 Create! FormPrint/FormPrintStage では PDF オブジェクトの出力をサポートしてい ません。
 - 説明:固定 PDF オブジェクト /PDF 変数オブジェクトは FormCast および FormCollect ラン タイムでのみ使用可能です。

- XX-1258 PDF ファイルに対応外の機能が使用されています。
 - 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された PDF ファイ ルは、対応外の機能が使用されているため、取り込まれません。
- XX-1275 QDF ファイル中の / for cedpi_jpeg キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1276 QDF ファイル中の /forcedpi_jpeg キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/forcedpi_jpeg" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1277 QDF ファイル中の /defaultdpi_jpeg キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- XX-1278 QDF ファイル中の /defaultdpi_jpeg キーワードの値が不正です。 対処: キーワード "/defaultdpi_jpeg" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1281 SEC ファイルが開けません。[fname] 対処:導入ディレクトリ下 "sec" ディレクトリで QDF ファイルに指定された SEC ファイル ("/sec" キーワード)の存在を確認してください。
- XX-1283 権限がないため実行ログファイルに書き込みができません。 対処:指定されているログファイルもしくはログ出力フォルダに書き込み権限があること を確認してください。
- XX-1284 他のプログラムで使用されているため実行ログファイルに書き込みができません。 対処:他のプログラムでログファイルが使用されていないかを確認してください。
- XX-1301 メモリが足りません。 対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。
- XX-1401 QDF ファイル中の /ttfname キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ttfname"の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1402 QDF ファイル中の /ttfname_g キーワードの値が不正です。 対処:キーワード "/ttfname_g" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- XX-1600 値が設定された最大値を超えています。
- 説明:フィールドオブジェクトに設定された最大値を超えた値が割り当てられました。 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。 また、この警告は計算結果に対しても発生する可能性があります。
- XX-1601 値が設定された最小値を下回っています。
 - 説明:フィールドオブジェクトに設定された最小値を下回った値が割り当てられました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。 また、この警告は計算結果に対しても発生する可能性があります。
- XX-1602 値が数値ではありません。
 - 説明:数値フォーマットが設定されたフィールドオブジェクトに数値でない値が割り当て られました。

対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。

- XX-1603 値が適切な日付の形式ではありません。
 - 説明:設定された日付フォーマット種別に適していない値がフィールドオブジェクトに割 り当てられました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。
- XX-1604 同名の異なる種別のフィールドオブジェクトが既に定義されています。
 説明:同じオブジェクト名を持つ異なる種類のフィールドオブジェクトが定義されています。
 - 対処: Form ファイル に定義されているフィールドオブジェクト名と種別を確認してください。
- XX-1605 値が設定された最大文字数を超えています。 説明:フィールドオブジェクトに設定された最大文字数を超えた値が割り当てられました。 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。
- XX-1606 数値が有効桁数 15 桁を超えています。
 - 説明: Create! Form で扱うことのできる数値の有効桁数 15 桁を超えた値がフィールドオブ ジェクトに割り当てられました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。 また、この警告は計算結果に対しても発生する可能性があります。
- XX-1607 フォーマット対象の値に改行が含まれています。
 - 説明:フォーマット設定がされているフィールドオブジェクトに改行を含む値が割り当て られました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。
- XX-1608 フォーマット処理に失敗しました。
 - 説明:フォーマット処理が失敗しました。この警告の多くはフィールドオブジェクトに割 り当てられたデータが不適切なため発生します。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値とフォーマット設定を確 認してください。
- XX-1609 Create! FormCast ではフィールドオブジェクトの出力をサポートしていません。 対処:フィールドオブジェクトを含む PDF ファイルの出力は Create! FormCollect を導入 する必要があります。
- XX-1610 フォーム用の拡張アクション定義ファイル (caf) の読み込みに失敗しました。 [code][dirname][fname]
 - 説明:フォーム用の拡張アクション定義ファイル (caf) の読み込みに失敗しました。
 - 対処: [fname] で示されるフォーム用の拡張アクション定義ファイルの存在を確認してくだ さい。
- XX-1611 Frm2CAF.dllをロードすることができません。Frm2CAF.dllが存在しないか、破損し ている可能性があります。
 - 説明:フォーム用の拡張アクション定義ファイル (caf)を処理するための Frm2CAF. dll が 見つからないか、破損している可能性があります。

- 対処: Create! Form 導入ディレクトリに Frm2CAF. dll が存在しているかどうか確認してく ださい。
- XX-1612 JavaScript 関数 [function] は既に他のフォームで定義されています。出力された PDF ファイル上で JavaScript 関数 [function] が正しく動作しない恐れがあります。
 - 対処:出力に際して複数のフォームを使用する場合、各フォームに登録されている JavaScript 関数の定義を一意にしてください。
- XX-1613 Get メソッドは現在サポートされていません。この設定は Post メソッドに置き換え られます。[field]
 - 説明:Get メソッドを用いた HTTP 送信形式は現バージョンではサポートされていません。 この設定は Post メソッドに置き換えられます。フォームを再保存するとこの警告は 発生しません。
- XX-1721 フォント埋め込み対象外のファイルです。[font]
 - 説明: PDF フォント埋め込みに使用できるフォントは TrueType フォントと TrueType ベース の OpenType フォントのみです。出力された PDF では代替フォント (MS 明朝) が使用 され、フォントは埋め込まれていません。
- XX-1722 フォントファイルを開けません。[font]
 - 説明: PDF フォント埋め込みに指定されたフォントファイルが開けません。出力された PDF では代替フォント(MS 明朝)が使用され、フォントは埋め込まれていません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-1723 n 個の文字コードに対してフォントを埋め込めませんでした。[font][code] 説明:指定されたフォントに対応しない文字コードが含まれています。
- XX-1724 フォント埋め込みに不適切なコレクションインデックスが指定されました。[font]
 - 説明: TrueType コレクション(TTC) ファイルに対して指定されたインデックスが正しくあ りません。出力された PDF では代替フォント(MS 明朝)が使用され、フォントは埋 め込まれていません。
- XX-1871 計算処理において0値による除算が発生しました。
 - 説明:表オブジェクトの計算機能の処理中に0値による除算が発生しています。帳票上に は「NaN」と表示されます。
- XX-1872 集計処理において 15 桁を超える数値が発生しました。
 - 説明:表オブジェクトの集計機能の処理中にデータが有効桁数の15桁を超えました。帳票 上には空欄が表示されます。
- XX-1873 計算処理において 15 桁を超える数値が発生しました。
 - 説明:表オブジェクトの計算機能の処理中にデータが有効桁数の15桁を超えました。帳票 上には空欄が表示されます。
- XX-1874 表オブジェクトにマッピングされたデータが0件です。
 - 説明:表オブジェクトに対して割り当てられた入力データが0件です。この警告は、フォー ム定義で警告を表示する設定を行っている場合のみ発生します。

- XX-1875 自動連番変数に出力する値が 1~99,999,999 の範囲を超えました。
 - 説明:表オブジェクトで自動連番に設定されたセルの値が1~99,999,999の範囲を超えま した。以降はそのセルは空欄となります。
- Error レベル
 - XX-2001 正しくインストールされていません。 対処:一度、アンインストールした後、再度インストールしなおしてください。
 - XX-2006 ライブラリが見つかりませんでした。
 - 対処: CCast.dll(or CCollect.dll or CPrint.dll or CPrintST.dll)がWindows システム ディレクトリに正しくインストールされていることを確認してください。
 - XX-2009 作業ファイルの作成に失敗しました。 対処:作業ファイル作成ディレクトリの書き込み権限を確認してください。
 - XX-2011 CSV ファイルの変換でエラーが発生しました。 対処: CSV ファイルのデータ内容を確認してください。
 - XX-2012 入力ファイルの読み込みでエラーが発生しました。 対処:入力ファイルのデータ内容を確認してください。
 - XX-2021 データマップファイルのバージョンが異常です。[fname]
 対処: Datamap エディタで Datamap ファイル fname の内容を確認し、保存しなおしてください。(実行は中断されます。)
 - XX-2022 スタイルファイルのバージョンが異常です。[fname] 対処:Design マネージャで Job ファイル fname の内容を確認し、保存しなおしてください。
 - XX-2023 フォームファイルのレコードが異常です。[fname] 対処: Design マネージャからフォーム変換を実行し、fname を保存しなおしてください。
 - XX-2024 スタイルファイルのレコードが異常です。[fname] 対処: Design マネージャで Job ファイル fname の内容を確認するか、または再作成してく ださい。
 - XX-2025 データマップファイルのモードが違います。[fname]
 - 対処: i オプション、または Job ファイルで CSV 形式が指定されていますが、Datamap ファ イル fname のモードが CSV ではありません。Design マネージャで Job ファイルが 正しい Datamap ファイルを指定しているか、または Datamap エディタで Datamap ファ イル fname のモードが正しいか確認してください。
 - XX-2026 スタイルファイル中にデータマップファイルが指定されていません。[fname]
 - 対処: i オプション、または Job ファイルで CSV 形式が指定されていますが、Job ファイル fname 中に Datamap ファイルの記述がありません。Design マネージャで Job ファイ ル fname の内容を確認してください。(実行は中断されます。)
 - XX-2031 フォームの数が最大数を超えました。 対処:ジョブを分割する等、1ジョブあたりのフォーム数を減らしてください。

- XX-2061 フォーム変数に不正なフォーム名が指定されました。[string] 対処:データ中に記述したフォーム名を確認してください。
- XX-2071 フォント情報ファイルが違います。[fname]
- XX-2072 フォント情報ファイルのバージョンが違います。[fname]
- XX-2073 フォント情報ファイルが大きすぎます。[fname] 説明:フォント情報ファイル fname が異常です。 対処:ファイルをコピーしなおしてください。
- XX-2074 圧縮に失敗しました。 対処:帳票資源ファイルの内容を再度確認してください。
- XX-2081 実行引数にマスタパスワード [-Xm*] が設定されていません。 説明:出力ファイルに PDF セキュリティを設定するには、マスタパスワードの指定が必要 です。
 - 対処:実行引数でマスタパスワードを指定してください。
- XX-2082 QDF ファイルで設定した SEC ファイルにマスタパスワード [master_pwd=*] が設定さ れていません。
 - 説明:出力ファイルに PDF セキュリティを設定するには、マスタパスワードの指定が必要 です。
 - 対処:セキュリティエディタでマスタパスワードを指定してください。
- XX-2083 指定されたページは正しくありません。 対処:開始ページまたは終了ページが正しく指定されているか確認してください。
- XX-2101 設定されたパスワードが正しくありません。パスワードを確認してください。 対処:取得したパスワードを正しく入力しているか確認してください。
- XX-2102 設定されたパスワードの有効期限が切れています。 対処:パスワードを再取得してください。
- XX-2103 導入時のセキュリティが破壊されています。再インストールを行ってください。対処:一度、アンインストールした後、再度インストールしなおしてください。
- XX-2104 実行にはパスワードが必要です。 対処:パスワードを取得してください。
- XX-2111 実行引数が長すぎます。 対処:ディレクトリ名を短くする等、実行引数が短くなるように修正してください。
- XX-2112 指定できるオプションの最大個数を超えました。 対処:指定するオプションの数を減らしてください。
- XX-2113 実行引数の誤りでテキストファイルが不明です。 対処:実行引数の最後にテキストファイル名を指定してください。

- XX-2114 num 番目に指定したオプション [argument] で指定したオプション文字に続く値が記 述されていません。
- XX-2115 num 番目に指定したオプション [argument] で指定した値が正しくありませんでした。
- XX-2116 num 番目に指定したオプション引数 [argument] はサポートされていません。
- XX-2117 num 番目に指定したオプションは文字'-' で始まらなければなりません。
- XX-2118 num 番目のオプションがありません。
 - 対処:指定したオプションを確認して正しく指定してください。(実行は中断されます。)
- XX-2119 出力ファイル名が指定されていません。

対処:-oオプションで出力ファイル名を指定してください。

- XX-2120 実行が適切ではありません。処理形式、実行オプションを確認してください。 説明:正しく出力処理ができませんでした。
 - 対処: Job ファイルの処理形式、実行時のオプションの内容を確認してください。 XML データマップ形式を実行する際には、実行コマンドラインに "-ix" オプションを 付加する必要があります。
- XX-2121 文字コード変換処理でエラーが発生しました。
 説明:XMLデータの文字コードを変換する際にエラーが発生しました。
 対処:入力ファイルの内容を確認してください。
- XX-2122 データマップファイルが開けません。[fname] 対処: Datamap ファイル fname の内容と保存ディレクトリを確認してください。
- XX-2123 XML パーサの初期化に失敗しました。
 対処: XML パーサモジュールが正しくパスの通ったディレクトリに導入されているかどうか
 確認してください。
- XX-2124 処理中にエラーが発生しました。
 説明:XMLデータマップ形式の処理中に不明なエラーが発生しました。
 対処:Create! Form サポートまでお問い合わせください。
- XX-2125 データマップファイルの読み込み中にエラーが発生しました。[fname]
 説明: Datamap ファイル fname を読み込むことができませんでした。
 対処: Datamap ファイル fname の内容を確認してください。
- XX-2126 XML ファイルの解析中にエラーが発生しました。[fname]
 説明:入力ファイル fname を読み込むことができませんでした。
 対処:入力 XML ファイル fname の内容を確認してください。
- XX-2127 データマップファイルのバージョンが異常です。[fname] 対処: Datamap エディタでデータマップファイル fname の内容を確認し、保存しなおして ください。
- XX-2131 テキストファイルにデータがありません。[fname] 対処:テキストファイル fname の内容を確認してください。

- XX-2132 era_jp.dat ファイルのフォーマットが正しくありません。
- XX-2133 era_jp.dat ファイルで 1989 年 1 月 9 日より前の日付が設定されています。
- XX-2134 era_jp.dat ファイルで設定された元号の数が最大値を超えました。
- 対処 : era_jp.dat ファイルの内容を確認してください。
- XX-2135 era_jp.dat ファイルが開けません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-2136 era_jp.dat ファイルで設定された元号または開始日のデータが重複しています。 対処: era jp.dat ファイルの内容を確認してください。
- XX-2201 テキストファイルが開けません。[fname]

対処:テキストファイル fname を確認してください。マルチデータソースおよびセット帳 票機能を利用している場合は、作業ディレクトリの書き込み権限を確認してくださ い。

- XX-2202 出力ファイルが開けません。[fname] 対処:出力先ディレクトリのパーミッション等を確認してください。
- XX-2203 フォームファイルが開けません。[fname] 対処: Form ファイル fname を確認してください。(フォームが見つからないというエラー ページが1枚印刷されます。)
- XX-2204 データマップファイルが開けません。[fname]対処: Datamap ファイル(.dmp) fname を確認してください。
- XX-2205 スタイルファイルが開けません。[fname]対処: Job ファイル(.sty) fname を確認してください。(実行は中断されます。)
- XX-2206 出力ファイルへの出力でエラーが発生しました。 対処:出力先ディレクトリのパーミッション、ディスク残量等を確認してください。
- XX-2207 中間ファイルが開けません。
 - 対処: CSV ファイルと同じディレクトリに作業ファイルを作成します。ディレクトリのパー ミッション等を確認してください。
- XX-2208 CDD ファイルに含める画像ファイルが開けません。[fname]
 - 説明: PrintStageWeb ランタイムにおいて、イメージ変数、イメージオブジェクトに設定している fname 画像ファイルが開けません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-2211 フォント情報ファイルが開けません。[fname]
 説明:フォント情報ファイル fname がオープンできません。
 対処:ファイルの存在を確認してください。

- XX-2212 フォント情報ファイルが読めません。[fname]
 説明:フォント情報ファイル fname が読めません。
 対処:ファイルサイズ、またはファイルのパーミッションを確認してください。
- XX-2213 作業ファイルが開けません。
 説明:作業ファイルがオープンできません。
 対処:ディスク容量が不足している場合は、空き容量を確保してください。
- XX-2214 作業ファイルが読めません。 対処:ファイルのパーミッションを確認してください。
- XX-2215 hsp ファイルが開けません。[fname] 説明: PDF 用フォームファイル fname がオープンできません。 対処: ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- XX-2218 フリーフォーマット設定ファイル (dff) が開けません。[fname]
 説明:導入ディレクトリ下の dff ディレクトリに指定の dff ファイルが存在するか確認してください。
- XX-2301 メモリが足りません。 対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。
- XX-2401 Windows にプリンタがインストールされていません。 対処:使用中の 0S にプリンタがインストールされているか確認してください。
- XX-2402 使用するプリンタが設定されていません。 対処:マネージャの[プリンタの設定]で使用するプリンタが正しく指定されているか確 認してください。
- XX-2403 プリンタの設定を確認してください。
- 対処:マネージャの[プリンタの設定]で使用するプリンタが正しく指定されているか確 認してください。また、実行ユーザにプリンタ利用権限があるか確認してください。
- XX-2404 スプールへの出力でエラーが発生しました。[string(num)] 対処:マネージャの[プリンタの設定]で使用するプリンタが正しく指定されているか、 ディスク容量が十分か確認してください。
- XX-2601 HSP ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。[fname]
 - 説明:フィールドオブジェクトの出力中に HSP ファイルの読み込みに失敗しました。
 - 対処: Form ファイル fname を確認してください。改善しない場合にはフォーム変換を再度 行ってください。
- XX-2602 メモリの確保に失敗しました。
 説明:フィールドオブジェクトの出力中にメモリの確保に失敗しました。
 対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。
- XX-2701 外字変換に失敗しました。 対処:実行時に指定された外字フォントファイルを確認してください。

- XX-2702 外字フォントファイルが開けません。 対処:外字フォントファイルの名前、存在、またはパーミッションを確認してください。
- XX-2710 RPX ファイルが開けません。[fname] 対処:実行時に指定された RPX ファイル fname の名前、存在、またはパーミッションを確 認してください。
- XX-2720 RPX ファイルの解析中にエラーが発生しました。
 説明:指定された RPX ファイルを正常に解析できません。PDF は出力されませんでした。
- XX-2721 フォントファイルを解析できません。[font] 説明:指定されたフォントファイルを正常に解析できません。PDF は出力されませんでした。
- XX-2722 フォントの埋め込みが許可されていません。[font] 説明:指定されたフォントは PDF への埋め込みが許可されていません。PDF は出力されませんでした。
 - 対処:フォントのライセンスを確認してください。
- XX-2723 フォントオブジェクトの作成に失敗しました。[font]
 説明:指定されたフォントを PDF に埋め込めません。PDF は出力されませんでした。
- XX-2801 集計値の計算において有効桁数を超えた数値が検出されました。
 - 説明:集計対象データが有効桁数をオーバーしているか、集計結果が有効桁数をオーバー しました。
 - 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。
- XX-2850 データマップファイルのバージョンが異常です。[fname] 対処:データベース用の Datamap ファイルのバージョンを確認してください。
- XX-2851 データベースからのデータ取得中にエラーが発生しました。 対処:データベースに正しく接続できていない可能性があります。設定内容等を再度確認 してください。
- XX-2852 データベースへの接続処理中にエラーが発生しました。
 - 対処:データベースに接続可能な状態にあるか、データベースに接続するためのユーザ名 やパスワードが正しく設定できているかどうかを再度確認してください。
- XX-2853 SQL 発行処理中にエラーが発生しました。 対処: SQL が正しいかどうか確認してください。
- XX-2854 データベースからの切断処理中にエラーが発生しました。 対処:データベースにアクセス可能な状態にあるかどうかを確認してください。
- XX-2855 データベースの処理中にエラーが発生しました。データベースからのデータは取得 されません。 対処:データベースにアクセス可能な状態にあるかどうかを確認してください。

XX-2871 ffc ファイルが開けません。

説明:表オブジェクトの処理に必要なffcファイルが開けません。

対処:ファイルの名前、ファイルの存在を確認してください。また、ファイルが破損して いる可能性もありますので、Form ファイルを再度保存し直してください。

XX-2872 ffc ファイルを読み込む権限がありません。
説明:表オブジェクトの処理に必要な ffc ファイルを読み込む権限がありません。
対処:ファイルのパーミッションを確認してください。

- XX-2873 ffc ファイルの内容が正しくありません。
 - 説明:表オブジェクトの処理に必要なffcファイルの内容が正しくありません。
 - 対処:ファイルが破損している可能性がありますので、Formファイルを再度保存し直して ください。
- XX-2874 作業ディレクトリへの書き込み権限がありません。
 - 説明:作業ディレクトに対して書き込み権限がないため、処理を継続することができません。
 - 対処:作業ディレクトリ(「-D」オプションで指定するディレクトリ)に対して書き込み権 限を与えてください。
- XX-2875 ライブラリがロードできません。
 - 説明:実行に必要なライブラリが正常にロードできません。
 - 対処: ライブラリファイルがない、もしくは破損している可能性があります。正しくイン ストールされているか確認してください。
- XX-2876 ライブラリからシンボルをロードできません。
- 説明:実行に必要なライブラリが正常にロードできません。
 - 対処: ライブラリファイルが破損している、もしくはバージョンが古い可能性があります。 正しくインストールされているか確認してください。
- XX-2877 CSV ファイルが見つかりません。
 説明:表オブジェクトの入力データとして指定された CSV ファイルが見つかりません。
 対処:指定した CSV ファイルが存在するか確認してください。
- XX-2878 CSV ファイルを読み込む権限がありません。
 - 説明:表オブジェクトの入力データとして指定された CSV ファイルを読み込む権限があり ません。
 - 対処:ファイルのパーミッションを確認してください。

XX-2879 データベースに接続できません。
説明:表オブジェクトの入力データとして指定されたデータベースに接続できません。
対処:データベースが正しく指定されているか確認してください。

XX-2880 SQL の発行でエラーが発生しました。
 説明: SQL をデータベースに発行した時点でエラーが発生しました。
 対処: SQL が正しいかどうか確認してください。

- XX-2881 計算式が正しくありません。
 - 説明:表オブジェクトの計算機能で設定された計算式が正しくありません。
 - 対処:数値でない項目が計算式の項目として指定されている可能性があります。計算式を 確認してください。
- XX-2882 表オブジェクトを出力する領域が狭すぎます。
 説明:表オブジェクトの定義領域が狭すぎて表オブジェクトを出力することができません。
 対処:表オブジェクトのガイド線の間隔を調整してください。
- XX-2901 圧縮資源ファイル名 (*. ccd) 名が指定されていません。 対処:コマンドラインオプション (-oオプション) で圧縮資源ファイル名を指定してくだ さい。
- XX-2902 圧縮資源ファイルが生成できません。[fname] 対処:出力先ディレクトリのパーミッション、ディスク残量等を確認してください。
- XX-2903 cmf ファイルが開けません。[fname]
 - 説明:FormPrintStage 用のフォーム情報ファイル fname が開けません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。また、ファイルが破損している可能性もありますので、Formファイルを再 度保存し直してください。
- XX-2904 バーコード情報ファイルが開けません。[fname]
 説明:バーコード情報ファイル fname が開けません。
 対処:ファイルの存在を確認してください。
- XX-2911 実行オプションで指定されたジョブ ID は使用できません。
 説明:実行オプションで指定されたジョブ ID に使用できない文字が指定されたました。
 対処:半角英数字でジョブ ID を指定してください。
第2章Linux/UNIX

<u>2-2-1 エラーコードについて</u>

Create!Form 製品のランタイム処理において警告やエラーが発生した場合、または操作が正 しくない場合には、その内容毎にエラーコード(メッセージ番号)とメッセージが表示さ れます。ここではLinux/UNIX環境での各ランタイム (FormCast、FormCollect、FormPrint、 FormPrintStage) 実行時のメッセージについて記述します。

警告やエラーが発生した場合のランタイムの動作については、「1-16-5 警告・エラー処理について」をご覧ください。

出力形式

標準出力

次の形式で出力されます。

製品名称:msg#nnnn, message-string

製品名称がメッセージの先頭に付加されます。これはすべてのエラー出力について共通です。 製品名称の次にエラーメッセージ番号が付加されます。エラーメッセージ番号は、共通な msg# ヘッダの後ろに続く4桁の数字です。

4桁のメッセージ番号の上位1桁は、次に示すようなエラーレベルを表しています。

- 0:情報レベルのメッセージです。デフォルトではこのレベルの出力は行われません。
- 1:
 警告レベルのエラーです。プログラムは可能な限り処理を続けて印刷データを作成しますが、その結果は保証されません。
- 2: 致命的レベルのエラーです。プログラムはそこで処理を停止します。印刷データは完結 しません。

このエラー出力をエラーレベルで出力制御するには、環境変数 "CREATE_MSGLVL=" にレベル値 を指定してランタイムに渡すことにより可能です。初期設定では、"CREATE_MSGLVL=1" の状態 で内部設定されており、警告レベル以上(警告レベルと致命的レベル)のエラーを出力するよ うになっています。4 桁のメッセージ番号の下位3 桁は、エラーメッセージの順番号です。

エラーメッセージ番号に続いてエラーメッセージ本体のエラー内容が出力されます。 エラーメッセージの中にはディレクトリ名・ファイル名等の実行時に使用された名称を表示す るものがあります。

ログファイル

エラーメッセージは、ログファイルに次のような内容で出力されます。

2013/10/10,10:00:00,Error:CE-00-02-2201,-Dsample -ssheet.sty -osheet.pdf sheet_p.txt エラー発生年月日,時刻,メッセージレベル:メッセージ番号,実行オプション文字列

・メッセージ番号の最初のアルファベット2文字はランタイム名を示します。FormCastの場合は「CE/CS」、FormCollectの場合は「FE/FS」、FormPrintの場合は「PE/PR」、FormPrintStageの場合は「SE/SS」が出力されます。

・メッセージはメッセージレベルとカテゴリを省略して、メッセージ番号と内容を記述してあります。各レベル別に番号順で記述します。

ログファイルの出力方法については、「1-16-4 ログファイルの出力設定」をご覧ください。

2-2-2 エラーコード一覧

- Information レベル
 - #0003 Product's License will expire next month.
 - 説明:設定されているパスワードが次月に有効期限切れとなります。今月中は正常に動作 します。
 - 対処:続けて使用する場合は、ライセンスを取得してください。
- Warning レベル
 - #1033 Unable to open QDF fname in [path].
 - 説明: fname.qdf ファイルが path においてオープンできませんでした。規定値で処理は 継続されますが、印刷内容は保証されません。
 - 対処: path で示される Print 導入ディレクトリで -q オプションで指定した QDF ファイ ルの存在を確認してください。無い場合は default.qdf をコピーして作成してくだ さい。default.qdf がない場合は、setup ディレクトリ内の QDF ファイルを Print 導入ディレクトリヘコピーして使用してください。
 - #1038 Unable to find QDF's fname in [path].
 - 説明:QDF ファイルに記述されたファイル fname がパス path にみつかりませんでした。 指定ファイルなしで処理は継続されますが、印刷内容は保証されません。
 - 対処: QDF ファイルに記述したファイル(辞書ファイル)の存在を path において確認して ください。
 - #1039 Unable to open QDF's fname in [path].
 - 説明:QDF ファイルに記述されたファイル fname がパス path でオープンできませんでした。処理は継続されますが、印刷内容においては保証されません。
 - 対処:ファイルは存在していますがオープンできません。ファイルのパーミッションなど を確認してください。
 - #1046 Unable to open EPS.
 - 説明:イメージオブジェクトに指定されたファイルが開けません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
 - #1068 Unable to open file in EPS variable [fname].
 - 説明:イメージ変数(旧名称: EPS 変数)によって指定された画像ファイル fname がオー プンできません。処理は続行されます。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
 - #1069 Unsupported file format in EPS variable [fname].

説明:イメージ変数(旧名称: EPS 変数)によって指定された画像ファイル fname は処理 対象外の画像フォーマットです。処理は続行されます。 対処:ファイルの種別を確認してください。

- #1070 Invalid entry in QDF, [string].
- 説明:QDF ファイルに不正な記述がありました。処理は継続されますが、印刷内容は保証されません。

- 対処:不正となった文字列 string をもとに、キーワードの確認、キーワードの次の'=' 文字などの書式を確認してください。
- #1071 QDF entry must begin with a '/' .
 - 説明: QDF ファイルのキーワードは'/' で始まらなければなりません。処理は継続されます が、印刷内容は保証されません。
 - 対処:QDF ファイルの各行の先頭文字などをチェックしてください。
- #1072 Keyword /PASSWORD must be followed by '=' .
 - 説明: QDF ファイルのキーワード "/password" の後に '=' 文字が記述されていません。"/ PASSWORD=0000" で処理は継続されます。
 - 対処:パラメータを持つキーワードの後には'='文字を伴って記述しなければなりません。
- #1073 Invalid /PASSWORD entry.
 - 説明: QDF ファイルのパスワードの値が不正です。"/PASSWORD=0000" で処理は継続されます。
 - 対処: QDF ファイルのパスワードをチェックしてください。
- #1074 Keyword /DICTLIBRARY must be followed by '='. 説明:QDF ファイルのキーワード "/dictlibrary" の後に '=' 文字が記述されていません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1075 Invalid /DICTLIBRARY entry.
 説明:QDF ファイル中の "/dictlibrary" キーワードの値が不正です。
 対処:キーワード "/dictlibrary" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1076 Keyword /FORMLIBRARY must be followed by '='. 説明:QDF ファイルのキーワード "/formlibrary" の後に '=' 文字が記述されていません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1077 Invalid /FORMLIBRARY entry.
 説明: QDF ファイル中の "/formlibrary" キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/formlibrary" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1078 Keyword /FONTLIBRARY must be followed by '='. 説明:QDF ファイルのキーワード "/fontlibrary" の後に '=' 文字が記述されていません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1079 Invalid /FONTLIBRARY entry.
 説明: QDF ファイル中の "/fontlibrary" キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/fontlibrary" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1080 Invalid /PARAMETER entry.
 説明: QDF ファイル中の "/parameter" キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/parameter" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

#1081 Invalid /WORKAREA entry.
説明:QDF ファイル中の "/workarea" キーワードの値が不正です。
対処:キーワード "/workarea" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

- #1082 Invalid Hex String specified for /LEFTBRACKET.
 説明:キーワード "/leftbracket"の後に指定された値が不正な16進値です。
 対処:正しい16進値に修正してください。
- #1083 Keyword /LEFTBRACKET must be followed by '='. 説明:QDF ファイルのキーワード "/leftbracket"の後に '=' 文字が記述されていません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1084 Invalid Hex String specified for /RIGHTBRACKET. 説明:キーワード "/rightbracket"の後に指定された値が不正な16進値です。 対処:正しい16進値に修正してください。
- #1085 Keyword /RIGHTBRACKET must be followed by '='. 説明:QDF ファイルのキーワード "/rightbracket"の後に '=' 文字が記述されていません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1086 Invalid Hex String specified for /EOFCHAR.
 説明:キーワード "/eofchar"の後に指定された値が不正な16進値です。
 対処:正しい16進値に修正してください。
- #1087 Keyword /EOFCHAR must be followed by '='. 説明:QDF ファイルのキーワード "/eofchar" の後に '=' 文字が記述されていません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1090 Keyword /ADJUSTBASEPOINT must be followed by '='.
 説明:QDF ファイル中の /adjustbasepoint キーワードの後に文字 '=' がありません。
 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1091 Invalid /ADJUSTBASEPOINT entry.
 説明: QDF ファイル中の /adjustbasepoint キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/adjustbasepoint" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1092 Invalid /EPSVARPROCESS entry.
 説明: QDF ファイル中の /epsvarprocess キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/epsvarprocess" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1097 Cannot process file in EPS variable [fname].
 説明:イメージ変数(旧名称: EPS 変数)によって指定された画像ファイル fname を処理 できません。処理は続行されます。
 対処:ファイルの種別を確認してください。
- #1098 Invalid data in barcode variable. 説明:バーコード変数によって指定されたデータ文字列中に2バイト文字または1バイト カナ文字が含まれています。処理は続行されます。 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。

#1120 Invalid PPD Format, [fname].
 説明: PPD ファイル fname の形式が不正です。
 対処: PPD ファイル fname をコピーし直してください。

- #1121 Cannot process PPD, (num) [fname].
 説明: PPD ファイル fname を出力できません。
 対処: ディスク容量が十分かどうか確認してください。
- #1122 Keyword /PPD must be followed by '=' . 説明:QDF ファイル中の /ppd キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1123 Invalid /PPD entry.
 説明:QDF ファイル中の /ppd キーワードの値が不正です。
 対処:キーワード "/ppd" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1124 Keyword /PPD_PAGESIZE must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の /ppd_pagesize キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1125 Invalid /PPD_PAGESIZE entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_pagesize キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_pagesize" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1126 Keyword /PPD_INPUTSLOT must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の /ppd_inputslot キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1127 Invalid /PPD_INPUTSLOT entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_inputslot キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_inputslot" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1128 Keyword /PPD_DUPLEX must be followed by '=' . 説明:QDF ファイル中の /ppd_duplex キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1129 Invalid /PPD_DUPLEX entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_duplex キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_duplex" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1130 Keyword /PPD_OUTPUTBIN must be followed by '='.
 説明:QDF ファイル中の /ppd_outputbin キーワードの後に文字 '=' がありません。
 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1131 Invalid /PPD_OUTPUTBIN entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_outputbin キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_outputbin" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1132 Keyword /PPD_RESOLUTION must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の /ppd_resolution キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。

#1133 Invalid /PPD_RESOLUTION entry.
説明: QDF ファイル中の /ppd_resolution キーワードの値が不正です。
対処: キーワード "/ppd_resolution" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

#1134 Keyword /SETUPOPTION must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の /setupoption キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。

#1135 Invalid /SETUPOPTION entry.
 説明: QDF ファイル中の /setupoption キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/setupoption" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

#1136 Missing PPD name in QDF. 説明:QDF ファイル中で PPD ファイルを指定していません。 対処:QDF ファイル中で PPD ファイルの指定をしているか確認してください。(default.ppd が使用されます。)

 #1137 Unable to open PPD, [fname].
 説明: PPD ファイル fname が開けません。
 対処: 導入ディレクトリ下 "ppd" ディレクトリで QDF ファイルに指定された PPD ファイル ("/ppd" キーワード)の存在を確認してください。

#1138 Unable to open PSC fname in [path]. 説明: PSC ファイル fname が開けません。 対処: ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。

#1139 Disregarded Keyword in QDF, [string].
 説明: QDF ファイル中のキーワード string は、このバージョンでは使用しません。
 対処: 無視されますが、キーワード string を削除しておくことをおすすめします。

#1140 Keyword /PPD_TRAYSWITCH must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の /ppd_trayswitch キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。

#1141 Invalid /PPD_TRAYSWITCH entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_trayswitch キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_trayswitch" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

#1142 Keyword /PPD_SORTER must be followed by '=' . 説明:QDF ファイル中の /ppd_sorter キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。

#1143 Invalid /PPD_SORTER entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_sorter キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_sorter" の後に指定された値を正しい値に修正してください。

- #1144 Keyword /PPD_JOG must be followed by '='. 説明: QDF ファイル中の /ppd_jog キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処: パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1145 Invalid /PPD_JOG entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_jog キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_jog" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1146 Keyword /PPD_COLLATE must be followed by '='.
 説明:QDF ファイル中の /ppd_collate キーワードの後に文字 '=' がありません。
 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1147 Invalid /PPD_COLLATE entry.
 説明: QDF ファイル中の /ppd_collate キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ppd_collate" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1148 Keyword /PDFGAIJI must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の /pdfgaiji キーワードの後ろに文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1149 Invalid /PDFGAIJI entry.
 説明: QDF ファイル中の /pdfgaiji キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/pdfgaiji" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1162 Keyword /SEC must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の /sec キーワードの後ろに文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1163 Invalid /SEC entry.
 説明:QDF ファイル中の /sec キーワードの値が不正です。
 対処:キーワード "/sec" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1164 Unable to open SEC, [fname].
 説明:SEC ファイル fname が開けません。
 対処:導入ディレクトリ下 "sec" ディレクトリで QDF ファイルに指定された SEC ファイル
 ("/sec" キーワード)の存在を確認してください。
- #1165 keyword [ketyword] must be followed by '='. 説明:QDF ファイル中の [keyword] キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1166 Invalid [keyword] entry.
 説明:キーワードの値が不正です。
 対処:値を正しい値に修正してください。
- #1170 Unable to open file in IMAGE Object. 説明:イメージオブジェクトに指定されたファイルが開けません。 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。

- #1171 Unsupported file format in IMAGE Object. 説明:イメージオブジェクトに指定されたファイルは処理対象外の画像フォーマットです。 対処:ファイル種別等を確認してください。
- #1172 Cannot process file in IMAGE Object.
 説明:イメージオブジェクトに指定されたファイルを処理できません。
 対処:ファイル種別等を確認してください。
- #1181 Invalid data in graph variable[vname].
 説明:グラフ変数 [vname] にマッピングされたデータが正しくありません。
 対処:グラフ変数の設定(ラベル、凡例など)とマッピングされたデータを確認してください。
 処理は継続されますが、グラフは描画されません。
- #1182 Cannot process graph variable[vname].
 説明:グラフ変数 [vname] の処理でエラーが発生しました。
 対処:グラフ変数の設定、マッピングされたデータ等を確認してください。処理は継続されますが、グラフは描画されません。

#1183 The data in graph variable is over the valid digits.[vname].

- 説明: グラフ変数 [vname] にマッピングされたデータに 15 桁を超える値が設定されました。 対処: グラフ変数では、15 桁以下の数値データを利用してください。(処理は継続されます が、グラフは描画されません。)
- #1192 Invalid data in 2DCode variable.
 - 説明:2次元コード変数によって指定されたデータ文字列中に2次元コード変数のモードに 対応していない文字が含まれています。
 - 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。
- #1193 2DCode variable is overflowing.
 - 説明:2次元コード変数によって指定されたデータ文字列が最大文字数をオーバーしていま す。
 - 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。
- #1194 Data assigned to one item of CSV is overflowing.
 - 説明: CSV の1項目に割り当てられたデータが制限値を超えています。制限値を超えたデー タは処理できません。
 - 対処:テキストファイルの内容を確認してください。
- #1195 Missing Data in input TEXT.
 説明:テキストファイルにデータがありません。
 対処:テキストファイルの内容を確認してください。
- #1196 The area for 2DCode is too narrow
 - 説明:2次元コード変数の定義された領域が狭すぎる場合、型番1(定義されたセルピッチ、 クワイエットゾーン、単位によって QR コードの最小サイズ)で出力されます。
 - 対処:2次元コード変数の定義領域、定義されたセルピッチ、クワイエットゾーン、または単 位を調整してください。

#1198 Occured An Error through output PDF.

説明:流し込み処理が正常に終了しませんでした。 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。

- #1200 Ignored setting unit change for Set output type.
 説明:セット出力が設定されているためユニット切り替え設定が無効になります。
 対処:データマップファイルに設定されているユニット切り替え設定を解除してください。
- #1220 Greater than max value.
 - 説明:フィールドオブジェクトに設定された最大値を超えた値が割り当てられました。 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。 また、この警告は計算結果に対しても発生する可能性があります。
- #1221 Less than minimum value.
 - 説明:フィールドオブジェクトに設定された最小値を下回った値が割り当てられました。 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。 また、この警告は計算結果に対しても発生する可能性があります。
- #1222 Not numerical value.
 - 説明:数値フォーマットが設定されたフィールドオブジェクトに数値でない値が割り当て られました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。
- #1223 Invalid date value.
 - 説明:設定された日付フォーマット種別に適していない値がフィールドオブジェクトに割 り当てられました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。
- #1224 Same name and different type object exist.
 - 説明:同じオブジェクト名を持つ異なる種類のフィールドオブジェクトが定義されていま す。
 - 対処:フォームファイルに定義されているフィールドオブジェクト名と種別を確認してく ださい。
- #1225 Greater than max length for text string.
 説明:フィールドオブジェクトに設定された最大文字数を超えた値が割り当てられました。
 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。
- #1226 Overflowing double type limit.
 - 説明: Create! Form で扱うことのできる数値の有効桁数 15 桁を超えた値がフィールドオブ ジェクトに割り当てられました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。 また、この警告は計算結果に対しても発生する可能性があります。
- #1227 Cannot format data because data included CR code.
 - 説明:フォーマット設定がされているフィールドオブジェクトに改行を含む値が割り当て られました。
 - 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値を確認してください。

#1228 Cannot format data because of dataedit.

- 説明:フォーマット処理が失敗しました。この警告の多くはフィールドオブジェクトに割 り当てられたデータが不適切なため発生します。
- 対処:フィールドオブジェクトに割り当てられた入力データの値とフォーマット設定を確認してください。
- #1229 Not supported FIELD OBJECT on Create! FormCast.
 - 対処:フィールドオブジェクトを含む PDF ファイルの出力は Create! FormCollect を導入 する必要があります。
- #1240 Invalid /ttfname entry.
 説明: QDF ファイル中の /ttfname キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ttfname" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1241 Invalid /ttfname_g entry.
 説明: QDF ファイル中の /ttfname_g キーワードの値が不正です。
 対処: キーワード "/ttfname_g" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1275 Keyword /FORCEDPI_JPEG must be followed by '=' 説明:QDF ファイル中の /forcedpi_jpeg キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1276 Invalid /FORCEDPI_JPEG entry 説明: QDF ファイル中の /forcedpi_jpeg キーワードの値が不正です。 対処: キーワード "/forcedpi_jpeg" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1277 Keyword /DEFAULTDPI_JPEG must be followed by '=' 説明:QDF ファイル中の /defaultdpi_jpeg キーワードの後に文字 '=' がありません。 対処:パラメータを持つキーワードの後には '=' 文字を伴って記述しなければなりません。
- #1278 Invalid /DEFAULTDPI_JPEG entry 説明: QDF ファイル中の /defaultdpi_jpeg キーワードの値が不正です。 対処: キーワード "/defaultdpi_jpeg" の後に指定された値を正しい値に修正してください。
- #1280 Cannot read a extented file for PDF action.
 説明:フォーム用の拡張アクション定義ファイル(caf)の読み込みに失敗しました。
 対処:フォーム用の拡張アクション定義ファイルの存在を確認してください。
- #1281 Already exist same name JavaScript function.
 - 説明: JavaScript 関数は既に他のフォームで定義されています。出力された PDF ファイル 上で JavaScript 関数が正しく動作しない恐れがあります。
 - 対処:出力に際して複数のフォームを使用する場合、各フォームに登録されている JavaScript 関数の定義を一意にしてください。
- #1282 The HTTP form data transmission that uses the GET method has not been supported any longer.
 - 説明:Get メソッドを用いた HTTP 送信形式は現バージョンではサポートされていません。 この設定は Post メソッドに置き換えられます。フォームを再保存するとこの警告は 発生しません。

- #1283 Log File Permission denied.
 - 対処:指定されているログファイルもしくはログ出力フォルダの書き込み権限、またはロ グ出力フォルダの存在を確認してください。
- #1284 Log File Sharing Violation. 対処:他のプログラムでログファイルが使用されていないかを確認してください。
- #1291 Divided by zero.
 - 説明:表オブジェクトの計算機能の処理中に0値による除算が発生しています。帳票上に は「NaN」と表示されます。
- #1292 Totaled the number over the valid digits.
 説明:表オブジェクトの集計機能の処理中にデータが有効桁数の15桁を超えました。帳票
 上には空欄が表示されます。
- #1293 Calculated the number over the valid digits.
 説明:表オブジェクトの計算機能の処理中にデータが有効桁数の15桁を超えました。帳票
 上には空欄が表示されます。
- #1294 No data for the table object.
 説明:表オブジェクトにマッピングされたデータが0件です。
- #1295 The value of auto-index is over 99,999,999.
 説明:表オブジェクトで自動連番に設定されたセルの値が1~99,999,999の範囲を超えました。以降はそのセルは空欄となります。
- #1321 Out of file type to embed font. [font]
 - 説明: PDF フォント埋め込みに使用できるフォントは TrueType フォントと TrueType ベース の OpenType フォントのみです。出力された PDF では代替フォント(MS 明朝)が使用 され、フォントは埋め込まれていません。
- #1322 Cannot open font file. [font]
 - 説明: PDF フォント埋め込みに指定されたフォントファイルが開けません。出力された PDF では代替フォント(MS 明朝)が使用され、フォントは埋め込まれていません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- #1325 Include invalid codes for embed font. [font][code]
 説明:指定されたフォントに対応しない文字コードが含まれています。
- #1327 Improper collection index for embed font. [font]
 - 説明: TrueType コレクション (TTC) ファイルに対して指定されたインデックスが正しくあ りません。出力された PDF では代替フォント (MS 明朝) が使用され、フォントは埋 め込まれていません。

#1331 Cannot open PDF file. [fname]

- 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF ファイルを開くことができません。
- 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- #1332 Cannot open PDF file. [fname]
 - 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname ファ イルは PDF ファイルではありません。
- #1334 Cannot use encrypted PDF file. [fname]
 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF
 ファイルは暗号化されているため、取り込まれません。
 対処: PDF ファイルの暗号化を解除してください。
- #1335 No specified page of PDF. [fname] [npage] 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF ファイルには npage ページ目が存在しません。
- #1336 Cannot parse PDF file. [fname]
 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF
 ファイルの解析中に予期せぬエラーが発生しました。
- #1337 Not supported PDF OBJECT on Create! FormPrint/FormPrintStage.
 説明:固定 PDF オブジェクト /PDF 変数オブジェクトは FormCast および FormCollect ラン
 タイムでのみ使用可能です。
- #1338 Cannot parse PDF file. [fname]
 - 説明:固定 PDF オブジェクトまたは PDF 変数オブジェクトによって指定された fname PDF ファイルは、対応外の機能が使用されているため、取り込まれません。
- Error レベル
 - #2001 Product requires path which has been installed, set CREATE_DIR(CDIR_CAST).
 - 説明: ランタイムを導入したディレクトリが環境変数に設定されていません。実行は中断 されます。
 - 対処: FormPrint ランタイムの場合は、環境変数 "CDIR_PRINT= 導入ディレクトリパス" を、FormCast ランタイムの場合は、環境変数 "CDIR_CAST= 導入ディレクトリパス" を、FormCollect ランタイムの場合は、環境変数 "CDIR_COLLECT= 導入ディレクトリ パス"を設定してください。
 - #2002 Cannot be found Product's License.
 - 説明: ライセンスファイルが見つかりません。FormCast ランタイム、FormCollect ラン タイムの場合は、導入ディレクトリ下の csys ディレクトリに、それぞれ LICENSE_CAST、LICENSE_COLLECT が必要です。FormPrint ランタイム、 FormPrintStage Web ランタイムの場合は、導入ディレクトリ下のbinディレクトリに、 それぞれ LICENSE_PRINT、LICENSE_STAGEWEB が必要です。実行は中断されます。
 - 対処: showmid コマンドからライセンス設定を行うか、ライセンス情報の記述されたライセンスファイルを配置してください。

Linux/UNIX

#2004 Product's License has expired.

説明:設定されているパスワードは期限切れです。実行は中断されます。 対処:新たにパスワードを取得して LICENSE ファイルを書き換えてください。

#2005 Invalid Product's License used.

説明:正しいパスワードが設定されていません。実行は中断されます。 対処:パスワードを取得して LICENSE ファイルに書き込んでください。

- #2006 java. lang. UnsatisfiedLinkError
 - 説明:ライブラリ(libCCastCall.so(.sl) or libCCollectCall.so(.sl) or |ibCPrintCall.so (.sl)) が見つかりませんでした。
 - 対処: ライブラリがインストールされたディレクトリに正しくライブラリパスが設定され ているか確認してください。

#2008 Library path is requested

説明:環境変数(ライブラリパス)が正しく設定されていません。実行は中断されます。 対処:導入環境に応じた環境変数(ライブラリパス)を正しく設定してください。

#2009 java.lang.IOException

説明:作業ファイルの書き込みに失敗しました。

対処:作業ファイル作成ディレクトリの書き込み権限を確認してください。

- #2010 Unrecognized option, arg#num[opt arg].
 - 説明:num 番目に指定したオプション引数 opt_arg はサポートされていません。実行は中 断されます。
 - 対処:指定したオプション文字を確認して正しく指定し直してください。
- #2011 Option letter must be prefixed with a '-', arg#num. 説明:num 番目に指定したオプションは文字'-' で始まらなければなりません。実行は中 断されます。 対処:指定したオプションを確認して正しく指定し直してください。
- #2012 Invalid format in optional argument. 説明:指定したオプションはサポートされていません。実行は中断されます。 対処:指定したオプション文字を確認して正しく指定し直してください。
- #2013 Invalid argument value which has been specified with option letter. arg#num[opt arg].
 - 説明:num 番目に指定したオプション opt_arg で指定された値が正しくありませんでした。 実行は中断されます。
 - 対処:指定したオプションの値を確認して正しく指定し直してください。
- #2014 Cannot be found an argument which must be specified with option letter. arg#num[opt_arg].
 - 説明:num 番目に指定したオプション opt_arg で指定されたオプション文字に続く値が記 述されていません。実行は中断されます。
 - 対処:指定したオプションに続く値を確認して正しく指定し直してください。

#2015 Blanks are not allowed between an option and its corresponding argument.
説明:オプション文字と続く値の間に空白文字を入れてはいけません。実行は中断されます。

対処:指定したオプションの空白を無くして指定し直してください。

#2030 Unable to open System Dictionary.

説明:FormPrintシステム辞書ファイルがオープンできません。実行を中断します。 対処:FormPrint導入ディレクトリ下の dict ディレクトリを確認してください。

#2032 Unable to open Form fname in [path].

説明: Form ファイル fname. hst が path においてオープンできません。フォームが見つか らないというエラーページが1枚印刷されます。

対処: path で示されるディレクトリに目的の Form ファイルを置いてください。

- #2034 Unable to open DataMap fname [path].
 - 説明: Datamap ファイル fname.dmp が path においてオープンできません。テキストデー タを除いた印刷データ(フォームがある場合はフォームのみ)が作成されて印刷さ れます。

対処: path で示されるディレクトリに目的の Datamap ファイルを置いてください。

#2035 Unable to open Style fname [path].

説明: Job ファイル fname.sty が path においてオープンできません。実行は中断されます。

- 対処: path で示されるディレクトリに目的の Job ファイルを置いてください。
- #2036 Unable to open Input fname.

説明:指定した入力ファイル fname がオープンできません。実行は中断されます。

対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。マルチデータソースおよびセット帳票機能を利用している場合は、作業ディ レクトリの書き込み権限を確認してください。

#2037 Unable to open Output fname.
説明:指定した出力ファイル fname がオープンできません。実行は中断されます。
対処:出力先ディレクトリのパーミッション等を確認してください。

- #2040 File empty or page selection incorrect.
 説明:入力ファイルにデータがないか、ページ指定された位置にデータがありません。
 対処:入力ファイルの内容を確認してください。
- #2042 Invalid Style Format [fname].
 説明: Job ファイル fname の内容が不正です。実行は中断されます。
 対処:再作成してください。
- #2043 Unable to open DataMap fname [path]. 説明:CSV 実行形式を指定した際、Datamap ファイル fname.dmp が path においてオープ ンできません。実行は中断されます。
 - 対処: path で示されるディレクトリに目的の Datamap ファイルを置いてください。

Linux/UNIX

#2044 Unable to open Intermediate File.

説明: CSV 実行形式を指定した際、作業ファイルが作成できません。実行は中断されます。 対処: FormPrint ランタイムは CSV ファイルと同じディレクトリに作業ファイルを作成しま す。ディレクトリのパーミッション等を確認してください。

#2045 Missing DataMap name in Style [fname].

- 説明: i オプション、またはスタイルファイルで CSV 実行形式を指定しましたが、Job ファ イル fname.sty 中に Datamap ファイルの記述がありません。実行は中断されます。 対処: Design マネージャで Job ファイルの内容を確認してください。
- #2047 Invalid Style version [fname].
 説明: Job ファイル fname.sty のバージョンが違います。
 対処: Design マネージャで Job ファイルの内容を確認してください。

#2048 Invalid DataMap version [fname].
 説明: Datamap ファイル fname.dmp のバージョンが違います。実行は中断されます。
 対処: Datamap エディタで Datamap ファイルの内容を確認してください。

- #2049 Invalid DataMap mode [fname].
 - 説明: i オプション、または Job ファイルで CSV 実行形式を指定しましたが、Datamap ファ イル fname.dmp のモードが CSV でありませんでした。実行は中断されます。
 - 対処: Design マネージャで Job ファイルが正しい Datamap ファイルを指定しているか、ま たは Datamap エディタで fname.dmp のモードが正しいか確認してください。
- #2096 Conversion process failure, EUC to SJIS.
 説明:内部処理において EUC コードから SJIS コードに変換できませんでした。
 対処:入力データの漢字コード、または環境変数を確認してください。
- #2150 Unable to open Font-information fname.
 説明:フォント情報ファイル fname がオープンできません。
 対処:ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してください。
- #2151 Cannot process Font-information fname.
 説明:フォント情報ファイル fname が読めません。
 対処:ファイルサイズ、またはファイルのパーミッションを確認してください。
- #2152 Invalid Font-information Format fname.
 説明:フォント情報ファイル fname が異常です。
 対処:ファイルをコピーし直してください。
- #2153 Invalid Font-information version fname. 説明:フォント情報ファイル fname が異常です。 対処:ファイルをコピーし直してください。
- #2154 Invalid Font-information size fname.
 説明:フォント情報ファイル fname が異常です。
 対処:ファイルをコピーし直してください。

#2155 Unable to open Intermediate File.
 説明:作業ファイルがオープンできません。
 対処:ディスク容量が不足している場合は、空き容量を確保してください。

- #2156 Cannot process Intermediate File.
 説明:作業ファイルが読めません。
 対処:作業ファイル作成場所のパーミッション等を確認してください。
- #2157 Unable to open HSP fname in [path]. 説明: PDF 用フォームファイル fname.hsp が path においてオープンできません。 対処: ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- #2158 Compression failure.説明:圧縮に失敗しました。対処:帳票資源ファイルの内容を再度確認してください。
- #2160 Missing Master_password in optional argument. 説明:出力ファイルにPDF セキュリティを設定するには、マスタパスワードの指定が必要 です。
 - 対処:実行引数でマスタパスワードを指定してください。
- #2161 Missing Master_password in QDF. 説明:出力ファイルに PDF セキュリティを設定するには、マスタパスワードの指定が必要 です。 対処:セキュリティエディタでマスタパスワードを指定してください。
- #2173 The format of file 'era_jp. dat' is not correct. 説明: era_jp. dat ファイルのフォーマットが正しくありません。 対処: era_jp. dat ファイルの内容を確認してください。
- #2174 The date of newly defined Japanese era is before 1989/01/09. 説明:era_jp.dat ファイルで 1989 年 1 月 9 日より前の日付が設定されています。 対処:era_jp.dat ファイルの内容を確認してください。
- #2175 Overflowing the number of Japanese eras limit.
 説明: era_jp.dat ファイルで設定された元号の数が最大値を超えました。
 対処: era_jp.dat ファイルの内容を確認してください。
- #2176 File 'era_jp.dat' can't be open. 説明 : era_jp.dat ファイルが開けません。 対処 : ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- #2177 The value of era or start date is duplicate.
 説明: era_jp. dat ファイルで設定された元号または開始日のデータが重複しています。
 対処: era_jp. dat ファイルの内容を確認してください。

#2190 The page selected cannot be output.
 説明:指定されたページは正しくありません。
 対処:開始ページまたは終了ページが正しく指定されているか確認してください。

- #2195 Missing Data in input TEXT 対処:テキストファイルの内容を確認してください。
- #2206 Error occurred on Outputting file.
 説明:出力ファイルへの出力でエラーが発生しました。
 対処:出力先ディレクトリのパーミッション、ディスク残量等を確認してください。
- #2208 Cannot open The image file for ccd.
 - 説明: PrintStageWeb ランタイムにおいて、イメージ変数、イメージオブジェクトに設定している fname 画像ファイルが開けません。
 - 対処:ファイルの名前、ファイルの存在、またはファイルのパーミッションを確認してく ださい。
- #2210 Invalid input type for execution.
 - 説明:実行が適切ではありません。
 - 対処: Job ファイルの処理形式、実行時のオプションの内容を確認してください。 XML データマップ形式を実行する際には、実行コマンドラインに "-ix" オプションを 付加する必要があります。
- #2211 Error occurred on transcoding character code.
 説明:XMLデータの文字コードを変換する際にエラーが発生しました。
 対処:入力ファイルの内容を確認してください。
- #2212 Cannot open datamap file(.dmx).
 説明: Datamap ファイル fname を開くことができません。
 対処: Datamap ファイル fname の内容と保存ディレクトリを確認してください。
- #2213 Error occurred initializing xml parser. 対処: XML パーサモジュールが正しくパスの通ったディレクトリに導入されているかどうか 確認してください。
- #2214 Unspecified error occurred for xml input type.
 説明: XMLデータマップ形式の処理中に不明なエラーが発生しました。
 対処: Create! Form サポートまでお問い合わせください。
- #2215 Cannot read datamap file(.dmx).
 説明: Datamap ファイル fname を読み込むことができませんでした。
 対処: Datamap ファイル fname の内容を確認してください。
- #2216 Throw exception by xml parser.
 説明:入力ファイル fname 解析中にエラーが発生しました。
 対処:入力 XML ファイル fname の内容を確認してください。

#2217 Invalid datamap version.

説明: Datamap ファイル fname のバージョンが異常です。

対処: Datamap エディタで Datamap ファイル fname の内容を確認し、保存しなおしてくだ さい。

#2218 Unable to open DataEdit FreeFormat File (dff).

説明:導入ディレクトリ下の dff ディレクトリに指定の dff ファイルが存在するか確認し てください。

#2230 Cannot read HSP file.

説明:フィールドオブジェクトの出力中に HSP ファイルの読み込みに失敗しました。 対処:Form ファイル fname を確認してください。改善しない場合にはフォーム変換を再度 行ってください。

#2231 Memory allocation failure.
説明:フィールドオブジェクトの出力中にメモリの確保に失敗しました。
対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。

#2250 Memory allocation failure.
説明:外字変換処理中にメモリの確保に失敗しました。
対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。

#2251 Invalid Input file format. 説明:入力ファイルの読み込みでエラーが発生しました。 対処:入力ファイルのデータ内容を確認してください。

- #2252 Cannot convert TTE file.
 説明:外字変換に失敗しました。
 対処:実行時に指定された外字ファイルを確認してください。
- #2253 Cannot open TTE file. 説明:外字フォントファイルが開けません。 対処:外字フォントファイルの名前、存在、またはパーミッションを確認してください。

#2260 Invalid DataMap version [fname].
 説明: Datamap ファイル fname.dbc のバージョンが違います。
 対処: Datamap エディタで Datamap ファイルの内容を確認してください。

#2261 Fail on process for database.
 説明:データベースからのデータ取得中にエラーが発生しました。
 対処:データベースに正しく接続できていない可能性があります。設定内容等を再度確認してください。

#2262 Fail on connecting to database.

説明:データベースに接続できません。

対処:データベースにアクセス可能な状態にあるかどうか、データベースに接続するため のユーザ名やパスワードが正しいかどうかを確認してください。 #2263 Fail on sending query to database.
 説明:データベースに SQL を発行した際にエラーが発生しました。
 対処: SQL が正しいかどうか確認してください。

#2264 Fail on disconnecting to database.
 説明:データベースの切断処理中にエラーが発生しました。
 対処:データベースがアクセス可能な状態にあるかどうか確認してください。

#2265 Fail on database.

説明:データベースの処理中にエラーが発生しました。データベースからのデータは取得 されません。

対処:データベースがアクセス可能な状態にあるかどうか確認してください。

#2266 Fail on multi-data-source.

説明:コマンドラインが不正、もしくはデータ処理中にエラーが発生しました。 対処:コマンドラインもしくは帳票資源ファイルの設定を確認してください。

#2270 Memory allocation failure.
 説明:集計値計算処理中にメモリの確保に失敗しました。
 対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。

#2271 Memory allocation failure.
説明:重複データ非表示処理中にメモリの確保に失敗しました。
対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。

- #2272 Occured an Error in calculation.
 - 説明:集計値の計算において集計対象データが有効桁数をオーバーしているか、集計結果 が有効桁数をオーバーしました。
 - 対処:テキストファイルの内容、データマップのマッピング位置を確認してください。

#2285 Cannot specify ccd.

- 説明:出力 CCD ファイル名が指定されていません。
- 対処:コマンドラインオプション(-oオプション)で圧縮資源ファイル名を指定してくだ さい。

#2286 Cannot open ccd.
 説明:出力 CCD ファイルが開けません。
 対処:出力先ディレクトリのパーミッション、ディスク残量等を確認してください。

#2291 Cannot find ffc.

説明:表オブジェクトの処理に必要なffcファイルが開けません。

対処:ファイルの名前、ファイルの存在を確認してください。また、ファイルが破損して いる可能性もありますので、Form ファイルを再度保存し直してください。

#2292 Cannot read ffc.

説明:表オブジェクトの処理に必要な ffc ファイルを読み込む権限がありません。 対処:ファイルのパーミッションを確認してください。 #2293 Invalid ffc.

- 説明:表オブジェクトの処理に必要な ffc ファイルの内容が正しくありません。
- 対処:ファイルが破損している可能性がありますので、Formファイルを再度保存し直して ください。

#2294 Cannot write to work directory.

- 説明:作業ディレクトに対して書き込み権限がないため、処理を継続することができません。
- 対処:作業ディレクトリ(「-D」オプションで指定するディレクトリ)に対して書き込み 権限を与えてください。
- #2295 Cannot load library for datasource.

説明:実行に必要なライブラリが正常にロードできません。

対処: ライブラリファイルがない、もしくは破損している可能性があります。正しくイン ストールされているか確認してください。

#2296 Cannot load symbol from library for datasource.

説明:実行に必要なライブラリが正常にロードできません。

対処:ライブラリファイルが破損している、もしくはバージョンが古い可能性があります。 正しくインストールされているか確認してください。

#2297 Cannot find csv.

説明:表オブジェクトの入力データとして指定された CSV ファイルが見つかりません。 対処:指定した CSV ファイルが存在するか確認してください。

- #2298 Cannot read csv.
 - 説明:表オブジェクトの入力データとして指定された CSV ファイルを読み込む権限があり ません。
 - 対処:ファイルのパーミッションを確認してください。
- #2299 Cannot connect database.
 説明:表オブジェクトの入力データとして指定されたデータベースに接続できません。
 対処:データベースが正しく指定されているか確認してください。

#2300 Cannot execute sql.
 説明: SQL をデータベースに発行した時点でエラーが発生しました。
 対処: SQL が正しいかどうか確認してください。

#2301 Invalid expression.

- 説明:表オブジェクトの計算機能で設定された計算式が正しくありません。
- 対処:数値でない項目が計算式の項目として指定されている可能性があります。計算式を 確認してください。

#2302 Less height for table object. 説明:表オブジェクトの定義領域が狭すぎて表オブジェクトを出力することができません。 対処:表オブジェクトのガイド線の間隔を調整してください。 #2308 Memory allocation failure.
 説明:RPX ファイル処理中にメモリの確保に失敗しました。
 対処:不要なアプリケーションを終了する等して、メモリを確保してください。

#2309 Cannot open RPX file.
 説明: RPX ファイルが開けません。
 対処: RPX ファイルの名前、存在、またはパーミッションを確認してください。

#2310 Cannot parse RPX file. 説明:RPX ファイルの解析中にエラーが発生しました。 対処:ファイルが破損している可能性がありますので、RPX ファイルを再度保存し直してく ださい。

#2323 Cannot load font file. [font] 説明:指定されたフォントファイルを正常に解析できません。PDF は出力されませんでした。

- #2324 No license to embed font. [font] 説明:指定されたフォントは PDF への埋め込みが許可されていません。PDF は出力されませんでした。 対処:フォントのライセンスを確認してください。
- #2326 Cannot make font object. [font]
 説明:指定されたフォントを PDF に埋め込めません。PDF は出力されませんでした。
- #2341 Invalid JobID value.
 説明:実行オプションで指定されたジョブ ID に使用できない文字が指定されました。

第3章 FormPrintStage WebClient

2-3-1. エラーコードについて

FormPrintStageWebのクライアント製品「WebClient」ランタイムの処理において警告やエラー が発生した場合、または操作が正しくない場合には、その内容毎にメッセージが表示されます。 本項では、WebClient ランタイム実行時のメッセージについて記述します。

WebClient ランタイムを実行すると、印刷コントロールのダイアログが起動して印刷状況が表示されます。印刷処理が終了した場合、ダイアログ内に処理コードとメッセージが表示されます。エラーが発生した場合、次項で説明するエラーコードが表示されます。

図:印刷ダイアログ(正常終了)

😻 [car] - クライアント印刷実行中		X
処理コード:U 処理は正常に終了しました。		
٠	F	
🔲 処理終了後、このダイアロヴ ボッウスを閉じる		
閉じる		

<u>図:印刷ダイアログ(エラー発生)</u>

😻 [car] - クライアント印刷実行中	Σ	3
20.7年一、ド・220.4		
印刷デーダのダウンロートミニ失敗しました。		
•	F.	
📃 処理終了後、このダイアログボックスを閉じる		
閉じる		

<u>2-3-2. エラーコード一覧</u>

印刷コントロールのメソッド「PrintExecuteEx」「PrintExecutePdf」「PreviewExecutePdf」(及 び「SyncPrintExecuteEx」「SyncPrintExecutePdf」「SyncPreviewExecutePdf」)の処理結果は、 各メソッドとも共通です。

以下にエラーコードの一覧と対処法、または詳細説明を記述します。

<< 注意 >>

以降で説明するエラーコードは、「FormPrintStage WebClient」の印刷ダイアログに表示さ れるエラーコードです。サーバーに導入する「FormPrintStageWeb」のエラーコードについ ては、サーバーがWindowsの場合「2-1-2 エラーコード一覧」、UNIX/Linuxの場合は「2-2-2 エラーコード一覧」をご覧ください。

正常レベル

0:処理は正常に終了しました。

警告レベル

1100

説明:印刷データ削除スクリプトにアクセスできませんでした。 DeletePrintingDataScriptUrl に不正な値が指定されているか、スクリプトへの要求 に失敗しています。

対処: プロパティ「DeletePrintingDataScriptUrl」で指定された URL が正しくないか、 サーバあるいはクライアントの設定に問題がないか確認してください。

1101

- 説明:印刷データ削除スクリプトにアクセスできませんでした。ステータスコード 「< 数値 >」が返されました。
- 対処: プロパティ「DeletePrintingDataScriptUrl」で指定されたスクリプトへアクセスし た時に、戻り値として返されたエラーコードがく数値 > に表示されています。エラー コードを元に、サーバの設定、あるいはスクリプトにエラーがないか確認してくだ さい。

1102

- 説明:ダウンロードした印刷データの削除に失敗しました。ディレクトリのアクセス権等 を確認してください。
- 対処: CCD ファイル保存フォルダで指定したディレクトリの権限を確認してください。

1400

- 説明:ダウンロードした CCD ファイルは保存できません。この帳票資源データは保存が 禁止されています。
- 対処:この帳票資源データは保存が禁止されています。サーバー側の FormPrintStagWeb ランタイムを実行したときのオプションを確認してください。

- 説明:クライアントランタイム処理中に警告「<クライアントランタイム処理結果>」が 返されました。詳細情報はマニュアルで確認してください。
- 対処:印刷処理時に警告が発生しました。<クライアントランタイム処理結果>は警告 コードで表示されるので、そのコードを元に原因を確認してください。

説明: Adobe Acrobat、Adobe Reader のプロセス終了に失敗しました。

対処: Adobe Acrobat、あるいは Adobe Reader のプロセスが残っているため、タスク マネージャから該当するプロセスを削除してください。

エラーレベル

2100

説明:メモリが不足しています。

対処:その他のアプリケーションを終了するなどして、メモリを確保してください。

2101

説明:「通常使用するプリンタ」を取得することができません。「通常使用するプリンタ」 の設定を行ってください。

対処: クライアント端末にプリンタがインストールされていない可能性があります。 プリンタの設定を確認してください。

2102

説明:処理は中断されました。

2103

説明:一時ファイルを保存するディレクトリの取得に失敗しました。

対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。CCD ファイル保存フォルダに 対するアカウントの権限等を確認してください。

2104

- 説明:印刷データ生成スクリプトにアクセスできません。ステータスコード「< 数値 >」が 返されました。
- 対処: プロパティ「CreatePrintingDataScriptUrl」で指定されたスクリプトへのアクセス 時に返されたステータスコードが < 数値 > に表示されています。ステータスコード を元にサーバの設定、あるいはスクリプトにエラーがないか確認してください。

2105

説明: Create!Form V10の導入ディレクトリを取得できませんでした。正常にインストール されていない可能性があります。

対処: Create!Form をアンインストールして、再度インストールしてください。

2106

- 説明:DLL ファイルを参照できませんでした。正常にインストールされていない可能性が あります。
- 対処: Create!Form をアンインストールして、再度インストールしてください。

2107

説明:関数「<関数名>」を参照できませんでした。正常にインストールされていない 可能性があります。

2108

説明:プリンタハンドルの取得に失敗しました。プリンタの設定等を確認してください。

対処: Create!Form をアンインストールして、再度インストールしてください。

説明:プリンタ情報の取得に失敗しました。プリンタの設定等を確認してください。

2111

説明: クライアント印刷の初期化に失敗しました。

対処: クライアントランタイムが正しくインストールされていない可能性があります。 Create!Formをアンインストールして、再度インストールしてください。

2112

説明:クライアント印刷の実行に失敗しました。

対処: クライアントランタイムが正しくインストールされていない可能性があります。 Create!Formをアンインストールして、再度インストールしてください。

2113

説明: 強制終了しました。処理結果を確認して下さい。

対処:処理進行ダイアログの「×」ボタンを押して終了した場合にこのエラーメッセージ が表示されます。

2114

説明:一時ファイルの作成に失敗しました。 対処:テンポラリフォルダが正しく設定されていることを確認してください。

2115

説明:一時ファイルの書き込みに失敗しました。 対処:テンポラリフォルダへの書き込みに関するアクセス権を確認してください。

2116

説明:一時ファイルの読み込みに失敗しました。 対処:テンポラリフォルダへのアクセス権を確認してください。

2117

説明:一時ファイルの読み込みに失敗しました。

対処:テンポラリフォルダへのアクセス権を確認してください。

2200

- 説明: URL でない文字列が指定されています。CreatePrintingDataScriptUrl プロパティの 設定値を確認してください。
- 対処: CreatePrintingDataScriptUrl に、URL でない値が代入されていないか確認してくだ さい。

2201

説明:不正なプロトコルが指定されています。本製品はHTTP、あるいはHTTPSのみ有効です。 対処:使用しているプロトコルが「HTTP」もしくは「HTTPS」か確認してください。

2202

説明:サーバへの接続に失敗しました。サーバの環境を確認してください。

説明:サーバスクリプトへの要求に失敗しました。

対処:サーバのスクリプトへ要求を発行することができませんでした。クライアントの ネットワーク環境を確認してください。

2204

説明:印刷データのダウンロードに失敗しました。

対処:クライアントのネットワーク環境を確認してください。

2205

説明: DataSendMethod プロパティに不正なメソッドが指定されています。 本製品は POST、GET のみ有効です。

対処:使用しているメソッドが「POST」もしくは「GET」か確認してください。

2206

説明:インターネットに接続できません。環境を確認してください。 対処:クライアントのネットワーク環境を確認してください。

2207

説明:アクセス設定情報の取得に失敗しました。 対処:クライアントのネットワーク環境を確認してください。

2208

説明:サーバへのアクセス設定に失敗しました。 対処:クライアントのネットワーク環境を確認してください。

2209

説明:HTTP レスポンスの取得に失敗しました。サーバの設定等を確認してください。

2210

説明:サーバスクリプトへの接続に失敗しました。 対処:クライアントのネットワーク環境を確認してください。

2211

説明:転送量の取得に失敗しました。サーバの設定等を確認してください。

2212

説明:制限以上の長さの URL が指定されています。CreatePrintingDataScriptUrl プロパティに設定できる URL の長さは、2048 バイトまでです。

対処:プロパティ「CreatePrintingDataScriptUrl」に設定した URL の長さを確認してくだ さい。

- 説明:デバイスコンテキストの取得に失敗しました。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を 確認してください。

説明:印刷処理が開始できませんでした。プリンタの設定等を確認してください。

2303

説明:印刷処理が実行できません。サーバで使用しているランタイムを確認してください。

2304

説明:印刷処理を終了できませんでした。プリンタの設定等を確認してください。

2307

説明:印刷処理の続行に失敗しました。プリンタの設定等を確認してください。

2308

説明:印刷処理の続行に失敗しました。プリンタの設定等を確認してください。

2310

説明:用紙の向きを設定することができませんでした。プリンタの設定等を確認してくだ さい。

2400

- 説明:印刷データ生成スクリプトへ送信する文字列の作成に失敗しました。 不正なスタイル名が指定されているか、または印刷情報が正常でない可能性があり ます。
- 対処:印刷実行時に指定した帳票名と Job ファイル名を確認してください。

2401

- 説明:ダウンロードした CCD ファイルにアクセスできません。ディレクトリのアクセス権 等を確認してください。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を確認 してください。

2402

- 説明:ダウンロードした CCD ファイルを読み込むことができません。ディレクトリの アクセス権等を確認してください。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を 確認してください。

2403

- 説明:ダウンロードした CCD ファイルを正常に閉じることができませんでした。 ディレクトリのアクセス権等を確認してください。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を 確認してください。

- 説明:ダウンロードした CCD ファイルのヘッダを読み込むことができません。 サーバに導入されているランタイムを確認してください。
- 対処:ダウンロードしたファイルが CCD ファイルではありませんでした。 サーバーで実行されたランタイム製品が「FormPrintStageWeb」か確認してください。

- 説明:ダウンロードした CCD ファイルは要求した帳票のものではありません。 サーバ管理者に問い合わせてください。
- 対処:印刷を実行した帳票名とダウンロードした CCD ファイルの帳票名が異なります。 印刷時の設定を確認してください。

2406

- 説明: CCD ファイル保存フォルダパスの取得に失敗しました。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を確認 してください。

2407

- 説明: CCD ファイルの保存に失敗しました。ディレクトリのアクセス権等を確認してください。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を確認 してください。

2408

- 説明: CCD ファイルのタイムスタンプを保存できません。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を確認 してください。

2409

- 説明:ダウンロードした CCD ファイルのヘッダが正しくありません。サーバに導入されて いるランタイムを確認してください。
- 対処:ダウンロードしたファイルが CCD ファイルではありませんでした。サーバーで 実行されたランタイム製品が「FormPrintStageWeb」か確認してください。

2410

- 説明:実行コマンドオプションの生成に失敗しました。
- 対処:アカウントの権限が制限されている可能性があります。アカウントの権限等を確認 してください。

2411

- 説明: クライアントランタイム処理中にエラー値「< クライアントランタイム処理結果 >」 が返されました。詳細情報はマニュアルで確認してください。
- 対処: FormPrintStageWeb Client が印刷処理中にエラーを返しました。FormPrintStageWeb のエラーコードから < クライアントランタイム処理結果 > を元に原因を確認してく ださい。

2412

説明: クライアントランタイムから不明な処理結果が返されました。 クライアントランタイムが印刷処理中にエラーを返す、あるいは異常終了した可能 性があります。

- 説明:FormPrintStageWeb ランタイムの実行権限がありません。
- 対処:サーバーに導入した FormPrintStageWeb ランタイムのライセンスパスワードを 確認してください。

2500 説明: Adobe Acrobat、Adobe Reader の情報を取得できませんでした。 対処: Adobe Acrobat、あるいは Adobe Reader を再インストールしてください。

2501

説明: Adobe Acrobat、Adobe Reader の情報を取得できませんでした。 対処: Adobe Acrobat、あるいは Adobe Reader を再インストールしてください。

2502

説明: Adobe Acrobat、Adobe Reader の起動に失敗しました。 対処: Adobe Acrobat、あるいは Adobe Reader が起動できませんでした。 正しくインストールをされているか確認してください。

2503

説明:印刷ジョブの監視に失敗しました。プリンタの設定等を確認してください。

2504

説明:印刷ジョブ情報の取得に失敗しました。プリンタの設定等を確認してください。

2505

説明:印刷ジョブへの送信に失敗しました。プリンタの設定等を確認してください。

- 説明:現在導入されている Adobe Acrobat、Adobe Reader のバージョンでは本製品は使用 できません。
- 対処:対応するバージョンの Adobe Acrobat、Adobe Reader を導入してください。

第4章 FormMagicfolder

2-4-1. エラーコードについて

FormMagicfolder においてエラーが発生した場合、エラーメッセージがログとして出力されます。

エラーメッセージには "WARN" と "ERROR" の2種類のエラーレベルがあります。

WARN

警告に該当するメッセージです。メッセージが出力されていても処理は継続されます。 ERROR

エラーに該当するメッセージです。対処方法の実施が必要になります。処理の継続が不可 能な場合、処理は中断されます。

ログファイルには、エラー以外のログも出力される正常系ログと、"ERROR"レベルのログとその詳細情報が出力される異常系ログの2種類があります。

正常系ログ

サービス稼働ログと監視フォルダログが該当します。 ログファイルの出力先やファイル名などの設定を、FormMagicfolder 設定から確認および変 更することができます。 その方法については「1-13-4. ログファイルの出力設定」をご覧ください。

異常系ログ

サービス稼働エラーログと監視フォルダエラーログが該当します。 通常ログと同じ出力先に出力されますが、ファイル名等は決まっており変更することはで きません。

サービス稼働エラーログファイル名:mf.exception.dump.log

監視フォルダエラーログファイル名:mf.folder_(監視フォルダ ID).exception.log また、出力しないように設定することはできません。

次項でエラーメッセージとその対処方法について記述します。

2-4-2. エラーコード一覧

■ WARN レベル

cannot read update message

意味:監視フォルダの更新に失敗しました。

説明 / 対応:FormMagicfolder サービスを実行するユーザに読み込み権限があることを確認 して下さい。

cfmf-logsetup.properties not found.

意味:プロパティファイル "cfmf-logsetup.properties" が存在しません。 説明 / 対応:プロパティファイルが存在しないため、ログの初期設定を使用します。 FormDesign マネージャのログ設定機能より、ログの設定を行って下さい。

cfmf-server.properties not found.

意味:プロパティファイル "cfmf-server.properties" が存在しません。 説明 / 対応:プロパティファイルが存在しないため、FormMagicfolder サービスの初期設定 を使用して起動します。

license not certified (working in 5 days for trial)
 意味:導入後5日間使用可能な試用ライセンスです。
 説明 / 対応:ライセンスパスワードが未設定のため、導入後5日を経過するとサービスが
 使用不可になります。弊社パスワードセンタよりライセンスパスワードを取得して設定を
 行って下さい。

other magicfolder process already exists.

意味:他のFormMagicfolder プロセスが既に存在します。

説明 / 対応:複数の FormMagicfolder サービスを起動することはできません。

unknown error action [(action)]

意味:監視フォルダのエラー処理設定が正しくありません。 説明/対応:監視フォルダの "エラー処理" を再度設定してください。

unknown schedule mode [(mode)] 意味:監視フォルダのスケジュール設定が正しくありません。 説明/対応:監視フォルダの "スケジュール設定" を再度設定してください。

unknown status [(statusName)] 意味:監視フォルダの状態が正しくありません。 説明 / 対応:監視フォルダは停止状態になります。監視フォルダを開始してください。

■ ERROR レベル

LICENSE invalid.

意味:ライセンスが無効です。

説明 / 対応:設定されているライセンスパスワードは正しくないか、ライセンスパスワードの有効期限が切れています。弊社パスワードセンタよりライセンスパスワードを取得し て設定を行って下さい。

cannot eval rule

意味:ルール(ファイル先頭行)の処理中にエラーが発生しました。 説明/対応:監視フォルダのルールの "ファイル先頭行からパラメータを取得"の設定が 正しいことを確認してください。また、入力データファイルの先頭行のデータが正しいこ とを確認してください。

cannot execute [(executable)] 意味:フィルタのプログラム実行時にエラーが発生しました。 説明/対応:フィルタのプログラム実行の実行コマンドを確認してください。

cannot load filter [(name)]

意味:FormMagicfolder の動作に必要なモジュールの読み込みに失敗しました。 説明 / 対応:FormMagicfolder 製品と OS の再起動を行ってください。それでもエラーが解 消されない場合はFormMagicfolder 製品の再インストールを行ってください。

cannot load initializer [(name)]

意味:FormMagicfolder の動作に必要なモジュールの読み込みに失敗しました。 説明 / 対応:FormMagicfolder 製品と OS の再起動を行ってください。それでもエラーが解 消されない場合はFormMagicfolder 製品の再インストールを行ってください。

cannot load module [(name)][(className)]

意味:FormMagicfolder の動作に必要なモジュールの読み込みに失敗しました。 説明/対応:FormMagicfolder 製品とOSの再起動を行ってください。それでもエラーが解 消されない場合はFormMagicfolder 製品の再インストールを行ってください。

cannot load notifier [(name)]

意味:FormMagicfolder の動作に必要なモジュールの読み込みに失敗しました。 説明 / 対応:FormMagicfolder 製品とOSの再起動を行ってください。それでもエラーが解 消されない場合はFormMagicfolder 製品の再インストールを行ってください。

cannot load site [(siteID)]

意味:監視フォルダ設定の読み込みに失敗しました。 説明 / 対応:FormMagicfolder 設定より、再度監視フォルダの設定行ってください。

cannot read file [(fileName)]

意味:入力データファイルの読み込みがタイムアウトしました。 説明 / 対応:監視フォルダへ投入した入力データファイルへの読み込み権限があること、 別のプログラムから参照されていないことを確認してください。
cannot write [(filename)] 意味:エラーファイルの書き込みに失敗しました。 説明 / 対応:監視フォルダの ″エラー処理″の ″エラーファイル生成″ で指定した ″出 カファイルパス ″への書き込み権限があることを確認してください。 error on [execute] 意味:実行時にエラーが発生しました。 説明 / 対応:監視フォルダの処理中にエラーが発生しました。監視フォルダの "エラー処 理"にて "監視を停止する"が有効になっている場合、監視フォルダは停止状態となりま す。 failed to load plugin [(name)] 意味:FormMagicfolder の動作に必要なモジュールの読み込みに失敗しました。 説明 / 対応:FormMagicfolder 製品と OS の再起動を行ってください。それでもエラーが解 消されない場合は FormMagicfolder 製品の再インストールを行ってください。 invalid storage.path [(pathname)]. 意味:ストレージパスが正しくありません。 説明 / 対応:ストレージパス(製品導入ディレクトリ /var/storage/01)が正しく存在し、 FormMagicfolder サービスを実行するユーザに書き込み権限があることを確認して下さ い。 module not found: [(name)][(className)]

意味:FormMagicfolder の動作に必要なモジュールの読み込みに失敗しました。 説明 / 対応:FormMagicfolder 製品とOSの再起動を行ってください。それでもエラーが 解消されない場合はFormMagicfolder 製品の再インストールを行ってください。

unidentified error.

意味:未定義のエラーです。 説明 / 対応:-

第5章 FormRemoteObject

2-5-1. エラーコードについて

FormRemoteObjectにおいてエラーが発生した場合、エラーメッセージがログとして出力されます。

エラーメッセージには "WARN" と "ERROR" の2種類のエラーレベルがあります。

WARN

警告に該当するメッセージです。メッセージが出力されていても処理は継続されます。 ERROR

エラーに該当するメッセージです。対処方法の実施が必要になります。処理の継続が不可 能な場合、処理は中断されます。

ログファイルには、エラー以外のログも出力される正常系ログと、 "ERROR"レベルのログとその詳細情報が出力される異常系ログの2種類があります。

正常系ログ

サービス稼働ログとアクセスログが該当します。 ログファイルの出力先やファイル名などの設定を、FormMagicfolder 設定から確認および変 更することができます。 その方法については「1-13-4. ログファイルの出力設定」をご覧ください。

異常系ログ

サービス稼働エラーログが該当します。

通常ログと同じ出力先に出力されますが、ファイル名等は決まっており変更することはできません。

ro.exception.dump.log

また、出力しないように設定することはできません。

次項でエラーメッセージとその対処方法について記述します。

<u>2-5-2. エラーコード一覧</u>

■ WARN レベル

cfro-logsetup.properties not found. 意味: プロパティファイル "cfro-logsetup.properties" が存在しません。 説明 / 対応:プロパティファイルが存在しないため、ログの初期設定を使用します。 FormDesign マネージャのログ設定機能より、設定を行って下さい。 cfro-server.properties not found. 意味: プロパティファイル "cfro-server.properties" が存在しません。 説明 / 対応:プロパティファイルが存在しないため、FormRemoteObject サービスの初期設 定を使用して起動します。 denied request from (ipAddress) 意味:リクエストは拒否されました。 説明 / 対応:forbidden access: (resourceName) .id is not overridable [(resourceId)] 意味:リソースの上書きは禁止されています。 説明 / 対応:forbidden access: access denied. 意味:リソースへのアクセスは拒否されました。 説明 / 対応:forbidden access: job.id is not overridable [(job.id)] 意味:ジョブの上書きは禁止されています。 説明 / 対応:ジョブの上書きを許可するためには、プロパティファイル "cfro-server. properties "で "job.id.overridable = true"を設定してください。 license not certified (working in 5 days for trial) 意味:導入後5日間使用可能な試用ライセンスです。 説明 / 対応:ライセンスパスワードが未設定のため、導入後5日を経過するとサービスが 使用不可になります。弊社パスワードセンタよりライセンスパスワードを取得して設定を 行って下さい。

other cfro process already exists. 意味:他のFormRemoteObject プロセスが既に存在します。 説明 / 対応:複数のFormRemoteObject サービスを起動することはできません。

■ ERROR レベル

LICENSE invalid.

意味:ライセンスが無効です。

説明 / 対応:設定されているライセンスパスワードは正しくないか、ライセンスパスワードの有効期限が切れています。弊社パスワードセンタよりライセンスパスワードを取得して設定を行って下さい。

invalid port number [(port)]

意味:ポート番号が正しくありません。 説明/対応:プロパティファイル "cfro-server.properties" の "port" の設定を確認し てください。

invalid storage.path [(pathname)].

意味:ストレージパスが正しくありません。 説明/対応:ストレージパス(製品導入ディレクトリ/var/storage/01)が正しく存在し、 FormRemoteObjectサービスを実行するユーザに書き込み権限があることを確認して下さい。

request failed.

意味:クライアントからのリクエスト処理に失敗しました。 説明/対応:FormRemoteObject クライアントが正しく動作しているか確認してください。

unidentified error.

意味:未定義のエラーです。 説明/対応:-

第 3 部 制限事項

- 【1. ランタイム製品 共通 】
 - ■作業ディレクトリ名 「¥/,;:*?"<>|」の文字やスペースを含めることはできません。
 - ■帳票資源ファイル名長

260 バイト ※作業ディレクトリのパス長+各資源ファイル名長

■ 2 バイト文字の制限

以下のディレクトリパスに2バイト文字が含まれる場合、出力結果は保障されません。ディレクトリ名、ファイル名は半角英数字を使用してください。

- ・作業ディレクトリ名 (UNIX / Linux)
- データファイル名(パスも含む)
- ・画像ファイル名(パスも含む)
- ・PDF ファイル名(パスも含む)
- ・出力ファイル名
- ●作業ディレクトリのアクセス権限について データソースの形式がDBの場合、ランタイム実行時に指定した作業ディレクトリ(直下、 datamap、style)内にランタイム処理で使用する中間ファイルを作成するため、作業ディレ クトリに対して書き込み可能なユーザ権限が必要です。
- Java API の対応 JDK/JRE バージョン Java SE 5 以上を使用してください。

■データ編集

元号設定ファイル
元号設定できる上限数:100
文字コード:SJIS
改行コード:CRLF
元号 (漢字) の最大文字数:5 文字
※開始日が 1989 年 1 月 9 日より前の日付は設定できません
※元号(漢字)または開始日に同じデータは使用できません

- 【2. ランタイム製品 FormCast / FormCollect 】
 - ■出力する PDF バージョン

通常は「1.3」。ただし以下に該当するときは「1.4」となります。

- 128bit セキュリティを使用した場合。
- ・FormCollectにおいて PDF フォーム (フィールドオブジェクト)を使用した場合。
- Form ファイル名の制限「#」

[#] と数字が連続して含まれていると、PDF ファイルが正しく生成されません。 ※ #001. fmd 等

■オブジェクトの重ね合わせ

バーコードオブジェクト、バーコード変数オブジェクト、2Dコード変数オブジェクト(ニ 次元コード変数)は、必ず固定オブジェクト(直線、四角形、楕円など)の上に描画されます。 ※ Form エディタでの重ね合わせ順は有効になりません。 ■オブジェクト制限

・フィールドオブジェクトは利用できません。(FormCast)

・イメージオブジェクト、イメージ変数オブジェクトにおいて、EPS ファイル(画像ファイル)
 は利用できません。

■ PDF 出力時の印刷設定

FormCast や FormCollect を実行するときに、帳票資源ファイルや実行オプションで「拡大 / 縮小」や「Nup 印刷」等の印刷設定を行っても、出力した PDF ファイルに設定は反映され ません。

■ JIS X 0213:2004 (JIS2004) 文字の扱い テキストフィールドの「初期値」に JIS2004 文字を使用することはできません。 また、テキストフィールドに設定する JavaScript 内で JIS2004 文字を使用することはでき ません。

- 【3. ランタイム製品 FormPrintStage 】
 - OSの解像度の制限
 OSの解像度は、通常のサイズ (96dpi)を使用してください。

※ディスプレイの画面解像度とは異なります。

■固定オブジェトと変数オブジェクトの出力位置の差異 固定オブジェクトは、上記 0S の解像度(96dpi)で描画しているのに対し、変数オブジェクトは、出力先プリンタの解像度を使用して描画します。そのため、固定オブジェクトと変数オブジェクトの出力位置がずれることがあります。

■フォントサイズの制限 フォントサイズ「1pt」以下の値が指定された場合、1ptとして描画します。

■流し込み、自動改行の制限

プロポーショナルな TrueType フォントを選択した場合は、正しく自動改行、流し込みが行われません。※文字列の折り返し位置が領域に満たないことがあります。

■オブジェクト制限

- ・マーク変数オブジェクトは利用することができません。
- ・サブフォームオブジェクトは利用することができません。
- リンク変数オブジェクトは利用することができません。
- フィールドオブジェクトは利用することができません。
- ・イメージ、イメージ変数オブジェクトにおいて、EPS ファイル(画像ファイル)は
 利用することができません。
- ・固定 PDF オブジェクト /PDF 変数オブジェクトは利用することができません。

■機能制限

- 以下の機能を利用することができません。
 - ・Nup 印刷
 - ・排紙トレイ

【4. ランタイム製品 - FormPrint - 】 ■出力する PostScript ファイルのレベル Level2

■機能制限

リソースプロパティ変更機能は利用することができません。

- ■オブジェクト制限
 - ・リンク変数オブジェクトは利用することができません。
 - フィールドオブジェクトは利用することができません。
 - ・固定 PDF オブジェクト /PDF 変数オブジェクトは利用することができません。
- JIS X 0213:2004 (JIS2004) 文字の扱い 不可

【5. Web クライアント印刷】

■対象ブラウザ

Internet Explorer 5 以上

- ■セキュリティ印刷
 - クライアント端末:Windows XP、Windows Vista 対象ブラウザ:InternetExplorer 6 以上 その他:ActiveX モジュールのインストールと実行権限が必要です。
- ※ PDF 表示印刷、PDF 非表示印刷を行う場合、クライアント端末に Adobe Reader 6 以上が 必要です。

[6. Magicfolder]

・監視フォルダに投入したデータファイルのパス長さ 260 バイト ※[監視フォルダのパス長]+[データファイル名長]

[7. RemoteObject]

- ・ストレージに保存期間を指定して蓄積するジョブ数の上限
 月間 20000 ジョブ
- 【8. 入力データ】
 - 1行の最大データサイズ 30,720バイト
 - CSV データ 1 項目の最大データサイズ 10, 240 バイト
 - XML データ1タグ内の最大データサイズ 10,240 バイト

■改行コード

- •Windows : CRLF
- UNIX / Linux : LF

※対応しない改行コードでの実行は保証しておりません。 ※データの末尾には改行コードが必要です。

■ヌル文字

入力データにヌル文字(0x00)が含まれている場合、ヌル文字を削除した状態を入力データとして扱います。

■ CSV データソースを使用するときの注意事項 CSV の項目内に改行を含めることはできません。

■ XML データソースを使用するときの注意事項 次のコードは「数値文字参照」で使用することはできません。(10 進数表示) 「�」~「」、「」~「」~「」、「�」~「�」

エスケープ文字は、次の「エンティティ参照による表記」で出力することができます。

"	(ダブルクォーテーション:半角)	:	"
,	(シングルクォーテーション:半角)	:	'
<	(右大なり:半角)	:	<
>	(左大なり:半角)	:	>
&	(アンパーサント:半角)	:	&

■ DB データソース

・対応 DB Windows: ODBC 接続が可能な DB、Oracle 11g UNIX/Linux: Oracle 11g

※バイナリデータは扱うことができません。
※改行データはスペースに置換されます。

■文字コード

Windows
CSV/TXT : SJIS、UTF-8、UTF-16(リトルエンディアン、BOM あり/なし)
DB : (ODBC) SJIS、(Oracle) SJIS
XML : SJIS、UTF-8、UTF-16
UNIX / Linux
CSV/TXT : SJIS、EUC、UTF-8、UTF-16(リトルエンディアン、BOM あり/なし)
DB : (Oracle) SJIS、EUC
XML : UTF-8、UTF-16

■対応言語

日本語、中国語簡体文字、中国語繁体文字、韓国語、 英語、フランス語、ドイツ語、タイ語

■ JIS X 0213:2004 (JIS2004)
 以下の条件を満たす場合、JIS X 0213:2004 (JIS 第1水準漢字、JIS 第2水準漢字、JIS 第3水準漢字、JIS 第4水準漢字を含む文字集合)を出力することができます。

- ・ランタイム種別:FormCast / FormCollect / FormPrintStage
- ・入力データ形式:CSV / TXT / XML
- ・入力データの文字コード: UTF-16 のリトルエンディアン / UTF-8
- 対象オブジェクト:テキスト変数オブジェクト、表オブジェクト内のセル、 テキストフィールドオブジェクト(FormCollect)
- ※テキストフィールドオブジェクトで JIS2004 文字を使用する場合は、制限事項「ランタ イム製品 - FormCast / FormCollect - 」の「JIS X 0213:2004 (JIS2004) 文字の扱い」 をご覧ください。
- ※ FormPrint 製品では、以下の文字集合のみ出力することができます。
 - ·JIS 第1水準漢字
 - JIS 第 2 水準漢字
 - ・拡張文字(IBM 拡張文字・NEC 特殊文字・NEC 選定 IBM 拡張文字)
- ■多国語(日本語、英語以外)出力
 - ・対応ランタイム FormCast、FormCollect、PrintStage、PrintStageWeb/WebClient
 - << 注意 >>

FormCast/FormCollect で多国語を出力する場合は必ず埋め込みフォントを指定する必要 があります。

- ・対象オブジェクト
 テキスト変数オブジェクト、表オブジェクト内のセル
- << 注意 >> 固定テキストオブジェクトに多国語(日本語、英語以外)を出力することはできません。
- 入力データの形式
 CSV / TXT / XML
- ・入力データの文字コード UTF-8 / UTF-16(LE)
- 【9. フォントと外字】
 - ■利用可能なフォント種別
 - ・FormCast、FormCollect:TrueType フォント
 - ・FormPrint:PostScript フォント
 - FormPrintStage: TrueType フォント、TrueType アウトラインの OpenType フォント
 ※適さないフォントを指定した場合、各ランタイム製品が自動的にフォントを代替して
 出力します。
 - PDF のフォント埋め込み
 - 対応ランタイム
 FormCast、FormCollect

 ・埋め込み可能なフォントの種類 TrueType フォント (TTF ファイル) TrueType フォントのコレクションファイル (TTC ファイル) アウトラインが TrueType 形式の OpenType フォント (TTF ファイル)
 ・フォントが埋め込み可能なオブジェクト テキスト変数オブジェクト、固定テキストオブジェクト、表オブジェクト内のテキスト、 グラフ変数オブジェクト、ページ変数オブジェクト、日付変数オブジェクト、リンク変数 オブジェクト
 ・フォントマネージャで登録できるフォント数 25

1 つの PDF ファイルに埋め込み可能な最大フォント数
 25

・制御文字の扱い 埋め込むフォントで表示するデータに制御文字(0x00 ~ 0x1f)を指定した場合、警告が発 生し全角スペースに置換して表示します。

■外字

・フォントファイル

EUDC. TTE (Windows 標準の外字エディタで作成した外字フォントファイル)

- ・外字対象領域及び登録可能文字数
 Shift-JIS : 1880 文字 (0xF040 ~ 0xF9FC)
 EUC : 940 文字 (0xF5A1 ~ 0xFEFE)
 UTF-8 : 6400 文字 (0xEE8080 ~ 0xEFA3BF)
 UTF-16 : 6400 文字 (0xE000 ~ 0xF8FF)
 ・外字同時使用数
- Shift-JIS : 1880 文字

 EUC : 940 文字

 UTF-8 : 6400 文字 (FormPrint のみ 1880 文字)

 UTF-16 : 6400 文字 (FormPrint のみ 1880 文字)

 ・外字使用可能オブジェクト

 FormCast/FormCollect : テキスト変数オブジェクト、表オブジェクト

FormCast/FormCollect: テキスト変数オフシェクト、表オフシェクト FormPrint: テキスト変数オブジェクト、表オブジェクト FormPrintStage: テキスト変数オブジェクト、テキストオブジェクト、表オブジェクト

※ FormPrint でテキストオブジェクトに外字を使用する場合は、弊社サポートまで お問い合わせください。

【10. インポート】

- PDF インポート
 - ・変換対象外の PDF ファイル
 - セキュリティが設定された PDF ファイル
 - テキストがアウトライン化されており文字列としての情報が PDF に含まれない場合、テキストを Form ファイルに取り込むことはできません。

- ・対象バージョン
 - 97、2000、XP、2003

※バージョン 2007 以降の Excel で保存したファイルは、旧形式で再保存後に変換してく ださい。 ・最大変換オブジェクト数 3000 対象外オブジェクト グラフ、図、数式、マクロ、コントロール、図形描画、ヘッダ、フッタ ・ページサイズ 指定した1ページ内に含まれる内容のみ変換します。 ※印刷範囲設定には対応していません。 ■ Word インポート ・対象バージョン 2000 SR-1, XP, 2003 ※バージョン 2007 以降の Word で保存したファイルは、旧形式で再保存後に変換してくだ さい。 対象外オブジェクト グラフ、図、数式、マクロ、図形描画、ヘッダ、フッタ ※対象外のオブジェクトがある場合、スキップして変換します。 ・ページサイズ 指定した1ページ内に含まれる内容のみ変換します。 拡大縮小印刷及び印刷範囲設定には対応していません。

【11. 画像】

- ■対応フォーマット
 - ・BMP ファイル

色数:

1 ビット モノクロ 8 ビット 256 色 RGB インデックスカラー 24 ビット RGB フルカラー 圧縮: 非圧縮

・TIFF ファイル

色数:

- 1ビット モノクロ
- 4 ビット 16 色 RGB インデックスカラー、グレースケール 8 ビット 256 色 RGB インデックスカラー、グレースケール 24 ビット RGB フルカラー

圧縮:

非圧縮、FAX G3、FAX G4、PackBits、LZW

JPEG ファイル
 色数:
 24 ビット RGB フルカラー
 符号化方式:
 ベースライン

・EPS ファイル (FormPrint 製品のみ) Adobe Illustrator バージョン7以上 色数: 2 色、256 色

※透過画像は使用することができません。

- 【12. 帳票種別】
 - ■帳票種別とデータソース形式の組み合わせ制限
 - "マルチフォーム / シングルデータ"では、DB データソースを使用することができません。
 "標準帳票 / マルチデータ"、"マルチフォーム / マルチデータ"では、XML データソースを使用することができません。
 - マルチデータソース形式では、XML データソースと他の形式のデータソースと混在させる ことができません。
- 【13. PDF ビューア】

FormCast 製品、FormCollect 製品で出力した PDF を「Adobe Acrobat」及び「Adobe Reader」 で表示したときの動作について確認している内容は、弊社サポートサイトの「ドキュメント」 で公開されている資料 ″「Adobe Acrobat」での動作について ″ をご覧ください。

- 【14. PDF オブジェクト】
 - ■対応ランタイム FormCast、FormCollect
 - ■取り込み対象のページ数 1 つの PDF オブジェクトにつき PDF の1ページ
 - ■取り込めない PDF ファイル セキュリティが設定された PDF ファイル
 - ■取り込まれない情報
 - ・フィールドフィールド(テキストフィールドやコンボボックスフィールドなどの入力可能 領域、ボタン、電子署名フィールドなど)
 - ・マルチメディアファイル (PDF に埋め込まれた Flash ファイルやサウンドファイルなど)
 - ・注釈(テキストがポップアップウィンドウとして開くテキスト注釈など)
 - ・ページのアクション(指定されたページに登録されたアクション「ページを開く」「ページを閉じる」際に実行されるアクション)
 - ・PDF 文書のアクション(「文書を閉じる」「文書を保存する」などの文書レベルの操作を行った際に実行されるアクション)

■取り込み最大 PDF ファイル数 999

■最大ページ番号

9999

- PDF ファイル名の制限
 - ・PDF ファイルの絶対パス長:256 バイト
 - ・絶対パスに2バイト文字を含めることはできません。
 - ・固定 PDF オブジェクトで使用する PDF ファイル名に半角スペースを含めることはできません。
- 【15. PDF フォーム】
 - ■フィールドオブジェクト対応ランタイム FormCollect のみ

オブジェクト設定に関する制限

- ■一般
 - ・設定可能数
 変数オブジェクトを含めて最大 999 個
 - ・オブジェクト名 最大 32 バイト。先頭の文字 [A-Z, 0-9] 以降の文字 [A-Z, 0-9, _, -, #]
 - ・記述
 - 最大 20 バイト
 - ・ツールチップ
 - 最大 99 文字
- ■表示
 - ・フォントサイズ 2.0 ~ 300.0
- ■テキストフィールドオプション
 - 初期値 最大 9,999 文字
 最大文字数 最大 32,000 文字
 - マス目区切り
 最大 999 文字
- ■コンボボックス / リストボックスオプション
 - ・登録項目数 最大 256 項目
 - ・項目名
 - 最大 9.999 バイト
 - ・書き出し値
 - 最大 9,999 バイト
 - [CSV インポート]-[区切り文字 / 制御文字]
 半角英数字および半角記号(ASCII 0x21 ~ 0x3F)
- ■ラジオボタン / チェックボックス
 ・書き出し値
 最大 9, 999 バイト

- リセットフォームボタン
 ・表示するラベル
 最大 99 文字
- ■サブミットフォームボタン
 - ・表示するラベル 最大 99 文字
 ・送信先 URL 最大 9,999 バイト

■検証

- ・値の検証 最小値 / 最大値

■計算

・固定値

-9, 999, 999, 999, 999, 999 **~** 9, 999, 999, 999, 999, 999

- ■同種同名のフィールドオブジェクト
 - 1 つの PDF ファイルが複数のページから構成されている場合、同名同種のフィールドオブ ジェクトが存在すると同一のオブジェクトとみなすため全て同一値が表示されます。

JavaScript に関する制限

■共通

- ・コードサイズ 最大 30,000 バイト
 ・コメント 最大 255 バイト
 ・ JavaScript 関数 関数名の最大長: 255 バイト
 関数名に使用可能な文字:先頭は [A-Z, a-z, _]。以降の文字は [A-Z, a-z, 0-9, _] 登録最大数: 99 個
- ■帳票種別「セット帳票」「マルチフォーム」利用時の関数名の制限 複数のForm ファイルで同一の JavaScript 関数名が定義されている場合には、正常に動作 しない可能性があります。

■カスタム JavaScript の実行タイミング

以下のカスタム JavaScript の実行結果は、PDF ファイルの出力時には反映されません。 ビューアアプリケーションで PDF ファイルの閲覧時に動作します。

- ・アクション(フィールド・ページ)
- ・フォーマット(書式・キーストローク)
- ・検証
- 計算
- 署名後の動作
- 選択の変更
- JavaScript 関数

アクションに関する制限

- ■登録アクション数 1トリガにつき10アクションまで登録可能
- ■フィールドの表示 / 非表示 最大 128 フィールドまで選択可能(※[切り替え]設定の場合のみ)

数値フォーマットに関する制限

■フィールドオブジェクトに表示する数値の桁数制限 数値フォーマットが設定されているテキストフィールド、コンボボックスフィールドにデー タマッピングが行われている場合には、小数部を含む実数部が15桁以上のデータを扱うこ とができません。 ただし、これは Create!FormCollect から出力される際の制限であり、出力後のPDF ファイ ルをビューアアプリケーション上で入力する場合にはこの制限はありません。

【16. PDF セキュリティ】

- ■パスワード最大長 半角英数字 32 文字(マスタパスワード/ユーザパスワード)
- 【17. 表オブジェクト】
 - ■対応データソース CSV 形式、DB 形式
 - ■表オブジェクトが利用可能な帳票種別 標準帳票(シングルデータ、マルチデータ)、マルチフォーム(マルチデータ)
 - ■表オブジェクト定義上の制限
 - 定義可能列数:50
 - 1 ブロックの最大行数:10
 - ・表オブジェクト内の最大キー項目:10
 - ・セルに表示可能な固定テキスト長: 10240 バイト

※1つの Form ファイル内で、行の高さが異なる明細を定義することはできません。
※複数の表オブジェクトを横に並べて配置することはできません。
※表連携機能は、Form ファイル上の一番上に配置した表オブジェクトを対象とします。

- ■集計機能による桁数の制限
 - ・最大桁数
 - 整数部分と小数部分合わせて15桁まで。
 - ※集計の処理過程において、扱う値がこの範囲を超える場合、整数部分が16桁以上になる とその集計処理は中止されます。
 - ※整数部分と小数部分を合わせて 16 桁を超える場合は、全体が 15 桁に収まるように小数 部分が四捨五入されます。
- ■1つのFormファイルに対する表オブジェクトの制限
 - 最大定義数:15

■表オブジェクトをマッピングする Datamap ファイル

・1 つの表オブジェクトに対して複数の Datamap ファイルを定義することはできません。

■明細の可変方向

・縦方向のみ。横方向への可変表には対応していません。

- 【18. グラフ変数オブジェクト】
 - ■表示可能文字数の制限
 - ・凡例の文字列の最大長:49 バイト
 - ・ラベルの文字列の最大長:49バイト
 - ■入力データソースとしてデータベースを使用するときの制限
 - ・グラフ種別 [矢印グラフ]は使用することができません。
 - ・「標準値」機能を使用することができません。
 - ・色分け上の制限:20 色
- 【19. リンク変数オブジェクト】
 - ■表示可能な文字

リンク先として指定できる URL やファイルパスで使用できる文字は ASCII のみです。全角 文字等は使用できません。

【20. サブフォームオブジェクト】

■対応ランタイム FormCast、FormCollect、FormPrint

- フォームタイプのサブフォーム
 変数オブジェクトや固定イメージオブジェクトが定義されていても、それらのオブジェク
 トは埋め込まれません。
- ■サブフォームの最大数・最大階層レベル 任意(255程度を推奨)

■サブフォームの保存形式 同一ディレクトリ内で異なる保存形式のHSTファイル同士から共有はできません。 あるサブフォームを同一ディレクトリ内で定義形式HST、辞書形式HSTのフォームから参照 している場合、サブフォームの保存形式は後から変換された形式になります。

■ EPS 形式のサブフォーム

 FormCast/FormCollect 用の EPS タイプのサブフォーム 対応フォーマット(※ Adobe Acrobat Distiller 4.0以上の製品が必要です。) Adobe Illustrator 7・8・9・10で作成される EPS ファイル Windows BMP ファイル(非圧縮) TIFF ファイル(非圧縮) JPEG ファイル FormPrint 用の EPS タイプのサブフォーム 対応フォーマット
 Adobe Illustrator 88 フォーマット EPS ファイル
 色数
 2 色 / 256 色

- FormCast/FormCollect 用の EPS タイプのサブフォーム Adobe Illustrator 7・8・9・10 で作成される EPS ファイル ※ Adobe Acrobat Distiller 4.0以上の製品が必要です。
- FormPrint 用の EPS タイプのサブフォーム

 ・EPS 画像フォーマット
 フォーマット: Adobe Illustrator 88 フォーマット EPS ファイル
 色数:2 色 / 256 色
- 【21. バーコードオブジェクト】
 - ■回転の設定 90、180、270、360度の角度以外で回転させることができません。
 - ■製品付属の 0CR-B フォント 規格「サブセット 2」と「:;¥_」のみ表示可能です。
- 【22. 動的オブジェクト機能】
 - ■対応データソース CSV 形式、XML 形式、DB 形式 ※ TXT 形式のデータソースでは利用することができません。
 - ■リンク先テキスト変数の制限 以下の設定がされているテキスト変数オブジェクトを指定することはできません。 流し込み / 自動改行が設定されている ヘッダマッピングしたテキスト変数オブジェクト
- 【23. リソースプロパティ変更機能】
 - 対応ランタイム
 FormCast、FormCollect、FormPrintStage
 - ・設定可能なオブジェクト
 テキスト変数オブジェクトのみ
 ※表連携が設定されたテキスト変数は非対応です。

【24. Form エディタ】

※各ダイアログの制限値については、ダイアログごとの入力制限に従ってください。

Form ファイル名長
 78 バイト ※拡張子を含む

■ Form ファイル名の制限 「#」と数字が連続して含まれていると、PDF ファイルが正しく出力できません。 ※ #001. fmd 等

- ■フォームオブジェクト最大数 任意(3000 程度を推奨)
- ■変数オブジェクトの最大数
 999
 ※変数の最大数が "999" を超えた場合、警告メッセージが表示されます。
 動的オブジェクトは、その1 グループが1つの変数として扱われます。
- ■テキスト変数の改行指定文字 指定可能文字:1文字(※)
 ※半角文字、全角文字、アスキー制御コード:0x01~0x1F、0x7F (0x0A、0x0C、0x0D、0x1Aは除く)

16 文字まで指定可能。

- ■テキストオブジェクトの最大サイズ 任意(10KB 程度を推奨)
- ■オブジェクトの回転の制限 以下のオブジェクトは回転を設定することができません。

イメージオブジェクト、PDF オブジェクト、リンク変数オブジェクト、2 次元コード変数 オブジェクト、イメージ変数オブジェクト、グラフ変数オブジェクト、表オブジェクト、 PDF 変数オブジェクト、PDF フォームオブジェクト

■四角形・罫線オブジェクトの丸コーナー

丸コーナーの半径の設定値が、定義領域の高さ・幅の半分の値より大きい場合、正しく描 画されません。

- ■テンプレート 対応フォーマット:Windows ビットマップファイル(拡張子:bmp) 解像度:任意(200dpi 程度を推奨)
- フリーサイズ最大値 3527mm × 3527mm

■表示フォントと印刷フォントの違いについて

Windows 上では論理フォントはどのようなサイズのフォントも表示可能ですが、物理的には 比較的論理フォントに近いフォントが選ばれます。PostScript 対応プリンタと画面の解像 度の違いも含めて表示フォントと印刷フォントのサイズは完全に一致しません。そのため、 詳細な部分のデザインについてはテスト印刷で確認してください。

■縦書きフォントの表示と印刷の違い 縦書きフォントで半角文字を使用した場合、表示と印刷において向きが異なります。 Window表示では半角文字は文章の方向に対して直角に表示されますが、PostScript対応プ リンタでは、半角文字も全角文字と同様の向きで出力されます。 ■同名変数の禁止

同名の変数オブジェクトを定義すると、保存時に警告が出力されます。ただし、フィール ドオブジェクトは、同名変数を利用できます。(ラジオボタンのグループ化など)

■カラーパレット 最大 256 色

■色の条件

- ・最大設定数:2個
- ・判定値
- 文字列:64 バイト
- 数值:15 桁

■テキスト変数オブジェクトの余白の設定 「流し込み」を行ったテキスト変数オブジェクトに余白を設定したとき、上側のみ有効になります。

■データ編集

- ・フリーフォーマット最大文字列長 データ編集ダイアログ:1024 バイト dff ファイル:3072 バイト
- ・dff ファイルのファイル名:半角英数字のみ
- ・dff ファイルの文字コード:SJIS
- ・データ編集コマンド [ext] の制限
 他のデータ編集コマンドとの併用はできません。
 1つのデータ編集に対して複数使用はできません。
 dff ファイル内での使用はできません。

【25. Datamap エディタ】

※各ダイアログの制限値については、ダイアログごとの入力制限に従ってください。

Datamap ファイル名長
 128 バイト ※拡張子を含む

■ Datamap エディタ (CSV、TXT)

- ・変数オブジェクトの最大数:999
- マッピング表示上の最大行数:999
- マッピング表示上の最大桁数:5120
- マッピング表示上の最大項目数:256
- CSV マッピング範囲
 最大行数:999

 - 最大桁数:9999(推奨:2000桁以下)
- 最大項目数:9999(推奨:150項目以下)
- ヘッダマッピング最大行数:999
- 総マッピング行数:上記制限値内であっても、以下の制限があります。
 - 総マッピング行数 <= 99999
 - ※総マッピング行数:(変数の数×各変数のマッピング行数)+(動的オブジェクトの 数×各動的オブジェクトのリンク先変数のマッピング行数)

TXT マッピング範囲
 最大行数:任意(推奨:999行以下)
 最大桁数:任意(推奨:2000桁以下)

※上記最大値付近の項目に対してマッピングの設定を行う場合、OS種別によってはデータ が正しく表示されないことがありますが、マッピング操作は行うことができます。 また、データマップ上の表示制限は、以下の通りです。表示制限を越えてマッピングを 行う場合は、パラメータバーを利用してマッピングを行ってください。

CSV 区切り文字・制御文字:

アスキーコード 0x09(タブ文字)、0x21 ~ 0x3F(半角数字および半角記号) ※タブ文字を設定する場合は、¥t と設定してください。タブ文字の直接入力と、アス キーコードの入力では設定できません。

・ 改ページ文字:任意の半角英数字及び半角記号(アスキーコード 0x21 ~ 0x7F)

ヘッダマッピング
 対応データソース:CSV形式、XML形式
 ヘッダマッピング表示上の最大行数:999

- 非対応オブジェクト:グラフ変数オブジェクト、表オブジェクト
- ・CSV データマップにおける集計出力機能 データソースが CSV 形式でのみ利用可能 有効桁数:最大 15 桁、小数点以下は 6 桁まで有効。 ※有効桁を超える場合、正確な集計値が出力されない場合があります。
- ・サンプルのデータファイルとして、UTF-8 と UTF-16 の文字コードを利用したファイルは 使用することができません。
- Datamap エディタ (DB)
 - ・データベース: ODBC ドライバ対応のデータベース、または、Oracle 11g
 - ・データベースから参照可能な項目数:255 カラム
 - ・定義可能なフォーム変数の最大数:255
 - ・データベース1項目の最大文字長:9999 文字
 - ・SQL 文の最大文字数:9999 文字
 - ・固定文字出力機能での最大文字列長:999 文字
 - ・ページ内行数:997行
 - キーブレイク数:10 個
 - ・総マッピング行数:上記制限値内であっても、以下の制限があります。
 総マッピング行数 <= 99999
 ※総マッピング行数:(変数の数×ページ行数)+(キーブレイク[罫線]×ページ行数)

【26. Rpx エディタ】

※各ダイアログの制限値については、ダイアログごとの入力制限に従ってください。

【27. Text エディタ】

※各ダイアログの制限値については、ダイアログごとの入力制限に従ってください。

Rpx ファイル名 128 バイト

- ■対応文字コード
 SJIS、UTF-8、UTF-16
 ※ UTF-8 の場合はシグネチャ無し、UTF-16 の場合 BOM 無しでは正常に表示されません。
- ■編集可能ファイル
 - ・テキストデータファイル TXT、CSV、XML、DOC、DAT、LOG、BAK ※バイナリファイルは開くことができません。
 - ・編集可能なファイルサイズ
 2,097,150 バイト以下 (UTF-16)
 ※ SJIS、UTF-8 につきましては、UTF-16 に変換した場合のファイルの大きさをご確認下さい。

【28. Design マネージャ】

※各ダイアログの制限値については、ダイアログごとの入力制限に従ってください。

 Job ファイル名長 78 バイト ※拡張子を含む

- Job ファイルの帳票名 256 バイト
- Job ファイルの記述 256 バイト
- ジョブユニット最大登録数
 50
- ■セット帳票でのジョブユニット最大登録数 50
- ジョブユニットに登録可能な Datamap ファイルの最大数
 ・標準帳票 / シングルデータ、マルチフォーム / シングルデータ、セット帳票
 1
 - ・標準帳票 / マルチデータ、マルチフォーム / マルチデータ 15
- ■印刷設定

ジョブユニット設定ダイアログで設定する以下の項目はFormPrint、FormPrintStageのみで有効です。

- ・トレイ
- ·両面印刷
- ・印刷数/頁(FormPrintのみ)
- ・拡大 / 縮小
- ・位置
- ・印刷詳細

■バックアップ

編集中の帳票資源ファイルはバックアップされません。 バックアップ先として作業ディレクトリを指定することができません。

■お気に入り登録リスト

- ・登録名:256 バイト
- ・以下の作業ディレクトリを登録することはできません。
 既に登録済みの作業ディレクトリ
 作業ディレクトリ以外のディレクトリ

【29.FormDesign版の制限】

■ FormDesign 付属ランタイムの制限

Create!FormDesign 付属の実行ランタイムを Design マネージャ以外から実行した場合、出 カ PDF ファイルおよび印刷結果に「C!」の透かし文字と、「※ Create!FormDesign から出力 された PDF ファイルです。」という固定の文言が出力されます。

透かし文字を表示させないためには、各ランタイム製品 (FormCast、FormCollect、 FormPrint、FormPrintStage)の導入が必要となります。

索引

アルファベット

い

С				印刷 インストール 32, 44, 56, 74,	104 96
	ccast 34, 35, 46, 47, 58, 59, 76, 77, 99, CDIR_CAST 33, 45, 57, 75,	100 98	え		
F				XML FAQ. エラーメッセージ126,	106 18 146
	FAQ	18 9	お	LD_LIBRARY_PATH 33, 45, 57, 75, 98, 7	104
	FormDesign	90 9 10		Oracle	108
	FormPrint. FormPrintStage. FormRemoteObject.	9 10 10	か		
L				仮想環境 環境変数 33, 45, 57, 75, 漢字コード	13 98 106
	LD_LIBRARY_PATH. 33, 45, 57, LD_LIBRARY_PATH.	75 104 75	け		
Р			Ŧ	限定ライセンス	15
	PATH	98	9	Varian	104
U				サポート	104
V	UpToV9	17	L		
v	VietualDC	12		CDLR CAST 33, 45, 57, 75, 58, 59, 76, 77, 58, 59, 76, 77, 59, 77, 77, 59, 77, 77, 59, 77, 77, 59, 77, 77, 59, 77, 77, 77, 77, 77, 77, 77, 77, 77, 7	99, 100 98
	VirtualServer. VMware.	13 13	7		00
Х				データベース	108
	XercesXML	104 106	は		
かな				バージョンアップ VirtualServer VirtualPC	17 13 13
あ				PATH 33, 45, 57, 75,	98

ふ

	VMware
	FormCast
	FormCollect
	FormDesign 9, 20, 26, 38, 50, 62, 68, 80, 84, 90
	FormPrint
	FormPrintStage
	FormMagicfolder
	FormRemoteObject
	プリンタ 119
む	
	無期限ライセンス15
も	
	文字コード 106, 107
5	
	ライセンス 15, 22, 28, 34, 40, 46, 52, 58, 64, 70, 76, 85, 91, 99
り	
	LIBPATH

Create!Form インストール・エラーコード一覧・制限事項 第8版

発行日 発行者 2018年8月

インフォテック株式会社 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25